

2024 年 FIS 理事会最重要決定事項

公益財団法人 全日本スキー連盟

スポーツくじ



スポーツ振興くじ助成事業

これからももっと、
私はスポーツを楽しむんだ。

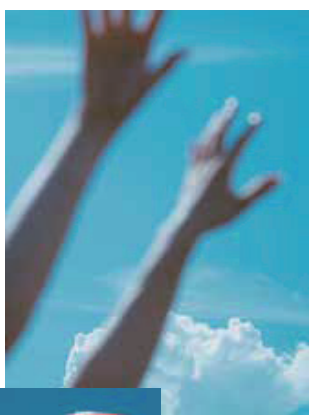
卓球歴24年。バスケ歴1日。

卓球の200倍もの重さがあるボールは、
なかなか言うことを聞いてくれない。

それでも、体を動かすだけで気持ちがいい。

初対面でもあっという間に仲間になれる。

競技人生での楽しさとは違う、
スポーツの楽しさに出会えた。



スポーツを極める人も、楽しむ人も、
すべての人のために、
スポーツくじの収益は使われています。

スポーツくじ   

スポーツくじは、スポーツと人を育てる仕組み。

※原文と和文で差異がある場合、原文を優先する。

FIS理事会最重要決定事項

2024年6月4日-レイキャビック(アイスランド)

開会

Eliasch会長はFIS理事会を開会し、出席者を歓迎した。

出席者

会長

Johan Eliasch

副会長

Roman Kumpost (CZE)

村里敏彰 (JPN)

Flavio Roda (ITA) Martti

Uusitalo (FIN)

理事

Mats Arjes (SWE) Deidra

Dionne (CAN)

Alex Fiva (アスリート委員会代表)

Dean Gosper (AUT)

Adam Hall (アスリート委員会代表)

Madgalena Kast (ARG)

Urs Lehmann (SUI) Tzeko

Minev (BUL) Patrick Ortlieb

(AUT)

Anne-Chantal Pigelet (FRA) Erik

Roeste (NOR)

Enzo Smrekar (SLO)

Verena Stauffer (アスリート委員会代表)

Franz Steinle (GER)

Fiona Stevens (NZL)

Patrick Toussaint (AND)

事務総長

Michel Vion

欠席者

Moses Liang-Cheng Zheng (CHN)

傍聴者

Aoife Keane, FIS顧問弁護士

Stephan Netzle, 法律顧問

Stefan Ruf, FIS経理部門代表および総務監理者

1. 議題の承認

FIS理事会は、議題を承認した。

* * *

2. 2024年4月12日および16日FIS理事会議事録

FIS理事の多数が、2024年4月12日および16日に開催されたFIS理事会の議事録を承認した。

* * *

3. 会長報告

Eliasch会長は、進行している2027年のCrans-Montanaでの世界選手権大会およびメディア権の一元化に関する議論について報告を行った。

* * *

FIS主要大会

4. FIS世界選手権大会

4.1. FIS世界選手権大会報告

- 2024年 FIS スキーフライング世界選手権大会 クルム（オーストリア）
2024年1月26~28日：Patrick Ortlieb 理事
- 2024年 FIS/IBU パラバイアスロン世界スキー選手権 プリンス・ジョージ（カナダ）
2024年3月3~17日
- 2025年 FIS アルペンスキー世界選手権大会 ザールパッハ（オーストリア）
2025年2月4~16日：Patrick Ortlieb 理事
- 2025年 FIS ノルディックスキー世界選手権大会 トロンハイム（ノルウェー）
2025年2月25日~3月9日：Erik Roeste 理事
- 2025年 FIS フリースタイル・スノーボード・フリースキー世界選手権大会 エンガディン（スイス）
2025年3月17~30日：Urs Lehmann 理事
- 2026年 FIS スキーフライング世界選手権大会 オーバーストドルフ（ドイツ）
2026年1月23~25日：Franz Steinle 理事
- 2027年 FIS アルペンスキー世界選手権大会 クランモンタナ（スイス）
2027年2月1~14日：Urs Lehmann 理事
- 2027年 FIS ノルディックスキー世界選手権大会 ファールン（スウェーデン）
2027年2月17~28日：Mats Arjes 理事

- 2027年 FIS スノーボード・フリースタイル・フリースキー世界選手権大会 モンタフォン（オーストリア）
2027年3月7~20日：Patrick Ortlieb 理事

その他のFIS世界選手権大会

- FISテレマーク世界選手権大会 レ・コンタミヌ＝モンジョワ(フランス) 2025年3月16~22日
- 2025年FISスピードスキー世界選手権大会 ヴァール(フランス) 2025年3月17~31日

FIS理事会はFIS世界選手権大会の進捗報告書について確認した。

FIS理事会は2027年FISノルディックおよびアルペン世界選手権大会の開催について変更申請について、承認した。

FIS理事会はFISスノーボード、フリースタイル、フリースキー世界選手権大会の開催中に、ワールドカップ大会を開催する例外について承認した。

4.2. 2025年FIS世界選手権大会プログラム

FIS理事会は2025年FIS世界選手権大会のプログラムについて承認した。

4.3. 2028,2029年FIS世界選手権大会および2031年FISアルペン世界選手権大会の開催者の投票に関する情報更新

FIS 2028/2029世界選手権大会

Eliasch会長はラハティ(フィンランド)で開催予定の2029年FISノルディック世界選手権大会について、フィンランドスキー連盟およびラハティの市街地が要請されている要件を満たしていないことから、契約書に署名ができる状況でないことを知らせた。

FIS理事会は2029年FISノルディック世界選手権大会について、ラハティを開催者とする選定期限を2024年7月4日まで延期することについて承認した。

Eliasch会長は2029年および2031年FISアルペン世界選手権大会について、同時に決定を与えることを検討している旨を述べた。

FIS理事会はこの提案について確認し、世界選手権大会の開催者の秘密投票前に最終決定を行うこととした。

4.4. FIS世界選手権大会の申請および立候補

FIS世界選手大会について、下記の立候補が提出された：

- Federazione Italiana Sport Invernali(ヴァル・ディ・フィエンメ)が2024年FISローラースキー世界選手権大会および2024年FISジュニアローラースキー世界選手権大会を2024年9月12-15日で開催することを申請した。
- Fédération Française de Ski(ティニュ)が2027年FISパラアルペン世界選手権大会を2027年3月7-19日に開催することを申請した。

FIS理事会はヴァル・ディ・フィエンメを2024年FISローラースキー選手権大会の主催者、ティニュを2027年FISパラアルペン世界選手権大会の主催者とすることを承認した。

2029年FISパラアルペン、パラノルディック、パラスノーボード世界選手権大会

2024年4月30日の追加期限延長までに、立候補者はいなかった。そのため、2024年9月30日まで期限を追加で延長することがFIS理事会へ提案された。

FIS理事会は2029年FISパラ世界選手権大会の立候補期限を2024年9月30日まで延長することを承認した。

5. FISジュニア世界選手権大会

5.1. FISジュニア世界選手権大会の報告

- 2025年FISアルペン世界選手権大会 タルビジオ(イタリア) 日程調整中：Flavio Roda FIS理事
- 2025年FISジュニアおよびU23クロスカントリー世界選手権大会 スキルパーリオ(イタリア) 日程調整中：Flavio Roda FIS理事

FIS理事会は今後のジュニア世界選手権大会の報告について確認した。

5.2. 今後のFISジュニア世界選手権大会の立候補者

下記の今後のFISジュニア世界選手権大会に関する表は数年以内の開催者の任命を示している。

カザフスタンスキー連盟(アルマトゥイ)は2025年ジュニアモーグルおよびエアリアル世界選手権大会の主催について関心を示した。

シーズン	ノルディック種別	アルペン	スノーボード/フリースタイル/ フリースキー	スピードスキー	グラススキー
2024					オルリツケー・ ザーホジー(チ ェコ共和国)
2025	スキルパーリオ(イタリア), クロスカントリー	タルビジオ (イタリア)	アルマトゥイ(カザフスタン) モーグル & エアリアル	ヴァール(フラン ス)	

FIS理事会はアルマトゥイ(カザフスタン)を2025年FISジュニアエアリアルおよびモーグル世界選手権大会の主催者として承認し、今後のジュニア世界選手権大会の主催者リストについて確認した。

6. 2028年FISゲーム

Eliasch会長より、FISがエンガーディアンおよびスイススキー連盟との解決案を模索することに注力していることが報告され、近い将来に任命が実現するのを望んでいることが述べられた。

更なる議論を行う追加の時間を設けるため、2028年FISゲームの主催者の任命を後日に延期することが提案された。

FIS理事会は2028年FISゲームの主催者の発表を延期することに合意した。

その他の国際組織

7. 国際オリンピック委員会/オリンピック冬季競技大会

スノーボードアルペン小委員会の提案

スノーボードアルペン小委員会はスノーボードアルペン パラレル・スラロームを2026年ミラノ・コルティナオリンピック冬季競技大会の協議として追加する要請を提出した

FIS理事会はスノーボードアルペン小委員会からの提案が後に2026年オリンピック冬季競技大会へ提出されたことを確認した。

2026年ミラノ・コルティナオリンピック冬季競技大会

Michel Vion(事務局長)より、2026年ミラノ・コルティナオリンピック冬季競技大会に関連した建設に遅れが生じており、主にリビーニョ内のスキージャンプ台およびパークアンドパイプに関する建設が遅れていることが述べられた。

このことはスキージャンプ、スキークロス、スノーボードクロス、スノーボードスロープスタイルのテストイベントを計画通りに開催できないことを意味し、2024/2025ワールドカップカレンダーにも影響を及ぼす。考慮および選手の安全面の観点からテストイベントを開催できることは重要である。FISは2026年ミラノ・コルティナオリンピック冬季競技大会と解決策を講じるため緊密な連絡を取っている。

7.1. 2024年江原道ユースオリンピック冬季競技大会

FIS理事会に先立ち、最終報告書はFISへ提出されなかった。

7.2. 2026年ミラノ・コルティナオリンピック冬季競技大会一報告

The progress report had not been submitted to FIS prior to the FIS Council meeting.
FIS理事会に先立ち、進捗報告書はFIS理事会へ提出されなかった。

財務

8. 財務報告

Eliasch会長から2023年の財務はマーク・ホドラー財団、FISマーケティング、FISトラベルAGおよびフリーライドワールドツアーAGを含め初の統一がなされたことが知らされた。

加えて、それぞれ2025年および2026年の時点でオリンピック競技大会および世界選手権大会からの収益が発生する着地予想であり、この収益は4分割され今後4年の会計期間に計上される予定である。

FIS CFAOであるStefan Ruf氏からは国際スキー・スノーボード連盟の財務に関する報告がなされた。

* * *

9. 2023年1月1日-2023年12月31日財務報告

2024年3月および4月に、2023年の財務に関する年次の外部監査が実施された。

外部監査からの報告書が紐づいた監査実施済みの2023年の財務表は2024年FIS総会およびFIS加盟団体からの正式な承認を得るため、2024年5月14日にアップロードされた。

FIS理事会は、2023年の財務表および外部監査からの報告書について確認した。

* * *

10. 2025年の財務に関する予算

2025年の財務に関する予算がワーキング文書と共にFIS理事会へ提出された。

Eliasch会長およびStefan Ruf氏は予算書の特筆すべき箇所についていくつか説明を行った。

FIS理事会は2025年の財務に関する予算を承認した。

* * *

11. 財政支援の要請

複数の技術委員会が2024/2025シーズンのオフィシャルおよび審判のためのコースおよびセミナー活動への財政支援についての提案をFIS理事会へ提出した。

Michel Vion事務局長はFISマネジメントがいくつかの修正を財政支援に対して提案をしたことを知らせた。修正された全容は補填資料13「財政支援の要望」に掲載されている。

FIS理事会は修正された技術委員会からの財政支援の要請を承認した。

12. マーク・ホドラー財団

Eliasch会長はマーク・ホドラー財団の代表者会議が本日未明に実施されたことを知らせた。

外部監査の報告書が紐づいた監査済みの2023年財務表がワーキング文書と共にFIS理事会へ提出された。

ガバナンスおよび倫理

13. FIS戦略プラン

FIS戦略プラン策定委員会からの報告書および更新がされたFIS戦略プランが本会議に先立ちFIS理事会へ提出された。

Eliasch会長はFiona Stevens氏およびFIS戦略プラン策定委員会のメンバーの素晴らしい取り組みに対して感謝を述べた。

FIS理事会はFIS戦略プラン策定委員会の報告書および更新されたFIS戦略プランを確認した。

14. アンチドーピング報告書

報告書の完全版は議事録内の補填資料16「アンチドーピング報告書」に掲載されている。

FIS理事会はアンチドーピング報告書を確認した。

15. FISデベロップメントに関する報告書

報告書の完全版は議事録内の補填資料17「FISデベロップメントに関する報告書」に掲載されている。

FIS理事会はFISデベロップメントに関する報告書を確認した。

16. フリーライドのFIS種別への統合

Eliasch会長はフリーライドを2030年のオリンピック冬季競技大会の種目として承認する提案を国際オリンピック委員会へ提出する時系列を考慮し、フリーライドをFIS種別とする承認が重要であると言及した。

FIS理事会はフリーライドを統合するためのICRの修正に関するFIS総会への提案を差し戻し、および選手、大会開催者、選手ルールに関するICRそしてマーケティングに関するより詳細な取り組みを実施することに合意した。

フリーライドをFIS種別へ統合する提案はFIS総会へ提出される予定である。

メディアおよびマーケティング

17. メディアおよびマーケティングの報告書

報告書の完全版は議事録内の補填資料19「メディアおよびマーケティングの報告書」に掲載されている。
FIS理事会はメディアおよびマーケティングの報告書を確認した。

18. パートナーシップおよびスポンサー広告の合意

パートナーシップおよびスポンサー広告の合意の概要が本理事会に先立ち提出された。
FIS理事会はパートナーシップおよびスポンサー広告の合意の概要を確認した。

大会組織

19. FISワールドカップ

19.1. 2024/2025シーズンカレンダー

2024/2025シーズンカレンダーは下記の補填資料に掲載されている：

- 21.1.1 2024/2025シーズンアルペンワールドカップカレンダー
- 21.1.2 2024/2025シーズンノルディックワールドカップカレンダー
- 21.1.3 SB/FS/FK WC Calendars 2024/2025シーズンスノーボード/フリースタイル/フリースキーワールドカップカレンダー

FIS理事会は2024/2025シーズンワールドカップカレンダーを承認した。

20. 競技役員の任命

20.1. ジュリーメンバーの任命

新たな提案事項が付随され、更新されたジュリーメンバーのリストがワーキング文書と共にFIS理事会へ提出された。

FIS理事会は2026年オリンピック冬季競技大会のアルペン種目についてジェンダーのバランスを考慮することをアルペン委員会へ返答する旨を条件とし、競技役員の任命を承認した。

* * *

20.2. 世界選手権大会組織委員会内の主要技術役員

各組織委員会がワーキング文書と共にFIS理事会へ提出された複数の役職について新規推薦を作成した。

FIS理事会は各組織委員会内主要技術役員を承認した。

* * *

各国スキー連盟

21. ライセンス変更の要望

21.1. 同意された要望

下記のライセンス変更の要望が規定に則り提出された：

クロスカントリースキー

- | | |
|-------------------------------------|---|
| • Anastasia Kirillova | ベラルーシからロシアに変更
(リリースはないが、2022年以降競技なし) |
| • Catherine Stow | アメリカからイギリスに変更 |
| • Christoffer Rüger | ドイツからノルウェーに変更 |
| • Egor Kazarinov | ベラルーシからロシアに変更 |
| • Jenny Axisa Eriksen | ノルウェーからマルタ共和国に変更 |
| • Markus Groethe | ノルウェーからアメリカに変更 |
| • Andrei Lamov | ロシアからスウェーデンに変更 |
| • Polina Seronosova | ベラルーシからロシアに変更 |
| • Sebastian Santiago Kildebo | ノルウェーからコロンビアに変更 |
| • Tristan Wenzel | ドイツからスイスに変更 |
| • Markus Lundblad | スウェーデンからコロンビアに変更 |
| • Constantin Zisler | オーストリアからスイスに変更 |

スキージャンプ

- | | |
|-----------------------------|----------------------------|
| • Simon Goller | ドイツからオーストリアに変更 |
| • Emely Torazza | スイスからドイツに変更 <u>アルペンスキー</u> |
| • Nicole Begue | アメリカからアルゼンチンに変更 |
| • Lucas Braathen | ノルウェーからブラジルに変更 |
| • Christoph Brandner | オーストリアからブラジルに変更 |
| • Troy Chang | アメリカから台湾に変更 |

• Julia Deakins	アメリカからアイルランドに変更
• Emma Gatcliffe	カナダからトリニダード・トバゴに変更
• Corentin Gantignol	フランスからポルトガルに変更
• Alexander Graham	アメリカからフィンランドに変更
• Marcel Hirscher	オーストリアからオランダに変更
• Lila Lapanja (アルペン)	アメリカからスロベニアに変更
• Richard Leitgeb	オーストリアからハンガリーに変更
• Giovanni Ongaro	イタリアからブラジルに変更
• Edouard Perra	フランスからチェコ共和国に変更
• Nicolas Pirozzi	チリからウルグアイに変更
• Tine Rossel	スイスからベルギーに変更
• Alicia Socia	アメリカからペルーに変更
• Daniel Stebler	アメリカからイスラエルに変更
• Christian von Mach	ベルギーからポルトガルに変更
• Anna Violon (アルペン)	スイスからフランスに変更
• Christoph Walser	オーストリアからリヒテンシュタインに変更
• Emma Wieser	イタリアからドイツに変更
• Nicole Zeman (アルペン)	ドイツからチェコ共和国に変更

フリースタイルスキー

• Tommy De Jager	オランダからアメリカに変更
• Lucas Ball	カナダからニュージーランドに変更
• Liam Richards	ニュージーランドからイギリスに変更
• Ryan Portello	カナダからイタリアに変更
• Zoe Van Essen	オランダからスイスに変更
• Stephen Cunio	アメリカからプエルトリコに変更
• Ashbel Almedom	スウェーデンからエリトリアに変更

スノーボード

• Luca Merimee Mantovani	フランスからブラジルに変更
• Kanoe Pelfrey	アメリカからサモアに変更
• Dana Saramaka	ウクライナからイスラエルに変更
• Priscila Cid	アメリカからブラジルに変更
• Lola Cowan	アメリカからチリに変更
• Taitten Cowan	アメリカからチリに変更
• Txema Mazet-Brown	ニュージーランドからイギリスに変更
• Florian Lechner	ドイツからオーストリアに変更
• Lindberg André Isak Ragnar	フランスからスウェーデンに変更

マスターズ

• Yurii Sliusarchuk	ウクライナからチェコ共和国に変更
----------------------------	------------------

FIS理事会は上記のライセンス変更の要望を全て承認した。

21.2. 難民パスポートに基づく変更の要望

- **Valerii Gontar** ロシアからスロベニアに変更 (難民パスポート)

FIS理事会は本件の承認を秋季のFIS理事会まで延期し、国際オリンピック委員会の要件に基づく難民状態の観点から精査を行うことを決定した。

21.3. 未提出の書類に関連した要望

下記のライセンス変更の要望を受領したが、引き続き書類が提出される必要がある：

- **Samy Laubscher** (クロスカントリースキー)
スイスからアルジェリアに変更-了承レターの所在不明
- **Andrew Wilson** (フリースタイルスキー、アルペンスキー)
カナダからイギリスに変更-パスポート提出待ち

FIS理事会は上記のライセンス変更の要望を確認した。秋季ミーティング時までに未提出の書類が提出された場合は、要望はFIS理事会へ再提出される予定である。

22. 各国スキー連盟からの提案および要望

2022年5月25日に開催されたFIS理事会のワーキング文書の編集を行っている時点で、各国スキー連盟から提案および要望は提出されなかった。

23. FIS加盟

前会議の議事録に基づきギニア・ビサウ冬季スポーツ連盟の加盟提案が提出された

FIS理事会は前会議の議事録に基づく本件の提案をFIS総会へ提出することを承認した。

FIS委員会

24. 各技術委員会からの提案および要望

技術委員会からの提案および要望は各々、下記の補填資料内に掲載されている：

- 26.1.1 FISノルディック技術委員会からの提案および要望
- 26.1.2 FISスノーボード/フリースタイル/フリースキー技術委員会からの提案および要望
- 26.1.3 FISアルペンスキー技術委員会からの提案および要望
- 26.1.4 FISパラスノースポーツ委員会からの提案および要望
- 26.1.5 FISテレマーク委員会からの提案および要望
- 26.1.6 FISマスタース委員会からの提案および要望
- 26.1.7 FIS広告委員会からの提案および要望

下記の修正が審議された：

- クロスカントリースキー：3.5.1 通貨および送金の締め切り
本内容をICR200番事項に追加し、全ての種別に適用することが提案された。
- スキージャンプ：4.5 スーツマーキング
ルールの内容に対してより良い理解ができるよう、言い換えを行う必要がある。どのようなケースにおいても、最終決定は2024年夏季に実施される試験段階後に採決される予定である。
- アルペンスキー：607.3 国際競技大会におけるクラシフィケーション/出生年の確認
本提案はアルペンユースアンドチルドレン問題小委員会へ差し戻され、とりわけ南半球に特有の状況を考慮したうえでスタートの最大数の見直しを行い、秋季のFIS理事会で再提出とすることが合意された。

FIS理事会は上記の特記事項と共にFIS技術委員会からの提案および要望を承認した。

25. ヘルメットに関する広告委員会からの提案

ヘルメットに関する広告委員会からの詳細な提案は補填資料28「ヘルメットに関する広告委員会からの提案」に掲載されている。

Eliasch会長はSRSが異なる状況に置かれており、その状況も考慮するべきであると言及した。ヘルメットメーカーのマーキングの一体性を保持することは重要であり、スポンサーが2つあり、さらに色などで何らかの識別が可能な第三の隠れたスポンサーが織り込まれているようなことがあってはなりません。

FIS理事会は広告委員会からの提案を承認した。

26. FIS委員会の名誉委員の提案

名誉委員会委員の地位について、下記の提案が受領された：

スキージャンプ委員会

スキージャンプ委員会委員としての22年以上に渡る長く献身的な取り組みから、Horst Tielmann氏(オランダ)が名誉委員として推薦された。

競技用品および開発小委員会

競技用品および開発小委員会委員としての25年以上に渡る長く献身的な取り組みから、Bertil Palsrud氏(ノルウェー)が名誉委員として推薦された。

アルペン技術代表小委員会

アルペン技術代表小委員会委員としての長く献身的な取り組みから、**Hans Groggl氏**(オーストリア)が名誉委員として推薦された。

フリースタイル小委員会

フリースタイル小委員会委員としての長く献身的な取り組みから、**Iain Mackay氏**(イギリス)が名誉委員として推薦された。

スピードスキー委員会

スピードスキー委員会委員としての長く献身的な取り組みから、**Nadal Antor氏**(アンドラ)が名誉委員として推薦された。

医療委員会

医療委員会委員としての長く**40年以上**に渡る長く献身的な取り組み、そして**18年**に渡る委員長としての貢献から、**Hubert Hoerter**ドクターが名誉委員として推薦された。

FIS理事会は上記の名誉委員会委員の推薦を承認した。

* * *

FIS総会

27. 前会議の議事録の総会への提案

FISマネジメントはFIS理事会内のアスリート代表に関する下記のFIS定款の改正を提案した：

- 10.10.3.1 ~~24名~~ 22名の中から18名の理事を1回投票制で選出する。
- 10.10.3.2 アスリートコミッションに関するルールに基づき、別投票でアスリートコミッションから選出された代表を性別の平等性がある状態で代表者を3名 4名承認することが要求される。
- 11.1.1 理事会は22名 23名で構成される。
- 11.1.1 c) 3名 4名の理事はアスリートコミッションのアスリート代表であり、そのうち4名 2名はパラ冬季競技を代表する選手であり総会で承認されなければならない。
- 11.4.1.1 総会の選挙により選出された理事は加盟国スキー連盟の代表としてではなく、独立した個人として活動および投票を行う。アスリートコミッションから推薦された3名 4名の理事はアスリートの代表として、およびアスリートコミッションの指示に即して活動および投票を行う。
- 19 定義 – 理事会
は総会会議間でのFISの最高決定機関を意味する。
(※原文ではFISを指定する定冠詞theの削除が提案されている)
理事会は総会への説明責任を有する。理事会はFIS会長、総会の選挙により選出された18名の理事および3名 4名アスリートの代表で構成され、そのうち4名 2名はパラ冬季競技を代表する選手とし、総会で承認されなければならない。

FISマネジメントはFIS執行委員会内のアスリート代表に関する下記のFIS定款の改正を提案した：

- 12.1 執行委員会は会長、4名の副会長、~~財務担当~~、1名以上の理事、理事会内の4名 2名のアスリート代表(そのうち1名はパラ冬季競技を代表しなければならない)、事務局長で構成され、これらの構成員は投票権を持たない
- 19 定義 // 執行委員会
は理事会会議間の全ての緊急要件の対処を行う委員会を意味する。
執行委員会は会長、4名の副会長、財務担当、4名 2名のアスリート代表で構成される。事務局長は執行委員会の会議に投票権を持たない状態で参加する。

FIS理事会はFISマネジメントによる前会議の議事録の総会への提案を承認した。

* * *

FISパラチームはFISカレンダーに関するルール、FISカレンダーおよび登録料の改正のため前会議の議事録の提案を提出した。この要望のFIS総会への提出にはFIS理事会の承認が必要である。

FIS理事会は前会議の議事録の提案FISパラチームからFIS総会への提出を承認した。

提出された総会提案の改正

下記のFIS定款の条文に対する前会議の議事録に基づく改正が総会ブックに掲載された文言から提案された(改正箇所は太字とする)。

2.4 FISはFISが書面による委任を受けている他の国際競技連盟が管轄するパラ冬季競技種目を管理することができる。

10.2.1.3 年間予算を精査し、**承認する。この目的のため、予算書は定時総会の21日前にFISのウェブサイトアップロードされることとする。**

10.10.2.2 会長は全投票の多数派に応じた決定により、代表者または理事の要望のもと総会が秘密投票とすることを決定しない限り公開投票全投票の多数派に応じた決定により、代表者または理事の要望のもと総会が秘密投票とすることを決定しない限り公開投票により選出される。

11.3.3.7 定時総会の30日前に年間予算の提案を精査および承認承認し、推奨内容と共に総会へ提案する；

15.2.2.1 a) 予算の提案を**受領し精査し、FIS内の経理事案の責任を有する者と精査および議論を行い、承認を得るために総会理事会へ推奨内容と共に提案を行う。理事会からの承認があり次第、総会の承認を得るために財務担当が包括的な報告書を含む年間予算の提案を総会が開催される1カ月前に書面にて提出を行うこととする；また理事会からの承認があり次第、年間予算は各国スキー連盟に総会の21日前までに書面にて展開されることとする**；また

FIS理事会は上記のFIS定款内の条文における前会議の議事録の改正を承認した。

* * *

28. 2025年および2026年FIS総会の開催日程

2025年FIS総会

FIS理事会はチューリッヒ(スイス)で2025年6月12日に対面で開催されるFIS理事会に付随し、FIS総会を2025年6月13日に開催することを承認した。

2026年FIS総会

FIS理事会は2026年FIS総会をベオグラード(セルビア)で2026年6月10-11日に開催することを承認した。

* * *

その他

29. その他事項

アスリートコミッションによる提案

アスリートコミッションがFIS理事会へアルペンスキー種別の「ワイルドカード」導入の提案を提出した。

FIS理事会は提案を承認した。

選手が競技復帰する場合、FISアンチドーピングルールにおけるルールを満たさなければならないことを考慮し、それに応じて各ルールの定義する予定である。ルール案は承認を得るために次回以降のFIS理事会に提出される予定である。

* * *

30. 次回のFIS理事会

新たに選出されるFIS理事による最初のFIS理事会は2024年7月4日に開催される予定である。

* * *

31. 閉会

13時30分にEliasch会長がFIS理事会を閉会した。

* * *

オーバーホーフェン、2024年6月4日

Michel Vion
事務局長

補填資料 13 – 財政支援要望

承認内容の概要

クロスカントリースキー	CHF	99'800
スキージャンプ	CHF	164'945
ノルディックコンバインド	CHF	81'600
アルペンスキー	CHF	92'770
スノーボード、フリースタイル、フリースキー	CHF	272'300
スピードスキー	CHF	25'500
テレマーク	CHF	64'000
全体	CHF	800'915
		=====

補填資料 16 – アンチドーピング報告書

16.1.1 アンチドーピング検査活動

下記の表はFISドーピング検査活動の分析を示している。2023/2024シーズンに実施されたドーピング検査実施回数の概要が記載されており、総数を競技会内検査および競技会外検査(尿、血液、血液パスポート、乾燥血液スポット)の検体基準およびFIS種別に応じて分割している。

16.1.2 検査統計

下記の競技会内および競技会外の検体数は2023年3月から2024年4月に収集された(原文のbetween May 2024 – April 2025を修正)

FIS 2023/24シーズン 競技会内検査

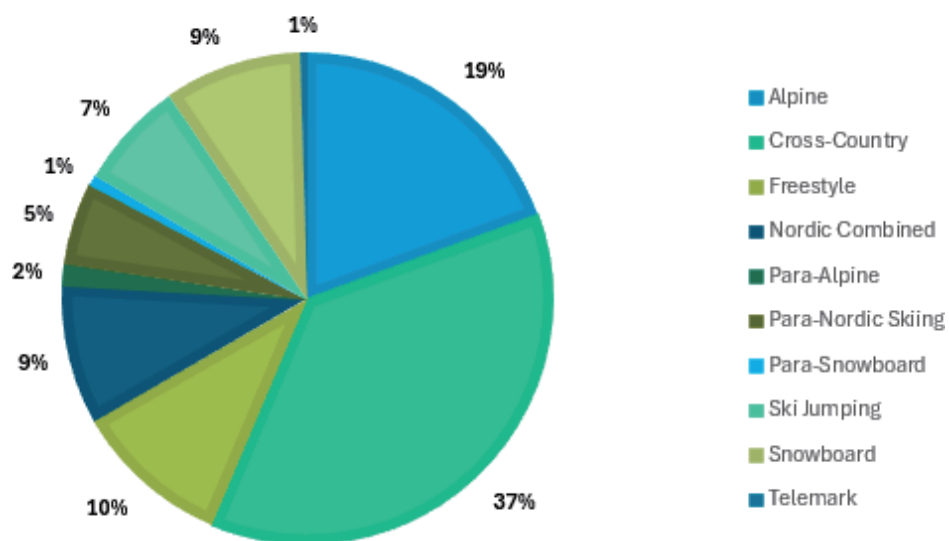
	尿	ESAs (尿/血液)	血液	血液パスポート	乾燥血液スポット
クロスカントリースキー	221	79	46	110	20
ノルディックコンバインド	50	11	12	10	-
スキージャンプ	87	-	8	-	-
アルペンスキー	119	25	38	-	-
フリースタイルスキー	100	11*	6	-	-
スノーボード	109	5	6	-	-
テレマーク	10	-	-	-	-
パラアルペンスキー	24	6	8	-	-
パラノルディック	46	17	7	-	-
パラスノーボード	12	6	4	-	-
合計	778	160	135	120	20

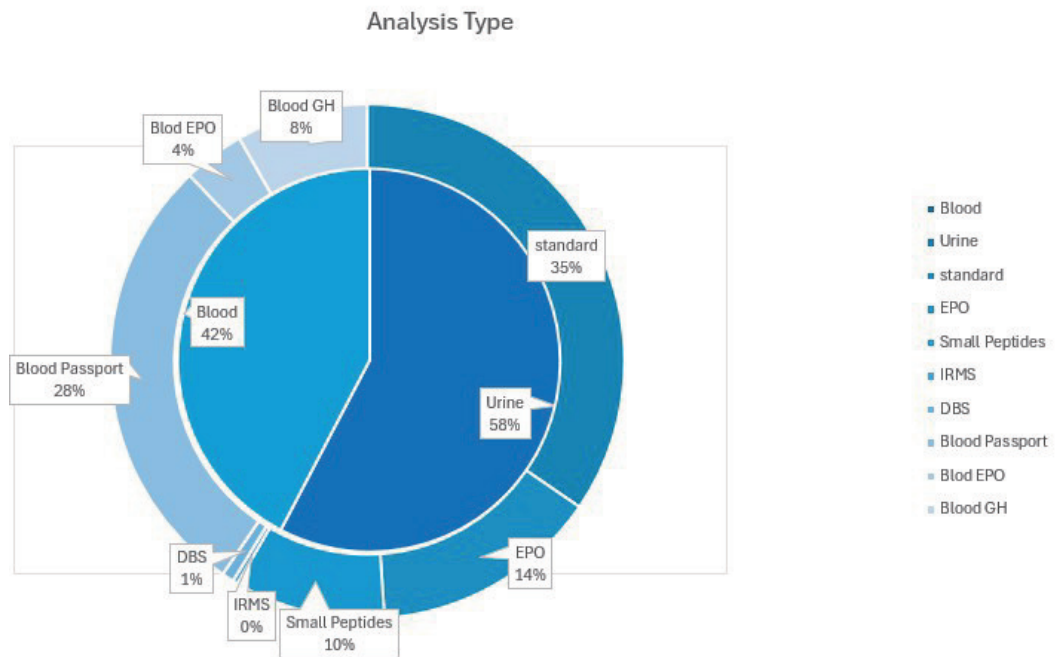
FIS 2023/24シーズン 競技会内検査

	尿	ESAs (尿/血液)	血液	血液パスポ ート	乾燥血液スポット
クロスカントリースキー	403	269	144	441	7
ノルディックコンバインド	109	43	31	125	-
スキージャンプ	60	-	2	-	-
アルペンスキー	253	70	20	249	-
フリースタイルスキー	115	19*	10	39	-
スノーボード	82	1	4	3	-
パラアルペンスキー	-	-	-	-	-
パラノルディック	59	23	7	68	-
パラスノーボード	-	-	-	-	-
Total	1081	425	218	925	7

*スキークロス

SAMPLES DISTRIBUTION PER DISCIPLINE





16.1.3 検査プールおよび関連居場所情報結果管理

To efficiently manage its doping control efforts, FIS has established a two-tier testing pool system. ドーピング検査の取り組みを効率的に管理するため、FISは検査プールシステムに関する2つのカテゴリを設立した。

カテゴリ 1: FIS 登録検査プール(RTP) : 選手はWADAの基準およびFISアンチドーピングルールに即して日ごとの居場所情報を提供する必要がある。

RTP内のRTPアスリート総数 : 280

- クロスカントリースキー: 112
- ノルディックコンバインド: 36
- アルペンスキー: 87
- スキークロス: 15
- パラノルディック: 30

- RTP選手のうち56%が男性選手
- RTP選手のうち44%が女性選手

居場所情報提供義務違反 – 記録された居場所情報提供義務違反の総数: 36

- 検査未了: 20
- 居場所情報提供未了: 18

カテゴリ 2: FIS 追加検査プール (ATP): 更なる柔軟性の観点から、競技会外の居場所を把握および

検査を実施することが必要とされる選手を含むFISは追加の検査プールを規定した。

ATP内のATPアスリートの総数: 97

- スキージャンプ: 26
- フリースタイルスキー: 36
- スノーボード: 35
- ATP選手のうち56%が男性選手
- ATP選手のうち44%が女性選手

16.4 国際/国内ドーピング事例

16.4.1 国際ドーピング事例

前回の理事会での報告以降では、国際ドーピング事例は記録されていない。

16.4.2 国内ドーピング事例

前回の理事会での報告以降では、下記の国内ドーピング事例が記録されている：

世界アンチドーピングコードに即すると、FISは国内アンチドーピング機構で実施されたドーピング事例の決定を精査かつ/または修正する権利を有していないが、関連した規則および締め切りに基づきFISおよびWADAのいずれかが不正な決定が下されたと判断した場合は、FISおよびWADAのいずれもがスポーツ仲裁裁判所(CAS)へいかなる決定についても上訴することができる。

氏名	所属国	種別	検査大会	物質/検査方法	処罰内容
DOBROVA, Maria	ロシア	フリースタイルスキー		居場所情報提供未了, 2.4	2年 (2026年3月15日まで) および 成績取り消し (2023年11月30日)
JOHNSON, Breezy	アメリカ	アルペンスキー		居場所情報提供未了, art. 2.4	14カ月(2024年12月10日まで) および 成績取り消し (2023年10月10日以降)
SAUTIEVA, Polina	カザフスタン	クロスカントリースキー		禁止物質(Oralturinabol, metandienone, stanozolol), 10.8.に基づき、該当	3年 (2027年4月22日まで)

補填資料 17 - FISデベロップメント部門の報告書

2023/2024年シーズンは、FISデベロップメント部門の後援のもと、トレーニングや教育の機会に新たな価値をもたらし、いわゆるフリー・トレーニング・デーを提供した。これにより、すべての発展途上国に対して2000日のトレーニング日を追加で利用できるようにし、3票国であるNSAも一部のデベロップメント・教育活動の一部に参加できるよう制限は設けなかった。

昨シーズンは下記の柱を策定した：

1. アスリートトレーニングキャンプ、
2. 全ての段階における教育、
3. 各国スキー連盟への従事、および
4. オリンピック種目として認定されていない種目への支援(パラ冬季競技含む)

これらの柱は以前より精巧かつ強力になった。成長は3つのFIS戦略における優先事項の内の1つであり、FISデベロップメント部門は昨シーズンにおいてどのような活動においても計画と実行に対して素晴らしいケアを行うことができた

全ての活動のペースを保ち、いかなる時もNSAとのコミュニケーションおよび情報共有が実施されるよう、FISデベロップメント部門は大会シーズンに合わせて下記の専用のコミュニケーションを作成した：

1. デベロップメント HUB
2. メンバーシップ HUB

200名のコーチと共にほぼ500名に渡る総数のアスリートが総数40に渡るトレーニングおよび教育セッションに参加した。オリンピックおよびパラリンピックの全ての競技種目には、選手のスキルを尊重し、向上させるために調整されたそれぞれのデベロップメントセッションがある。分離されたセッションだけでなく、オリンピックおよびパラリンピックのコーチが1つのテーブルを囲むような、包括的な方法で行われるセッションもある。

トレーニングおよび教育活動におけるスキー発展途上国の参加率はほぼ100%に近い数字である。スキー発展途上国と分類される57カ国のスキー連盟から53カ国のスキー連盟が何かしらのFISデベロップメントプログラムを活用した。包括的なアプローチは概ねスノーボード/フリースタイルスキー/フリースキー然り、スキージャンプ/ノルディックコンバインドにおいて適用されており、1から3票までの各国スキー連盟が様々な活動に参加した。

下記の通り、2023/2024シーズンは我々が2つのプログラムを再構築し、より追及可能かつ適切なプログラムへと移行させる期間であった：

1. FIS補助金はFIS StartおよびFIS Plusプログラムへ移行された
2. Bring Children to the SnowキャンペーンはWorld Snow Dayにおいて特別な注目が置かれる3つのプログラムへ分散された。

メンバーシップHUBのもと、FIS StartおよびFIS Plusプログラムには各セクションがある。各国スキー連盟には利用可能な活動、ガイドラインおよび提出用申請フォームが確認できる機会がある。全ての各国スキー連盟が招待を受け、FISデベロップメント部門は初めて関連する連盟へ向けて特別に設けられ

た活動を用意した。直近の59に渡る関連団体の多くが活発的であり、FISからの注目を集めるに値している。

活動数の増加、そして以前よりも多くの活動設置を行っている状況に伴い、計画の細かな調整が次のステップとなり、今シーズンからより多くの時間を投資しており、2024/2025シーズンと2025/2026シーズンを含む2年間の開発プログラムを提供する予定である。この計画はオリンピックとパラリンピックのサイクルを尊重し、2025年春に4シーズン連続のデベロップメントプログラムを提案することを目的としている。この包括的なアプローチにより、FIS加盟国スキー連盟が国内および地域の活動を微調整する機会を提供したいと考えており、4シーズン（2026～2030）にわたる開発計画を視覚化することで、国内および地域プログラムの安定性が向上し、近い将来には16歳でのアスリートの引退が減少し、中期的にはアスリートの数の安定とわずかな増加が期待されます。

全てのFISデベロップメント活動がジェンダーバランスを保っており、平均割合として60:40に数値が到達した。更なる女性の活動推進のため、特別なセッションが設けられた(例:女性アスリートのトレーニング活動、女性コーチセッション、およびFISにおけるジェンダーバランスの推進についてのオンラインセッション)。FISデベロップメント部門はデベロップメント活動において厳格なポリシーを設けており、アスリートの選定についてジェンダー比率が50:50となることがほとんどのケースで要求されている。FISデベロップメント部門は引き続き、ジェンダーバランス課題に対処し、男女の平等な参画を目指し続ける。

トレーニングおよび教育セッションの報告書は各活動終了後の重要な要素の1つである。各国スキー連盟はキャンプ中に提供された活動に関する全ての詳細を記載した最終報告書を各HUBから提出できるようになっている。参加者別の特別報告書は各参加者に提出されたが、データ保護の観点から公表は行っていない。

詳細情報についてはデベロップメントHUBおよびメンバーシップHUBに関する下記のリンクを参照。

デベロップメントHUB ... <https://fisski.sharepoint.com/sites/DevelopmentExt>

メンバーシップHUB <https://fisski.sharepoint.com/sites/MembershipExt>

問い合わせについては、デベロップメントチームのアドレス(development@fisski.com)まで気軽に連絡をして頂きたい。

10.3.1 Bring Children to the Snow

Bring Children to the Snowキャンペーンは、子供たちに雪に触れてもらうよう推進するためのほとんどのアイデアと可能性を使い果たした。成果物の繰り返しにより、積極的な変更と現在のキャンペーンを新しいアプローチへと再構築し、より魅力的な活動および行動へ到達することが要求された。

Snow Kidzは存続し、各国スキー連盟および関連団体の新しいグループに対してアクセス可能な状態になる予定である。新たなステークホルダーの従事は、主にスポーツの発展が中心的なビジネスとなっている国または地域に対して、スノースポーツへ向けたより多くのアイデアとエネルギーをもたらすこと

ができる。

3つのメイン・パートナーとの新しい商品である**Snow Kidz Shred Parks**は、各国スキー連盟により大きな容量で提供され続ける。現在、アルペンスキー/スノーボード用およびノルディック用のパークがある。FISデベロップメント部門は、各国スキー連盟への関心がここ数年高まっていることから、利用可能なパークの数を増やす可能性を探っている。

例年通り、我々は**SnowKidz**と**World Snow Day**の両プロジェクトに新しい組織団体を迎えました。現在、世界中で合計**400**以上の組織団体(各国スキー連盟、スキー学校、スキーリゾート、およびその他の様々な地域団体など)が存在する

The next edition of World Snow Day is confirmed for 19th January 2025.

次回の**World Snow Day**は**2025年1月19日**に決定した。

10.3.2 FIS 教育

FISデベロップメント部門は教育の重要性を認識し、教育をより魅力的なトピックとして構成するため、厳選された**10**の教育プラットフォームのうち**Learning Suits**をFISの全種別および各国スキー連盟の教育コンテンツの配信に使用するプラットフォームとして定義した。さらに、最も効率的な方法で教育アジェンダを管理するため、FISは**2024年5月1日**付けで新しいFIS教育マネージャーを採用した。FIS教育マネージャーおよび優れた教育プラットフォームとノウハウにより、**2024年9月**よりFISファミリーに対して教育機会が提供される。また、**2025年春**には既存の教育プラットフォームを全て中央集権化し、教育を本格化する予定である。教育プログラムには、技術役員、コーチ、アスリートおよび各国スキー連盟の専門家が含まれますが、これらに限定されるものではない。

FISは現在、各国スキー連盟の専門家による知識ベースのより安定した提供、および一般レベルでの各国スキー連盟の能力向上を目的とした、認定を伴う様々なプログラム機会を模索している。

FISの教育アジェンダに分類されうるその他の活動は、FISセミナーおよびFISサミットである。

FISサミットは、**2023年9月**にチューリッヒで開催されたFIS技術委員会秋季ミーティングに合わせて初めて開催された。合計**45**名カ国に渡る各国スキー連盟がFIS各部門の様々なプレゼンテーションに積極的に参加した。この第**1**回FISサミットの目的は、全てのスキー発展途上国を**1**つの屋根の下に集め、FISの成果物への積極的な参加および新たに承認されたFIS戦略プラン実行のためのプラットフォームを提供することであった。

FISセミナーは、ポルトロシュで開催されたFIS技術委員会春季ミーティングに合わせて初めて開催され、各国スキー連盟にFISおよび他国スキー連盟との新たな繋がりを提供した。この新しい形式は、これまで別々の場所で開催されていた**3**つのセミナーに代わるものであり、FISインテグリティ部門の主導のもと、**70**に渡る各国スキー連盟から**80**名以上が参加した。

上記の**2**つの活動はいずれも、FIS技術委員会の秋季および春季の活動と合わせて毎年実施され、それにより持続可能なアプローチを確保し、参加する各国スキー連盟に追加費用をかけることなく、事前に計画された会議を最大限に活用していく。

補填資料 19 – メディア & マーケティングの報告書

FIS メディア & マーケティングにとってこの冬は、FISワールドカップのメディア・放映権の中央集権化、グローバル・パートナーシップのためのコマーシャル・プログラムの強化、デジタル・トランスフォーメーション・プロセスの大きな前進、および国際放映映像の改善に明確に焦点を当てた、非常に忙しい冬となった。

メディア・放映権の一元化

私達のスポーツの価値を高め、現在の戦略的計画を前進させるためには、待望されていたメディアおよび放送権のプール化が最優先事項であり、重要であることに変わりはない。2024年4月26日（金）、FIS理事会は国際メディア・放送権の中央集権化に賛成し、FISがインフロントと独占代理店契約を結ぶ道を開いた。

改善された条件を含むメディア権中央集権化（MRCA）の更新された草案および利点の概要が、全てのワールドカップ開催国スキー連盟に提供され、集中化プロセスを間もなく完了することを目指している。

スポンサーシップ/パートナーシップ

過去2シーズンのFISワールドカップで、パートナーシップ権利およびアクティベーションのFISMAGからFIS マーケティング・メディアへの円滑な移行と統合に伴い、FIS マーケティング・メディアの内部的パートナーシップチームは、既存のFISパートナーとの関係維持に専念し、新たにより国際的なパートナー獲得にも積極的に取り組んでいる。新たに確立されたクライアント関係管理（CRM）構造は成功を収めており、パートナーの満足度とロイヤリティを向上させ、次の権利サイクルでのより良い取引更新のための交渉を前倒しで進める可能性がある。

FISワールドカップシリーズのパートナーシップは、従来の種目ごとのスポンサーシップの枠組みから、グローバルなB2B2Cプラットフォームへと変革が進んでおり、これによりFISのパートナーシップの投資収益率がデジタル、ビジネス、目的主導の価値にまで拡大している。デジタル管理、メディア、消費者データを活用することで、セールス知識も強化されより専門的になってきている。

今後の2027年以降のFIS世界選手権大会のセールスに向けて、チームは新たに再構築されて、より独占的な商業マーケティングコンセプトを強化している。また、既存のFISワールドカップスポンサーシップパッケージに焦点を当てる一方で、FISワールドカップ管理の補完およびFIS世界選手権の内部的管理を行うことがパートナーシップの一貫した機会を提供するために改善されたセールスカタログを提供する。特に、新興のウィンター市場（例：中国およびその他の地域での商業レクリエーションプロジェクトの試験運用）に特別な注意が払われている。

新たなスポンサーシップの詳細：

チームはFISワールドカップシリーズのパートナーシップを合計で当初の5社から8社に拡大し

た。

点眼製薬で市場をリードするHYLO社の数年に渡るパートナーシップへの追加と、昨シーズンのFISスキージャンプワールドカップでの成功事例となった導入により、アルペンスキー、クロスカントリーおよびスキージャンプのパートナーシップが完了した。すべての契約は2025/26シーズンまで続き、主要な種別でのメインパッケージが販売されている。

FISサプライヤーポートフォリオの改革が開始され、4つの新しい「オフィシャルサプライヤー」が追加となり、FIS衣類パートナーシップの分野が埋められた。

- *HYLOは、FISスキージャンプワールドカップの「プレゼンティングパートナー」としての契約を有効にし、活動を開始した(2023/24–2025/26)*
- *Colmar、Craft、Sun Valley、およびKinetixxが契約を結び、それぞれアルペンスキー、ノルディック種目、スノーボード&フリースタイルスキーの分野で、また全種目にわたる手袋の「FIS公式アパレルサプライヤー」として新たに加わる(2024/25–2025/26)。*
- *EltenとWürthはFIS Cross Country Tour de Skiの「プレミアパートナー」として契約し、積極的に活動を行っている(2023/2024)*

チームは、残りのFISワールドカップタイトルと次の権利サイクルのグローバル・パートナーシップの引き継ぎについて、詳細な協議を進めている。

2027-2029年FIS世界選手権大会のメディアおよび放映権

FIS マーケティング&メディアは現在、2027および2029年FIS世界選手権大会の国際メディア権販売のためのグローバル入札（ITT）プロセスを開発しており、このプロセスは2024年第3四半期に開始され、放送局や代理店に対してパン・リージョンのような市場ごとに権利の取得を提案するよう放送局を誘致している。

デジタルおよびイノベーション

2023年8月に発表があった中央集権化されたデジタルプラットフォーム戦略に続き、コンテンツ、チャネル、サービスに焦点を当てたFISは、様々な新しいプラットフォームを立ち上げ、新たなコンテンツ戦略の第一段階の実施を成功させた。FISは、FISプラットフォームに基づいた新たなモバイルアプリとウェブサイトを立ち上げにも成功し、このアプリはユーザーテストを基に設計され、ライブ結果、カレンダー、イベント、およびアスリート情報のより良い傾向とカスタマイズオプションに重点を置いており、新たなファン中心のユーザー体験と情報構造を提供する。また、FIS TVを初めとしたライブストリーミングを含むビデオサービスの統合も行われている。

さらに、FISはFIS TVを動画戦略の重要な部分として立ち上げた。FIS TVはモバイルアプリとウェブサイト統合されており、動画プレーヤーはどのデジタルプラットフォームにも埋め込むことができ、将来的な様々なアクセスおよびマネタイズモデルをサポートできる。現在、プラットフォームはFIS種別に対するリーチを最大化することに焦点を当てており、グローバル規模でのスノースポーツファンにとって「新しい習慣」として定着することを目指している。そのため、FIS TVはApple TVとAndroid向けのアプリとしても立ち上げられた。

昨シーズン期間中、FIS TVは221件のライブストリーミングと276件のハイライトクリップ（英語の解説が改善され、より迅速に提供された）を配信し、17万人のユニークユーザーに到達した。

ジュニア世界選手権大会においてもグローバルライブストリーミングにて強い数字を達成した。例えば、プラニツァで開催されたFISノルディックジュニア世界選手権大会では、FIS TVとYouTubeで合計50万回以上の再生数を獲得した。

さらに、FISはワールドカップ（ほぼすべてのFISアルペンスキー大会および全種別に渡る様々なハイライトを含む）をダークマーケット（放送パートナーがいない地域）でライブ配信することにより、大会へのグローバル規模でのアクセス拡大を実現した。

ソーシャルメディアにおいてFISは各チャンネルのカスタマイズコンテンツを優先のうえ専用の縦型動画戦略を実施してアーカイブ素材を創造的に活用し、その結果大会のプロモーション成果が非常に強力なものとなった。

FISの各チャンネルにおけるフォロワーの成長率は、前シーズンに比べてほぼ5倍の37%増加し、様々なFIS種別を通して250万人のフォロワーを達成した。

さらに、FISはリーチを76%、インタラクションを45%増加させ、FISチャンネルをアスリート、各国スキー連盟、大会主催者との共同のための本格的にプラットフォームにした。この成長は新しいコンテンツとエンゲージメントの提案によって推進され、全種別を通して前向きなフィードバックを得た。

FISのソーシャルメディア活動は、ますます若者のセグメントと新規市場にリーチしており、中国のWeibo、Douyin、Xiaohongshuで69万2000人のファンを獲得した。

FISは創立100周年を祝うため、#FIS100キャンペーンを立ち上げた。このキャンペーンには、FIS種別に渡る現代的なストーリーテリングを取り入れたデジタルビデオシリーズが含まれる。グローバル規模での若者のオーディエンスを対象として、選りすぐりのヒーロー選手をフィーチャーした現代的な配信コンセプトにより、すでに数百万人規模のファンにリーチしている。

熱狂的なファンとのエンゲージメントを高めるため、FISはアルペンスキー以外の追加種別にもゲーム開発の提案を拡張し、新たなスポンサー統合も行った。

組織的および商業的価値創造に向けて現代のデジタルオーディエンスデータ機能と提案を構築

するため、FISは一貫した認識管理を伴うエンゲージドユーザーモデルに移行した。

アスリートおよび各国スキー連盟に対して管理された規制環境で競技映像を提供するため、FISはコンテンツ交換プラットフォームを立ち上げて個別競技クリップの自動制作と配信（縦型動画フォーマット含む）のパイロット運用を成功させ、権利および使用規制のフレームワークとしてのデジタルガイドラインを確立した。

次のステップとして、FISはコンテンツ戦略をさらに発展させ、デジタルおよびアクセス権の現代化を含む取り組みを行い、スポーツ報道を超えたストーリー、視点、フォーマットに焦点を当てます。この戦略では、アスリート、感情、エンターテインメントを強調し、新しいオーディエンス開拓と既存の熱狂的なファンとの関係を深めることを目指す。さらに、FISはコンテンツを全ステークホルダーにとっての通貨として活用し、リーチ、エンゲージメント、商業的価値の創出を増加させることを目指す。

さらに、FISはファン向けのユニークな製品およびプラットフォームの提案を開発し、各国スキー連盟と協力してサービスのロードマップを作成のうえ、デジタルFISチャンネルに向けた新たなマネタイズ機会を探求することで、技術とビジネス主導であるイノベーション機会の有意義な適用を目指す。

放送制作物および基準

FISワールドカップ2023/24シーズンに向けて、ファンに対する遅延のないテレビ体験を向上させるための対応が早急な優先事項とされた。

基盤として、キャパシティの監査、今後のシーズンへの展望およびリアルタイムパフォーマンスデータの実装と共にデータ戦略が開始された。新しいデータ構造の準備が進められており、これによりデータへの継続的かつどこでもアクセスできるようになり、ライブ分析、ニアライブ分析、ポスライブ分析に必要なステップが踏まれる。

コンテンツの品質面からは、詳細な情報、ガイドライン、コンプライアンス基準をまとめた新たな放送局サポートマニュアルがアルペンスキーに対して編集された。没入型コンテンツの観点から、ドローンの大規模導入、チームラジオ通信のテスト、その他のオンボードビデオとオーディオ、競技場の新しいアングルが導入された。視覚的な魅力とデータ価値を高める機能提供のため、新たなグラフィックシーケンスが現代的なアニメーション、アスリートのプロフィール、ライブパフォーマンスインジケータと共に導入された。何名かの中心的なアスリートのプレゼンテーションシーンは、ムービングピクチャーやさまざまなフォーマットの導入によりアップグレードされた。

FIS100周年

FIS100周年を祝うこともまた、昨シーズンの特に2024年の初めから大きな優先事項であった。FISメディア&マーケティングチームはFIS100周年のロゴ活用を含む包括的なFIS100周年マルチメディアキャンペーンを企画・導入し、16のエピソードからなるウェブシリーズを含んだ特別な

デジタルコンテンツの作成、様々な専用ウェブサイトやソーシャルメディアプロモーション（#FIS100）、加えて現地および国際テレビフィード内でのアクティベーションを実施した。

補填資料 20 – パートナーシップおよびスポンサー広告契約

現在のパートナーシップおよびスポンサー広告契約は下記の通りである：

FISワールドカップタイトル/プレゼンティングスポンサー

Nordic 種別 タイトル/プレゼンティングスポンサー

スキージャンプ/ノルディックコンバインド タイトルスポンサー：
Viessmann, 契約年 2025/26まで

スキージャンプ プレゼンティングスポンサー：

Hylo, 契約年 2025/26まで

ノルディックコンバインド プレゼンティングスポンサー：
オープン

クロスカントリースキー タイトルスポンサー：

Coop, 契約年 2025/26まで

クロスカントリースキー “プレゼンティングスポンサー”：

Le Gruyère, 契約年 2025/26まで

アルペンスキー

タイトルスポンサー

Audi, 契約年 2025/26まで

スノーボード/フリースタイルスキー/フリースキー タイトルスポンサー

スキークロス: オープン

フリースタイルスキー/フリースキー: オープン

スノーボード: オープン

FISワールドカップのデータ、時計スポンサーおよびサービスプロバイダー

データ/時計スポンサー クロスカントリースキー

Certina, 契約年 2025/26まで

データ/時計スポンサー パーク & パイプ

Swatch, 契約年 2025/26まで

データ/時計スポンサー スキージャンプ / ノルディックコンバインド
オープン

データ/時計 フリースタイルスキー / スノーボード
オープン

FISワールドカップのデータ、時計スポンサーおよびサービスプロバイダー
Longines, with service by Swiss Timing, 契約年 2025/26まで

データ/時計スポンサー クロスカントリースキー, スキージャンプ および ノルディックコンバインド
Swiss Timing, 契約年 2025/26まで

データ/時計スポンサー FISフリースタイルスキー& スノーボード ワールドカップ
Swiss Timing, 契約年 2025/26まで

FIS パートナー

FIS公式車
, 契約年 2025/26まで

FISアパレルパートナー
アルペンスキー: Colmar
ノルディック: Craft
フリースタイルスキー & スノーボード:
Sun Valley Gloves: Kinettix
いずれも契約年 2026まで

FIS ワールドカップ トロフィー/メダル
Joska, 契約年 2024まで (契約延長交渉中)

空中ケーブル
Doppelmayr/Garaventa, 契約年 2025/26まで

壁面モニター FISアルペンスキーワールドカップ
Faber Audiovisuals, 契約年 2025/26まで

造雪サービス
TechnoAlpin, 契約年 2025/26まで
Sherpa Snowhow (KRS Sistemi), 契約年 2025/26まで

臨時設備
Nüssli, 契約年 2024まで (自動更新)

通信
Riedel, 契約年 2024まで (契約延長交渉中)

サービスプロバイダー/コース整備 フリースタイルスキーおよびスノーボード
Prinoth, 契約年 2024まで (契約延長交渉中)

サービスプロバイダー/雪整備 フリースタイルスキーおよびスノーボード
Kässbohrer, 契約年 2024まで (契約延長交渉中)

サービスプロバイダー/ハーフパイプ建設整備 スノーボード
Zaugg, 契約年 2024まで (契約延長交渉中)

競技用具用品
Liski, 契約年 2026まで

ローラースキープロバイダー
FF Rollerski, 契約年 2025まで

放送局および商権パートナー

FIS アルペンスキーおよびノルディック世界選手権大会 放送および商権
Infront Sports and Media AG 契約年 2023-2025

FIS フリースタイルスキー、スノーボード、フリースキー世界選手権大会 放送および商権
Infront Sports and Media AG 契約年 2023-2025

FIS フリースタイルスキー、スノーボード、フリースキー世界選手権大会 放送および商権
Bakurianiの商権は全てLOCに移譲された 2021-2023

FIS スキーフライング世界選手権大会放送権
EBU-European Broadcasting Union 契約年 2020-2024

FIS アルペン スキー ワールドカップ 2024/25

男子

Date	Day	Site	Nation	DH	SG	GS	SL	TC	Remarks
October 24									
27.	Sun	Sölden	FIS/AUT			27.			Opening W&M
November 24									
17.	Sun	Levi	FIN				17.		W&M
24.	Sun	Gurgl	AUT				24.		M&W
December 24									
06.-08.	Fri-Sun	Beaver Creek	USA	06.	07.	08.			
14.-15.	Sat-Sun	Val d'Isere	FRA			14.	15.		
20.-21.	Fri-Sat	Val Gardena/Gröden	ITA	21.	20.				*
22.-23.	Sun-Mon	Alta Badia	ITA			22.	23.		
28.-29.	Sat-Sun	Bormio	ITA	28.	29.				
January 25									
08.	Wed	Madonna di Campiglio	ITA				08.		Night event
11.-12.	Sat-Sun	Adelboden	SUI			11.	12.		
17.-19.	Fri-Sun	Wengen	SUI	18.	17.		19.		
24.-26.	Fri-Sun	Kitzbühel	AUT	25.	24.		26.		
28.-29.	Tue-Wed	Schladming	AUT			28.	29.		Night event
February 25									
02.	Sun	Garmisch Partenk.	GER	02.					
04.-16.	Tue-Sun	WSC Saalbach	AUT	X	X	X	X	X	+ TP
22.-23.	Sat-Sun	Crans Montana	SUI	22.	23.				
March 25									
01.-02.	Sat-Sun	Kranjska Gora	SLO			01.	02.		
08.-09.	Sat-Sun	Kvitfjell	NOR	08.	09.				*
15.-16.	Sat-Sun	Hafjell	NOR			15.	16.		
22.-27.	Sat-Thu	Sun Valley (TBC)	USA	22.	23.	26.	27.		Finals W&M
Total resorts 19 / Competitions 38				9	8	9	12		
Total Speed / Tech.					17	21			

13.05.2024

*:official replacement for speed events:Thu, 19.12. (Val Gardena/Gröden) and Fri, 07.03. (Kvitfjell)

FIS アルペンスキーワールドカップ 2024/25

女子

Date	Day	Site	Nation	DH	SG	GS	SL	TC	Remarks
October 24 26.	Sat	Sölden	FIS/AUT			26.			Opening W&M
November 24 16.	Sat	Levi	FIN				16.		W&M
23.	Sat	Gurgl	AUT				23.		W&M
30.-01.	Sat-Sun	Killington	USA			30.	01.		
December 24 07.-08.	Sat-Sun	Tremblant	CAN			07./08.			
14.-15.	Sat-Sun	Beaver Creek	USA	14.	15.				
21.-22.	Sat-Sun	St. Moritz	SUI		21./22.				
28.-29.	Sat-Sun	Semmering (TBC)	AUT			28.	29.		
January 25 04.-05.	Sat-Sun	Kranjska Gora	SLO			04.	05.		
11.-12.	Sat-Sun	St. Anton	AUT	11.	12.				
14.	Tue	Flachau	AUT				14.		Night event
18.-19.	Sat-Sun	Cortina d'Ampezzo	ITA	18.	19.				
21.	Tue	Kronplatz	ITA			21.			
25.-26.	Sat-Sun	Garmisch-Partenk.	GER	25.	26.				
30.	Thu	Courchevel	FRA				30.		Night event
February 25 01.-02.	Sat-Sun	Week-end off							
04.-16.	Tue-Sun	WSC Saalbach	AUT	X	X	X	X	X	+ TP
22.-23.	Sat-Sun	Sestriere	ITA			22.	23.		
March 25 28.-02.	Fri-Sun	Kvitfjell	NOR	28./01.	02.				
08.-09.	Sat-Sun	Åre	SWE			08.	09.		
14.-15.	Fri-Sat	La Thuile	ITA	14.	15.				*
22.-27.	Sat-Thu	Sun Valley (TBC)	USA	22.	23.	25.	27.		Finals W&M
Total resorts 20 / Competitions 37				8	9	10	10		
Total Speed / Tech					17	20			

05.06.2024

* official replacement for speed events: Thu, 13.03 (LaThuile)

ドラフト: FISクロスカントリースキーワールドカップ2024/25

Date	Day	Site	Nation	Distance / Format	Remarks
Period I					
29.11.	Fri	Ruka	FIN	10 km C	
30.11.	Sat	Ruka	FIN	Sprint C	
01.12.	Sun	Ruka	FIN	20 km Mass Start F	
06.12.	Fri	Lillehammer	NOR	10 km F	
07.12.	Sat	Lillehammer	NOR	Sprint F	
08.12.	Sun	Lillehammer	NOR	20 km Skiathlon	
13.12.	Fri	Davos	SUI	Team Sprint F	
14.12.	Sat	Davos	SUI	Sprint F	
15.12.	Sun	Davos	SUI	20 km Interval C	
Period II					
Tour de Ski					
28.12.	Sat	Toblach	ITA	Sprint F	<i>Tre Cime Based on Interval</i>
29.12.	Sun	Toblach	ITA	15 km Mass Start C	
31.12.	Tue	Toblach	ITA	20 km Interval F	
01.01.	Wed	Toblach	ITA	15 km Pursuit C	
03.01.	Fri	Val di Fiemme	ITA	Sprint C	
04.01.	Sat	Val di Fiemme	ITA	20 km Skiathlon	
05.01.	Sun	Val di Fiemme	ITA	Final Climb	
Period III					
17.01.	Fri	Les Rousses	FRA	10 km F	
18.01.	Sat	Les Rousses	FRA	Sprint C	
19.01.	Sun	Les Rousses	FRA	20 km Mass Start C	
24.01.	Fri	Engadin	SUI	Mixed Relay	
25.01.	Sat	Engadin	SUI	Sprint F	
26.01.	Sun	Engadin	SUI	20 km Interval F	
31.01.	Fri	Nove Mesto	CZE	Team Sprint C	
01.02.	Sat	Nove Mesto	CZE	Sprint C	
02.02.	Sun	Nove Mesto	CZE	10 km F	
14.02.	Fri	Falun	SWE	Sprint C	
15.02.	Sat	Falun	SWE	10 km C	
16.02.	Sun	Falun	SWE	20 km Mass Start F	
Period IV					
15.03.	Sat	Oslo	NOR	10 km Interval F	
16.03.	Sun	Oslo	NOR	20 km Mass Start C	
19.03.	Wed	Tallinn	EST*	Sprint F	
21.03.	Fri	Lahti	FIN	Team Sprint F	
22.03.	Sat	Lahti	FIN	Sprint F	
23.03.	Sun	Lahti	FIN	50 km Mass Start C	

FIS Nordic Junior World Ski Championships, Schilpario (ITA) - 3rd – 9th February 2025

* Special waxing set up

FISスキージャンプワールドカップ2024/25 – 男子

Date	Day	Site	Nation	Hill	Event	Remarks
III. Period						
22.11.	Fri	Lillehammer	NOR	HS 140	Mixed Team/night	
23.11.	Sat	Lillehammer	NOR	HS 140	Individual/night	
24.11.	Sun	Lillehammer	NOR	HS 140	Individual/night	
30.11.	Sat	Ruka	FIN	HS 142	Individual/night	Nordic Open
01.12.	Sun	Ruka	FIN	HS 142	Individual/night	
07.12.	Sat	Wisla	POL	HS 134	Individual/night	*Temp.Cert.
08.12.	Sun	Wisla	POL	HS 134	Individual/night	
13.12.	Fri	Titisee-Neustadt	GER	HS 142	Super Team / night	
14.12.	Sat	Titisee-Neustadt	GER	HS 142	Individual/night	
15.12.	Sun	Titisee-Neustadt	GER	HS 142	Individual/night	
21.12.	Sat	Engelberg	SUI	HS 140	Individual/night	
22.12.	Sun	Engelberg	SUI	HS 140	Individual/night	
IV. Period						
29.12.	Sun	Oberstdorf	GER	HS 137	Individual/night	4-Hills Tournament
01.01.	Wed	Ga-Partenkirchen	GER	HS 142	Individual	
04.01.	Sat	Innsbruck	AUT	HS 128	Individual	
06.01.	Mon	Bischofshofen	AUT	HS 142	Individual/night	
V. Period						
18.01.	Sat	Zakopane	POL	HS 140	Team/night	
19.01.	Sun	Zakopane	POL	HS 140	Individual/night	
25.01.	Sat	Oberstdorf	GER	HS 235	Individual	Ski Flying Ski Flying
26.01.	Sun	Oberstdorf	GER	HS 235	Individual	
VI. Period						
31.01.	Fri	Willingen	GER	HS 147	Mixed Team	
01.02.	Sat	Willingen	GER	HS 147	Individual	
02.02.	Sun	Willingen	GER	HS 147	Individual	
08.02.	Sat	Lake Placid	USA	HS 128	Individual/night	
08.02.	Sat	Lake Placid	USA	HS 128	Mixed Team event	
09.02.	Sun	Lake Placid	USA	HS 128	Individual/night	
15.02.	Sat	Sapporo	JPN	HS 137	Individual/night	
16.02.	Sun	Sapporo	JPN	HS 137	Individual/night	
22.02.	Sat					
23.02.	Sun					
25.02.	Tue	Trondheim 2025	NOR	HS 105		WSC 2025
09.03.	Sun		NOR	HS 138		
VII. Period						
13.03.	Thu	Oslo	NOR	HS 134	Individual	Raw Air
15.03.	Sat	Vikersund	NOR	HS 240	Individual	
16.03.	Sun	Vikersund	NOR	HS 240	Individual	
22.03.	Sat	Lahti	FIN	HS 130	Individual	
23.03.	Sun	Lahti	FIN	HS 130	Super Team	
28.03.	Fri	Planica	SLO	HS 240	Ski Flying /Ind.	WC Finale
29.03.	Sat	Planica	SLO	HS 240	Ski Flying/Team	
30.03.	Sun	Planica	SLO	HS 240	Ski Flying / Ind.	

FIS Nordic Ski World Championships 2025, Trondheim (NOR), 25.02 – 9.03.2025
 FIS Nordic Junior World Ski Championships 2025, Lake Placid (USA), 10.02 – 16.02.2025

FISスキージャンプワールドカップ2024/25 – 女子 @ ドラフト

Date	Day	Site	Nation	Hill	Event	Remarks
22.11	Fri	Lillehammer	NOR	140	Mixed Team	WC Opening
23.11	Sat	Lillehammer	NOR	140	Individual	
24.11	Sun	Lillehammer	NOR	140	Individual	
30.11.	Sat					
01.12.	Sun					
07.12.	Sat					
08.12.	Sun					
14.12.	Sat	Zhangjiakou	CHN	HS 106	Individual/night	
15.12.	Sun	Zhangjiakou	CHN	HS 106	Individual/night	
21.12.	Sat	Engelberg	SUI	HS 140	Individual	
22.12.	Sun	Engelberg	SUI	HS 140	Individual	
31.12.	Tue	Garmisch-Partenkirchen	GER	HS 142	Individual/night	30.12.quali
01.01.	Wed	Oberstdorf	GER	HS 137	Individual/night	
05.01	Sun	Villach	AUT	HS 98	Individual	
06.01	Mon	Villach	AUT	HS 98	Individual	
18.01.	Sat	Sapporo	JPN	HS 134	Individual/night	
19.01	Sun	Sapporo	JPN	HS 134	Individual	
24.01.	Fri	Zao	JPN	HS 102	Individual/night	
25.01.	Sat	Zao	JPN	HS 102	Super Team/night	
26.01.	Sun	Zao	JPN	HS 102	Individual/night	
31.01.	Fri	Willingen	GER	HS 147	Mixed Team/night	
01.02.	Sat	Willingen	GER	HS 147	Individual	
07.02.	Fri	Lake Placid	USA	HS 128	Individual	
08.02.	Sat	Lake Placid	USA	HS 128	Mixed Team	
08.02.	Sat	Lake Placid	USA	HS 128	Individual	
15.02.	Sat	Ljubno	SLO	HS 94	Individual	
16.02.	Sun	Ljubno	SLO	HS 94	Individual	
22.02.	Sat	Hinzenbach	AUT	HS 90	Individual/night	
23.02.	Sun	Hinzenbach	AUT	HS 90	Individual	
25.02. - 09.03.		WSC Trondheim 2025	NOR			WSC 2025
13.03	Thu	Oslo	NOR	HS 134	Individual	RAW AIR
15.03.	Sat	Vikersund	NOR	HS 240	Individual	
16.03.	Sun	Vikersund	NOR	HS 240	Individual	
20.03.	Thu	Lahti	FIN	HS 130	Individual/night	WC Final
21.03.	Fri	Lahti	FIN	HS 130	Individual/night	

FIS Nordic Ski World Championships 2025, Trondheim (NOR), 25.02 – 9.03.2025

FIS Nordic Junior World Ski Championships 2024, Lake Placid (USA), 10.02 – 16.02.2025

FISスキージャンプグランプリ 2024

		Men		Women	
Date	Day	Site	Hill	Site	Hill
I. Period					
13.08.	Tue	Courchevel, FRA	HS 132	Courchevel, FRA	HS 132
14.08.	Wed	Courchevel, FRA	HS 132	Courchevel, FRA	HS 132
17.08.	Sat	Wisla, POL	HS 134	Wisla, POL	HS 134
18.08.	Sun	Wisla, POL	HS 134	Wisla, POL	HS 134
II. Period					
21.09.	Sat	Rasnov (ROU)*	HS 97	Rasnov (ROU)*	HS 97
22.09.	Sun	Rasnov (ROU)*	HS 97	Rasnov (ROU)*	HS 97
28.09.	Sat	Hinzenbach, AUT	HS 90		
29.09.	Sun	Hinzenbach, AUT	HS 90		
05.10.	Sat	Klingenthal, GER	HS 140	Klingenthal, GER	HS 140
06.10.	Sun	Klingenthal, GER	Mixed Team HS 140	Klingenthal, GER	Mixed Team HS 140

*Maintenance at the hill is mandatory to confirm the event (latest 15.08.2024)

FISノルディックコンバインドワールドカップ 男子 2024/25(ドラフト)

Date	Day	Site	Nation	Hill	Event	Remarks
I. Period						
29.11	Fri	Ruka	FIN	HS 142	IC	Opening Tour
30.11	Sat	Ruka	FIN	HS 142	IG	
01.12	Sun	Ruka	FIN	HS 142	MS	
07.12	Sat	Lillehammer	NOR	HS 98	IG	
08.12	Sun	Lillehammer	NOR	HS 138	IC	
20.12	Fri	Ramsau	AUT	HS 96	MS	
21.12	Sat	Ramsau	AUT	HS 96	IG	
II. Period						
18.01	Sat	Schonach	GER	HS 100	IG	
19.01	Sun	Schonach	GER	HS 100	IC	
III. Period						
25.01	Sat	Hakuba*	JPN	HS 134	IG	
26.01	Sun	Hakuba*	JPN	HS 134	IG	
31.01	Fri	Seefeld	AUT	HS 109	MS	TRIPLE
01.02	Sat	Seefeld	AUT	HS 109	IC	
02.02	Sun	Seefeld	AUT	HS 109	IG	
07.02	Fri	Otepää	EST	HS 97	MS	
08.02	Sat	Otepää	EST	HS 97	IG	
09.02	Sun	Otepää	EST	HS 97	IC	
25.02 – 09.03 FIS WSC Trondheim						
IV. Period						
15.03	Sat	Oslo	NOR	HS 134	IG	
16.03	Sun	Oslo	NOR	HS 134	IC	
22.03	Sat	Lahti	FIN	HS 130	TS	
23.03	Sun	Lahti	FIN	HS 130	IG	

*Final confirmation from NSA pending

FISノルディックコンバインドワールドカップ 女子 2024/25(ドラフト)

Date	Day	Site	Nation	Hill	Event	Remarks
I. Period						
06.12	Fri	Lillehammer	NOR	HS 98	IG	
07.12	Sat	Lillehammer	NOR	HS 98	IC	
20.12	Fri	Ramsau	AUT	HS 96	IG	
21.12	Sat	Ramsau	AUT	HS 96	IC	
II. Period						
18.01	Sat	Schonach	GER	HS	IG	
19.01	Sun	Schonach	GER	HS	IC	
III. Period						
31.01	Fri	Seefeld	AUT	HS 109	MS	TRIPLE
01.02	Sat	Seefeld	AUT	HS 109	IC	
02.02	Sun	Seefeld	AUT	HS 109	IG	
07.02	Fri	Otepää	EST	HS 97	MS	
08.02	Sat	Otepää	EST	HS 97	IG	
09.02	Sun	Otepää	EST	HS 97	IC	
25.02 – 09.03						
FIS WSC Trondheim						
IV. Period						
15.03	Sat	Oslo	NOR	HS 134	IG	
16.03	Sun	Oslo	NOR	HS 134	IC	

*Final confirmation from NSA pending

FISノルディックコンバインドサマーグランプリ2024(ドラフト)

男子& 女子

		Men		Women	
Date	Day	Site, Nation	Hill, Event	Site, Nation	Hill, Event
24.08	Sat	Tschagguns, AUT	HS 109, Mixed T	Tschagguns, AUT	HS109, Mixed T
25.08	Sun	Tschagguns, AUT	HS 109, Gundersen	Tschagguns, AUT	HS109, Gundersen
28.08	Wed	Oberstdorf, GER	HS 137, Compact	Oberstdorf, GER	HS137, Compact
31.08	Sat	Chaux-Neuve, FRA	HS 118, Gundersen	Chaux-Neuve, FRA	HS118, Gundersen
01.09	Sun	Chaux-Neuve, FRA	HS 118, Compact	Chaux-Neuve, FRA	HS118, Compact

FIS Nordic Junior World Ski Championships 10-16.02.2025, Lake Placid
(USA) FIS Nordic World Championships 25.02 – 09.03 2025, Trondheim
(NOR)

FIS Roller Ski World Cup 2024 & FIS Roller Ski World Championships 2024

Date	Day	Site	Nation	Format	Distance SW/SM	Distance JW/JM	FIS TD / FIS Ass.TD
July							
17.07.	Wed	Madona	LAT	Interval start F	10k/15k	7.5k/10k	FIS TD Adeele ARNEK (EST) TD Ass. Ludvig Remb (SWE)
18.07.	Thu	Madona	LAT	Team Sprint C	2x3x1.4km	2x3x1.4km	
20.07.	Sat	Madona	LAT	Sprint F	200m	200m	
21.07.	Sun	Madona	LAT	Mass start F	20k	15k/20k	
August							
14.08	Wed	Schuchinsk	KAZ	Sprint F	200m	200m	FIS TD Alexandr Velechshuk (GER) TD Ass. Jeff Wang (TPE)
15.08.	Thu	Schuchinsk	KAZ	Mixed Team Sprint F	2x3x1.4km	2x3x1.4km	
17.08.	Sat	Schuchinsk	KAZ	Interval start C	10km	10km	
18.08.	Sun	Schuchinsk	KAZ	Mass start F	20km	16km/20km	
September							
FIS Rollerski World Championships 2024							
12.09.	Thu	Ziano di Fiemme	ITA	Mass Start F	10/15km	10/15km	FIS TD Marko Lustrek (SLO) TD Ass. Josef Gabriel (CZE)
13.09	Fri	Ziano di Fiemme	ITA	Sprint F	200m	200m	
14.09.	Sat	Ziano di Fiemme	ITA	Team Sprint F	2x5x2.4km	2x3x2.4km	
15.09	Sun	Alpe Cermis	ITA	Mass start C Uphill	11/15km	11/15km	

* For all ROL WC stages official rollerski equipment provider will be company FF Rollerskis AS <https://ffskis.com/> for all distance events.

**All 200m sprint competitions will be carry out on athletes' own equipment according ICR 396.2.3 - 396.2.4

FISフリースタイルスキーワールドカップカレンダー 2024/2025

女子 / 男子

Date	Day	Site	NAT	MO	DM	AE	AET	AES	Notes
November 24									
30.	Sat	Ruka	FIN	30					
December 24									
06.-07.	Fri-Sat	Idre Fjäll	SWE	06	07				
13.-14.	Fri-Sat	Alpe d'Huez	FRA	13	14				
20.-21.	Fri-Sat	Bakuriani	GEO	20	21				
January 25									
18.-19.	Sat-Sun	Lake Placid	USA			18	19		TBC*
24.-25.	Fri-Sat	Waterville Valley	USA	24	25				
25.-26.	Sat-Sun	Lac-Beauport	CAN			25		26	
31.-01.	Fri-Sat	Val St. Come	CAN	31	1				
February 25									
06.-08.	Thu-Sat	Deer Valley	USA	06	08	07			
21.-24.	Thu-Mon	Beidahu	CHN	21	22	23	24		
28.-02.	Fri-Sun	Almaty	KAZ	28	01	02			
March 25									
11.-13.	Thu-Sun	Livigno	ITA	11	12	13			TBC*
17.-30.	Mon-Sun	Engadin	SUI	18Q/19F	21	29Q/30F	27		WSC
Locations 12 / Nations 9 / Competitions 56				10/10	09/09	07/07	02	01/01	

* waiting for application from LOC/NSA -TBC

スノーボードアルペンFISワールドカップカレンダー2024/2025

女子 / 男子

Date	Day	Site	NAT	PGS	PGS Team	PSL	PSL Team	Notes
November 24								
30.-01.	Sat-Sun	Mylin	CHN	28		29		
December 24								
07.-08.	Sat-Sun	Yanqing (NASC)	CHN	05		06		
12.	Thu	Carezza	ITA	12				
14.	Sat	Cortina d'Ampezzo*	ITA	14				
21.	Sat	Davos	SUI			21		
January 25								
11.	Sat	Scuol	SUI	11				
14.-15.	Tue-Wed	Bad Gastein	AUT			14	15	
18.-19.	Sat-Sun	Bansko	BUL	18/19				
25.	Sat	Rogla	SLO	25				
February 25								
08.-09.	Sat-Sun	Val St. Come	CAN	08/09				
March 25								
01.-02.	Sat-Sun	Krynica	POL	01/02				
15.-16.	Sat-Sun	Winterberg	GER			15	16	
20.-23.	Sun-Sun	Engadin /St. Moritz		20		22	23	WSC
Locations 12 / Nations 09 / Competitions 36				12/12		05/05	02	

**Pending application from FIS!

スノーボードクロスFISワールドカップカレンダー

2024/2025

女子 / 男子

Date	Day	Site	NAT	SBX	SBX Team	Notes
December 24 13.-15.	Fri-Sat	Cervinia	ITA	13-14/15		TBC*
January 25 17.-19.	Fri-Sun	Gudauri	GEO	17-18/19		
24.-26.	Fri-Sat	Dolni Morava	CZE	24-25	26	
29.-30.	Mi-Do	TBC	EUR	29-30		TBC
February 25 14.-15.	Fri-Sat	Cortina d Ampezzo	ITA	14-15		
March 25 07-09.	Fri-Sun	Livigno	ITA	07-09		TBC**
14.-16.	Fri-Sun	TBC	ESP	14-15/16		TBC
20.-22.	Thu-Sat	Montafon	AUT	20-21/22		
28.- 29.	Sun-Sun	Engadin /St. Moritz		28	29	WSC
April 25 04.-06.	Sat-Sun	Mt. St. Anne	CAN	04-05/06		
Locations 8 / Nations 7 / Competitions 30				14/14	02	

Note: 1) 10 = 10th Quali+Final date, 2) 09-11 = 09th Qu -11th Fin date, 3) 09/11 = 09 Qu+Fin/11 Qu+Fin, 4) 09-11/12 = 09th Qu-11th Fin/ 12 Fin dates)

* Pending application from FISl

** Pending applications from LOC / FISl / MICO

スキークロスFISワールドカップカレンダー 2024/2025

女子 / 男子

Date	Day	Site	NAT	SX	SX Team	Notes
December 24						
10.-13.	Tue-Fri	Val Thorens	FRA	10-11-12/13		Reserve Day 14.12. Night Event Reserve Day 22.12.
16.-17.	Mon-Tue	Arosa	SUI	16-17		
19.-21.	Thu-Sat	Innichen	ITA	19-20/21		
January 25						
14.-17.	Tue-Fri	Reiteralm	AUT	14-15-16/17		
21.-24.	Tue-Fri	Alleghe	ITA	21-22-23/24		
30.-02.	Thu-Sun	Veysonnaz	SUI	30-31-01/02		
February 25						
06.-09.	Thu-Sun	San Pellegrino	ITA	06-07-08/09		
March 25						
28.-02.	Thu-Sun	Gudauri	GEO	28-29-01/02		TBD TBC*
06.-07.	Thu-Fri	Livigno	ITA	06/07		
12.-15.	Wed-Sat	Craigleith	CAN	12-13-14/15		
21.-23.	Fri-Sun	Engadin	SUI	21-22	23	WSC
27.-29.	Thu-Sat	Idre Fjäll	SWE	27-28/29		Finals
Locations 11 / Nations 7 / Competitions 40				20/20		

Note: 1) 10 = 10th Quali+Final date, 2) 09-11 = 09th Qu -11th Fin date, 3) 09/11 = 09 Qu+Fin/11 Qu+Fin, 4) 09-11/12 = 09thQu-11th Fin/ 12 Fin dates)

* Pending applications from LOC / FIS / MICO

スノーボード フリースキー / パーク & パイプ FISワールドカップカレンダー 2024/2025

女子 / 男子

Date	Day	Site	NAT	Freeski			Snowboard			Notes
				HP	SS	BA	HP	SS	BA	
September 30.-01 07.-08.	Fri-Sun Sat-Sun	Cardrona Cardrona	NZL NZL	07-08				30-31-01		
October 24 18.-19.	Fri-Sat	Chur	SUI			18			19	
November 24 22.-23. 28.-30.	Fri-Sat Thu-Sat	Stubai Beijing	AUT CHN		22-23	29-30			29-01	
December 24 04.-07. 11.-14.	Wed-Sat Wed-Sat	Secret Garden Copper	CHN USA	05-07 12-14		04-06	04-06 13-14		05-07	TBC
January 25 03.-05. 09.-11. 15.-18. 29.-01.	Fri-Sun Thu-Sat Wed-Sat Wed-Sat	Klagenfurt Kreischberg Laax TBC	AUT AUT SUI USA		14-15-17 29-31	03-04 09-10 X	17-18 29-31	15-16-18 30-01	03-05 09-11 X	TBC
February 25 14.-15. 20.-22. 19.-22.	Fri-Sat Thu-Sat Wed-Sat	Calgary Stoneham Calgary	CAN CAN CAN	14-15	20-21-22		19-21	20-21-22		Res D Res D
March 25 11.-14. 13.-14.	Tue-Fri Thu-Fri	Tignes Livigno	FRA ITA		11-12-14	11-12-13		12-13-14		TBC**
17.-30.	Wed-Sun	St. Moritz	SUI	28-30	19-20-22	26-27-29	27-29	20-21-23	25-26-28	WSC
16 Locations / 08 Nations / 66 Competitions				05/05	05/05	07/07	05/05	05/05	06/06	

Note: * Night Finals

** Pending Applications from LOC / FIS / MICO

22.1 ジュリーメンバーおよび世界選手権大会組織委員会主要役員の任命

各技術委員会は、様々なジュリーメンバーおよび技術役員の提案をした。以下一覧は、以前に任命されたものと、新たに提案されたものを**太字**で示している：

2025年FISノルディック世界選手権大会 トロンハイム (ノルウェー)クロスカントリースキー

Technical Delegate 1st week
TD Assistant 1st week

Anna Rosa, ITA
Thomas Unterfrauner, AUT

Technical Delegate 2nd week
TD Assistant 2nd week

Thomas Unterfrauner, AUT
Anna Rosa, ITA

Jury Member
Jury Member

Seraina Mischol, SUI
Martins Niklass, LAT

スキージャンプ

Technical Delegate
TD Assistant
TD Assistant

Aljosa Dolhar, SLO
Andi Bauer, GER
Suzanne Tahk, EST

Judges

Ole Walseth/ Martin Ronningen, NOR Jiri
Parma/ Michal Bartos, CZE
Olaf Beyer/ Maik Stielow, GER
Martino De Crignis/ Sandro Samburgo, ITA
Fabrice Piazzini/ Rico Parpan, SUI
Steve Sydow/ Reed Zuehlke, USA

ノルディックコンバインド

Technical Delegate
TD Assistant

Matija Stegnar, SLO
Jana Koziskova, CZE

Medical Supervisor

tbc

2025年FISアルペンスキー世界選手権大会 ザールバッハ(オーストリア)

Technical Delegate Women
Jury Women

Lisa Ferguson, CAN
Assia Ilieva, BUL
Martin Kupco, SVK
Andreas Fischer, GER

Technical Delegate Men
Jury Men

Franz Hofer, SUI
Thomas Sjödin, SWE
Francois Simond, FRA Rainer
Senoner, ITA

Medical Supervisor

2025年FISスノーボード/フリースタイル/フリースキー世界選手権大会 エンガディン(スイス)

Technical Delegate Moguls/Aerials	Thomas Schaefer, USA
Technical Delegate Cross	Vakhtang Kopadze, GEO
Technical Delegate Halfpipe	Konstantin Mincev, BUL
Technical Delegate Slopestyle	Paco Krom, NED
Technical Delegate Big Air	Adelasia Zitta, ITA
Technical Delegate SB Alpine	John Jett, USA
Head Judge AE	Tina 田中 Sundekvist, 日本
Head Judge MO	Alberto Orsatti, ITA
Judges MO	Pavla Slaba, CZE
	Gaspard Rubin, FRA Martin Carr, GBR
	Alexandra Krieger, GER Nicole Gafner-Bumann, SUI Jörgen Eriksson, SWE
Chuck Search, USA Judges AE	Daniel Murphy CAN
	David Morris, AUS
	Olya Polyuk, UKR
	Peter Medulics, HUN
	Dmitriy Kavanov, UZB
Video Control AE	
Head Judge Snowboard	Adam Begg, AUS
Judges	Iztok Sumatic, SLO
	橋本 涼, 日本 Julien
	Haricot, FRA Geoff
	Peterson, CAN Andrin
	Regli, SUI Gareth Vogan,
	GBR Fredrik Westman,
	SWE Mark Koelker, USA
	Arianna Cau, ITA
Head Judge Freeski	Jason Arens, USA
Judges	Tobias Gratz, AUT
	Anton Björklund, SWE
	Florian Brändli, SUI Elliot
	Carter, CAN
	Jonas Fjellstad, NOR (replaces Lars
	Lomsdalen, NOR)
	Antonin Ferrari, FRA Dane
	Kirk, NZL
	Will Tucker, GBR Erin
	Young, USA
Medical Supervisor	TBD

2025年パラ冬季競技世界選手権大会

Para Alpine Skiing

Technical Delegate
Jury Member
Jury Member

Simone Carzeri, ITA
Bostijan Andric, SLO
Yohann Taberlet, FRA

Para Nordic

Technical Delegate
Technical Delegate Assistant (CC)
International Referee Shooting Range
Jury Member
Adaptive Equipment Controller (Classification)
Equipment Controller

Torbjorn Broks Pettersen, NOR
Hans Peter Neeser, SUI
Tip Ray, USA
Sebastian Scholz, AUT
Sue Sandwick, USA FIS
tbc

Para Snowboard

Technical Delegate SBX
Technical Delegate BSL

Christoph Arndt, AUT
Lukasz Ligocki, POL

Jury Member
Jury Member
Jury Member

Olga Zinkiv, UKR
Wolfgang Steinberger, AUT
Memet Guney, TUR

2025年FISアルペンスキージュニア世界選手権大会 タルビジオ(イタリア)

Technical Delegate Women
Technical Delegate Men

Edin Terzic, (BIH)
Jordi Fius, (AND)

Medical Supervisor

2025年冬季ユニバーシティゲームズ トリノ(イタリア)

クロスカントリースキー

Technical Delegate
TD-Assistant

Uros Poinikvar, SLO
Ingela Kälvedal, SWE

アルペンスキー

Technical Delegate Women
Technical Delegate Men

Jelena Lolovic Sechaud, FRA
Thomas Pool, SUI

スノーボード、フリースタイルスキー & フリースキー

Technical Delegate Park & Pipe
Technical Delegate Snowboard Alpine
Technical Delegate Cross
Technical Delegate MO/DM

Lukasz Ligocki POL
Frederik Bergström, SWE
Helmuth Lexer, AUT
Minna Karhu, FIN

Head Judge Snowboard
Judges

Filip Fischer, SWE
Jackie Carlson, CAN
Mario Winkelmann, GER Ivan
Ivanov, BUL
Pavel Pawluczuk, POL
Daniele Ricci, ITA

Philippe Ramseyer SUI

Head Judge Freeski
Judges

Florian Müller, GER
Hugo Sorrel, FRA

Max Obwallner, AUT Michael Kennedy, USA Kilian Morone, ITA
Scott Naismith, GBR Alex Benz, SUI

Head Judge Moguls/Dual Moguls
Judges

Marko Klančar, SLO
Yuliya Fominykh, ARM

Real Robichaud, CAN Petri Anttila, FIN Marion Kohly, FRA
Alberto Orsatti, ITA

2025年ヨーロッパユースオリンピック冬季競技大会, バクリアニ (ジョージア)

スノーボード/フリースキー

Technical Delegate Slopestyle/Big Air

Iren Mashova, BUL

アルペンスキー

Technical Delegate Women

TBD in autumn 2024

Technical Delegate Men

TBD in autumn 2024

2025年FISノルディックジュニア世界選手権大会, スキパリオ (イタリア)

クロスカントリースキー

Technical Delegate
TD Assistant

Gregor Mali, SLO
Pinja Ojanen, FIN

Jury Member

Dmitriy Kolomeyets, KAZ

2025年FISノルディックジュニア世界選手権大会, レイクプラシッド (アメリカ)

スキージャンプ

Technical Delegate
TD Assistant

Judges

ノルディックコンバインド

Technical Delegate
TD Assistant

Daniel Köhler, GER
Faustyna Malik, POL

Medical Supervisor

tbc

2026年オリンピック冬季競技大会 ミラノ・コルティナ (イタリア)

アルペンスキー

Technical Delegate Women
Jury Women

Bruno Tuaire, FRA

Paul Van Slyke, USA
Stefano Pirola, CHI
Anneli Richardsson, SWE

Technical Delegate Men
Jury Men

Thomas Braun, GER
Enrique Diaz, ESP
Janez Dekleva, SLO Olav
Skjotskift, NOR

Equipment Control Men
Equipment Control Women

Mike Kertesz, FIS
Andi Krönner, FIS

クロスカントリースキー

Technical Delegate 1st week
TD Assistant 1st week

Jakub Teichman, CZE
Marte Trondsen, NOR

Technical Delegate 2nd week
TD Assistant 2nd week

Marte Trondsen, NOR
Jakub Teichman, CZE

Jury Member
Jury Member

Mikko Rantanen, FIN
Mathieu Fort, FRA

スキージャンプ

Technical Delegate
TD Assistant
TD Assistant

Jelko Gros, SLO
Georg Späth, GER
Jessica Jerome/ Alissa Johnson, USA

Judges

Giovanna Comina/ Martino De Crignis, ITA Pau
Hellauer Werner / Knoll Peter GER Grand
Chavin Bruno / Gay Jerome FRA David
Piguet/ Rico Parpan, SUI
Marit Stub Nybelius / Per Busk SWE

ノルディックコンバインド

Technical Delegate
TD Assistant

Günter Csar, AUT
Stanislav Jirasek, CZE

スノーボード, フリースタイルスキー & フリースキー

Technical Delegate Moguls/Aerials
Technical Delegate Cross
Technical Delegate Halfpipe
Technical Delegate Slopestyle
Technical Delegate Big Air
Technical Delegate SB Alpine
Equipment Control

Andy Stein, CAN
Anne-Patricia Gugger, SUI
Heejin Park, KOR
Konstantin Mincev, BUL
Paco Krom, NED
Wolfgang Steinberger, AUT
TBD

Head Judge Snowboard
Judges

Adam Begg, AUS
Iztok Sumatic, SLO

橋本 涼, 日本 Julien Haricot, FRA Geoff Peterson, CAN
Andrin Regli, SUI Gareth Vogan, GBR Fredrik Westman, SWE
Mark Koelker, USA Arianna Cau, ITA

Head Judge Freeski
Judges

Jason Arens, USA
Tobias Gratz, AUT

Elliot Carter, CAN Anton Björklund, SWE Jonas Fjelstad, NOR
Florian Brändli, SUI Danke Kirk, NZL Victoria Beattie, AUS
William Tucker, GBR Antonin Ferrari, FRA

Head Judge Aerials
Head Judge Moguls/Dual Moguls
Judges Moguls / Dual Moguls

Marko Klančar, SLO
Alberto Orsatti, ITA
Zoe Jabor, AUS Pipsa
Pohjavirta, FIN Maion
Kohly, FRA Hajime Ito,
JPN Yuliya Degteva,
KAZ

Judges Aerials

Jörgen Eriksson, SWE Chuck Search, USA

Daniel Murphy, CAN
Sen Qiu, CHN

Nicole Gafner-Bumann, SUI Olya Polyuk, UKR

Video Control AE

Emily Cook Lauer, USA
Dmitriy Kavanov, UZB

2026年冬季パラリンピック競技大会 ミラノ・コルティナ (イタリア)

パラアルペン

Technical Delegate Women
Technical Delegate Men

Hermann Putz, AUT
Dider Bonvin, SUI

Start Referee
Finish Referee

Paul Trainer, GBR
Yohan Taberlet, FRA

Video Control
Equipment Controller

Liu Jin - CHN
Matjaz Vrecl, FIS

パラスノーボード

Technical Delegate SBX
Technical Delegate BSL

Christoph Arndt, AUT
Lukasz Ligocki, POL

Referee
Start Referee
Finish Referee

Wolfgang Steinberger, AUT
Olga Zinkiv, UKR
Memet Guney, TUR

Video Control SBX
Video Control DBSL

Lukasz Ligocki, POL
Christoph Arndt, AUT

Equipment Controller

TBC

パラノルディック

Technical Delegate
Technical Delegate Assistant (CC)
International Referee Shooting Range
Jury Member
Adaptive Equipment Controller (Classification)
FIS Equipment Controller

John Aalberg, CAN
Ingela Kälvedal, SWE
Rob Schnider, CAN
Alexandr Velechshuk, GER
Sue Sandwich, USA
tbc

2027年FISノルディック世界選手権大会, ファールン (スウェーデン)

クロスカントリースキー

Technical Delegate 1st week
TD Assistant 1st week

Mikko Rantanen, FIN
JiYoung Bae, KOR

Technical Delegate 2nd week
TD Assistant 2nd week

JiYoung Bae, KOR
Mikko Rantanen, FIN

Jury Member
Jury Member

Doug Debold, USA

スキージャンプ

Technical
Delegate TD
Assistant
TD Assistant

Judges

ノルディックコン

バインド

Technical
Delegate TD
Assistant

Medical Supervisor

tbc

2027年FISアルペンスキー世界選手権大会, クランモンタナ (スイス)

Technical Delegate Women
Jury Women

Hans Schneider, (AUT)
Bojan Panovski,
(MKD) TBD, (NZL)

Technical Delegate Men
Jury Men

Fred Comte, (FRA)
Roland Johansson, (NOR)

Judith Lluent, (ESP)

22.2 世界選手権大会組織委員会主要役員の任命

各大会組織委員会は、様々なポジションについて以下の通り新たな提案を行い、各FISマネジメントにおいて検討された(新たな提案は太字で表示されている):

2025年FISアルペンスキー世界選手権大会, ザールバッハ (オーストリア)

Head of sports	Bartl Gensbichler sen.
Projetmanager sports	Ulrich Hochkogler,
Bsc. Chief of Competition Speed women	Bartl Gensbichler jun.
Chief of Competition Speed men	Rudol Zeller
Chief of Competition Tech. women	Bartl Gensbichler jun.
Chief of Competition Tech. men	Rudolf Zeller
Race Secretary	TBD
Chief of Course Speed women	Fritz Steger jun.
Chief of Course Speed men	Fritz Steger sen.

2026年オリンピック冬季競技大会 ミラノ・コルティナ (イタリア)

アルペンスキー

Cortina

Chief of Competition Speed	Matteo Gobbo
Chief of Competition Tech.	Matteo Gobbo
Race Secretary	Martina De Sandre
Chief of Course Speed	Davide Viel
Chief of Course Tech.	Davide Viel

Bormio

Chief of Competition Speed	TBD in autumn 2024
Chief of Competition Tech.	TBD in autumn 2024
Race Secretary	TBD in autumn 2024
Chief of Course Speed	TBD in autumn 2024
Chief of Course Tech.	TBD in autumn 2024

2027年FISアルペンスキー世界選手権大会, クランモンタナ (スイス)

Chief of Competition Speed	TBD in autumn 2024
Chief of Competition Tech.	TBD in autumn 2024
Race Secretary	TBD in autumn 2024
Chief of Course Speed	TBD in autumn 2024
Chief of Course Tech.	TBD in autumn 2024

* * *

FIS クロスカントリー委員会からの提案 (Proposals from FIS Cross-Country Committee)

FISクロスカントリー委員会は、FIS理事会の承認を得るため、次の提案書を提出する：

ワールドカップ・ルール (Wrold Cup Rules)

2.2.6 ステージ・イベントのスタート・クォータ（FIS ツール・ド・スキー） (Start Quotas for Stage Events (FIS Tour de Ski))

各国で男女それぞれ、最大10名のスタート・クォータ（枠）の権利がある。この数字は以下も含む：

- ・ 基本となるスタート・クォータ＝ネーション・クォータ（第2.2.1.条）
- ・ ワールドカップ総合優勝選手とCOCリーダーの特別クォータ（第2.2.3条、第2.2.4条）
- ・ ナショナル・グループ・クォータ（第2.2.5条）
- ・ ステージ・イベント直前の、ワールドカップ・スプリント・ランキング・トップ20の選手（男女）

最大10名のクォータとは別に、大会主催国には男女それぞれ、2名のU23の選手を出場させる権利がある。

2.4 チーム競技における選手のスタート・クォータ (Athletes Start Quotas for Team Competitions)

各国2チームを出場させる権利がある。混合チーム（異なる国々）での参加は、全ナショナルスキー連盟に認められる。

~~混合チーム（異なる国々）は、自国チームを編成するには選手数が足りないスキー連盟に限り、認められる。~~

2カ国以上のNSA（国）で1つの混合チームを編成してはならない。

~~既にリレーやミックスリレーのチームがあるNSAは、更に他のNSAと混合チームを編成することは認められない。~~

2.6.3.2 国家間の協力用追加コースビブ (Additional Course Bibs for Cooperation's between Nations)

国家間協定を締結した国には、協力関係にある国の数にかかわらず、1協定当たり最大2枚の追加コースビブが与えられる。

~~それらビブは、当該国選手の出走の有無に関わらず、ワールドカップのシーズン全体を通して、協力関係にあるそれぞれの国が使用できる。~~

2023/24シーズンに「小規模チーム」が参加した、週末のワールドカップレース数に応じて（少なくとも週末ごとに1レース、男女いずれか1名）、「大規模チーム」は協力のため、次の方法でビブを使用することが認められる：

<u>小規模チーム ワールドカップ・レース参加の割合*</u> <u>(World Cup Participation of the Small Team)</u>	<u>使用可能なビブの数</u> <u>Number of available bibs</u>
<u>ワールドカップのレース参加数が39%以下</u>	<u>小規模チーム参加イベントにおいて1枚</u>
<u>ワールドカップのレース参加数が40%～59%以下</u>	<u>全シーズンを通して1枚・制限なし</u> <u>小規模チーム参加イベントにおいて1枚</u>
<u>ワールドカップのレース参加数が60%以上</u>	<u>全シーズンを通して2枚・制限なし</u>

* 2チーム以上が協力関係にある場合、その中で最も良いワールドカップのレース参加数を適用する。

4.2.4

宿舎、交通手段、ケータリングサービスの予約キャンセル・ルール (Cancellation Rules for Accommodation, Transport, Catering)

予約キャンセルのパーセンテージ計算は、宿舎が満室の場合、四捨五入する（0.1～0.4は切り捨て、0.5～0.9は切り上げる）。

キャンセル料の金額は、大会毎にイベントプログラムに明記する。

FISのオンライン・エントリーシステムを利用せず、期限を尊重しないNSAは、ワールドカップ価格および／あるいはワールドカップの各種条件についての権利を失う。

国家間協力（ネーション・サポート）で生じたキャンセル料の相殺については、個別に審査されOC、FISスタッフ、および問題になっている国（チーム）との相互合意に基づき決定される。

4.2.5

OCサービスの予約キャンセル・ルール (Cancellation Rules for OC Services)

チーム単位の予約キャンセル、またはOCサービス（ワックストラックなど）の一部キャンセルに対しては、OCがキャンセル料を定める権利を有する。ワックスキャビンに関しては、OCはキャンセルされたキャビンのキャンセル料をチームに請求する前に、FISスタッフと共に再割り当ての確認をする。

FISのオンライン・エントリーシステムを利用せず、期限を尊重しないNSAは、ワールドカップ価格および／あるいはワールドカップの各種条件についての権利を失う。

6.15.3

レッドグループ (Red Group)

レッドグループ・リストは、最新のディスタンスおよびスプリントのワールドカップ・ランキングリスト ~~(WRL)~~ の女子上位15名と男子上位15名の選手で構成される (8.1条)。

支払いは個人の順位に基づく。

レッドグループ選手への立替え払いは、競技会場が同一の場合、競技初日の2日前から最終競技が行われた翌朝までとする。

チーム競技のみ参加した選手も、立替払いの対象となる。

6.2.15.4

レッドグループとCOC選手の旅費 (Travel Costs for Red Group and COC Athletes)

旅費は主催者が大会終了後、遅くとも ~~2-4~~ 週間以内に ~~銀行振込または現金で~~ チームへ支払う（~~主催者がどちらか選択する~~）。

大会終了後、2週目以降の支払いに対しては、主催者へ250スイスフラン（CHF）の遅延料が適用される支払い期日から2週目以降、4週間の遅延につき、999スイスフラン(CHF)。 この措置から除外されるのは、銀行口座情報等の不備により生じた遅延のみとする（各NSAが正しい口座情報をOCへ直接提供する責任を負う）。

旅費分の領収書は、大会最終日から遅くとも2日以内に、OCがチームのヘッドコーチ宛に郵送しなければならない。

6.2.15.4.1

地域 (Regions)

FIS加盟国は5つのトラベル地域に区分される：

1) 北欧：

デンマーク、エストニア、ラトビア、リトアニア、フィンランド、アイスランド、ノルウェー、スウェーデン、イギリス、アイルランド

2) 東欧：

アルメニア、ベラルーシ、ブルガリア、グルジア、カザフスタン、~~ラトビア、リトアニア~~、ルーマニア、ロシア、ウクライナ、ウズベキスタン

3) 中・南欧：

アンドラ、オーストリア、ベラルーシ、ボスニア・ヘルツェゴビナ、クロアチア、チェコ、スペイン、フランス、ドイツ、~~イギリス~~、ギリシャ、ハンガリー、~~アイルランド~~、イタリア、リヒテンシュタイン、ルクセンブルク、モナコ、オランダ、ポーランド、サンマリノ、スロバニア、スロベニア、スイス、トルコ

4) 海外Ⅰ：

アルジェリア、カナダ、エジプト、イラン、イスラエル、レバノン、モロッコ、メキシコ、南アフリカ、セネガル、スーダン、スワジランド、アメリカ、ジンバブエ

5) 海外Ⅱ：

アルゼンチン、オーストラリア、ブラジル、チリ、中国、フィジー、グアテマラ、ホンジュラス、日本、韓国、北朝鮮、モンゴル、ニュージーランド、フィリピン、プエルトリコ、ウルグアイ、米領バーキン諸島

6.3.5.5

レッドグループおよびCOC選手の宿泊費生活費

(Accommodation Living Costs for Red Group and COC Athletes)

主催者は第6.1条に従い、競技初日の少なくとも2日前から、最終競技が行われる翌朝までのレッドグループ、およびCOC選手の宿泊費を支払わなければならない。

ワールドカップのディスタンスおよびスプリント競技ステージ・イベントについては主催者が以下の通りに支払う：

- ・ 選手が、スプリント レッドグループ リストに属する場合、最初のスプリントレースの少なくとも2夜前から、最後のスプリントレース、またはチーム競技の少なくとも翌日の朝まで。
- ・ 選手が、ディスタンス レッドグループ リストに属する場合、最初のディスタンスレースの少なくとも2夜前から、最後のディスタンスレース、またはチーム競技の少なくとも翌日の朝まで。
- ・ 選手が、スプリント レッドグループ リストに属し、かつCOCリーダーである場合、最初の競技の少なくとも2夜前から、最後の競技の少なくとも翌日の朝まで。
- ・ ステージ・イベントの場合、レッドグループに属する全ての選手に対し、最初の競技の少なくとも2夜前から、最後の競技の少なくとも翌日の朝まで。
- ・ 選手が、スプリント レッドグループ リストに属する場合、最初のチーム競技（リレー

およびチームスプリント)の少なくとも2夜前から、最後のスプリントレースの少なくとも翌日の朝まで。

- ・ 選手が、ディスタンス レッドグループ リストに属する場合、最初のチーム競技(リレーおよびチームスプリント)の少なくとも2夜前から、最後のディスタンスレースの少なくとも翌日の朝まで。

OCが勧める宿泊施設(競技開催地周辺、または空港内)とは別の施設を、チームが全期間あるいは数日間希望する場合、OCはチームへ、1日当たり最大125スイスフラン(CHF)を他の宿泊施設(ワールドカップ開催地周辺、または空港内)を予約した、第6条のペイリストの対象選手がいるNSAへ 支払う。OCはチームに、実費証明のため、ホテルの予約宿泊確認書を依頼することができる。また、宿泊手配の申込期日に合わせて、同情報は事前にOCへ明確に通知されなければならない。選手が、自宅 宿泊費が発生しない場所に滞在する場合生活費宿泊費は支払われない。

6.7.1.6

ワックストラック (Wax Trucks)

- ・ 駐車スペースは、ワックストラックで到着するチーム用に、ワックスキャビンエリアからできるだけ近くに用意する。
- ・ 各トラック専用の電源は、駐車スペースから最大30mの距離に設置する。
- ・ ワックストラックで到着するチームには、ワックスキャビンは提供されない。第7.2条に定められているように、更衣スペースのみが提供される。
- ・ 十分な作業スペースと保管スペースが無い、小型のワックストラックに対しては、上記ルールは例外とする。その場合、チームには通常のワックスコンテナの半分のスペースを利用することができる。ワックスコンテナの割り当てと、スペースについては、FISスタッフが事前に確認をする。
- ・ ワールドカップシーズン中にワックストラックを使用するNSAは、FIS秋季会議の前に、FIS ノルディック オフィスに通知しなければならない。
2024/25 4 シーズンにワックストラックを使用する国は次の通り：
~~スウェーデン、ノルウェー、ドイツ、スイス、カナダ、フィンランド、ロシア、アメリカ、フランス、チェコ~~
チームは、最初の競技の遅くとも8週間前までに、FIS競技オンライン登録システム(予備エントリーフォーム)経由で、ワックスの使用について、または要望をOCに確認すること。
- ・ チームは、駐車場のサイズや電源など、トラックに関する要望をOCに伝える。
- ・ 選手の着替えや居住スペースとして、トラックやバスを使用するチームも同様、上記の手順に従わなければならない。これらトラックやバスにも、駐車スペースの利用が可能となるが、ワックストラックがスタジアムまでの距離の面で優先される。

7.4

競技場の配置 (Arrangements Field of Play)

ネーションボックス (Nation Boxes)

スタジアムのレイアウトが許せば、スタート/フィニッシュ地点に、着替えエリアとして使用できる専用

スペースを各チームに割り当てる。チームは、ミックスゾーンを通して、各チームの専用スペース、いわゆるネーションボックスから退去する。

スタート地点のトイレ (Toilets at Start)

レースの競技形式に応じ、主催者はスタート地点の近くに、少なくとも2つのトイレを用意しなければならない。

前走 (Forerunners)

レースの競技形式と競技コースの長さに応じて、主催者はFISレース・ディレクターおよび技術代表と協議した上で、十分な数の前走を用意しなければならない。

ローラースキー・ワールドカップ・ルール (Rollerski World Cup Rules)

3.5 チームスプリント (Team Sprint)

予選 (Qualification)

2名の選手が交互に各々3周(シニア男子は各5周)する。予選ラウンド終了後、少なくとも30分の休憩を挟んで決勝が実施される。ICR315.2条に則り、インターバル・スタートの手順で行う。スタート時のインターバル(間隔)は、10、15、20、または30秒とする。一走でエントリーしている選手は、二走でエントリーしている選手より先にスタートをする。両選手のタイムを合算し予選ラウンドの成績を決定する。インターバルで、コースを2周する場合は、スタートクロックを使用することもできる。

スタートリスト： リレー出場メンバーのFIS スプリント・ポイント、あるいはディスタンスポイントの合計点が、一番低いチームがビブナンバー1を付ける。二番目に低いチームはビブナンバー2を 付け、以下同様に続く。複数のチームが、合計ポイントで同数になった場合、その中で最も低いポイント保持者のいるチームが少ない数字のビブナンバーを付ける。それでもスタート位置が決まらない場合はドローで決定する。

決勝 (Finals)

2名の選手が交互に各々3周(シニア男子は各5周)する。決勝のスタート位置は、予選ラウンドのリアルタイムに基づいて決定する。同タイムがある場合、チームの合計FISポイントにより順位を決め、スタート位置を確定させる。それでもスタート位置が決まらない場合はドローで決定する。
決勝戦へ進出できるチーム数は15とする。
各リレー走者のスタート・ナンバーは色分けをする。

国際競技規則 (ICR)

311.1.3 OWG、WSC、JWSC、WC、およびCOCにおけるクロスカントリー競技コースは、公認証に記載されたコース仕様でのみ、使用をする。

311.2.1 [...] ホモロゲーション (公認) の手続きの詳細については、~~「FIS-クロスカントリー公認マニュアル」~~「クロスカントリースキーホモロゲーション (公認) 手続き」に記載されている

(CC DOCセクションにリンク)。

311.2.2 ~~クロスカントリー・スポーツの振興を目的として開催される大会では、コース公認の基準を外れたコースを使用することも可能である。ただし、ルール&コントロール小委員会の承認が必要である。~~WCのレースでは、ホモロゲーション（公認）インスペクター（検査官）により、安全かつ公平である、と検証されていれば、登りおよびコースの長さが基準を満たさないコースでも認定される。

316.2 手動計時では、競技者の体のどの部分でも先行したブーツのつま先が、フィニッシュラインを通過した時にタイムを計測する。フィニッシュコントローラーは、フィニッシュラインの通過が正しいかどうかを決定する。

316.2.1 競技者が、フィニッシュラインを越える際に転倒した場合、競技者の体のすべての部分が外部からの援助なしに、フィニッシュラインを越えていれば、第316.2条、第316.3.5条、または316.4-3.6条に従い、選手にフィニッシュタイムが割り当てられる。

352.1.4 OWG、WSC、WCにおいて、制裁はTDを含む2人のジュリーメンバーの合意のもと下される。これらジュリーは、異なる国から派遣されること。RDおよびRDAは、FISの中立的立場であると見なされる。

361.3.5 ジュリーの制裁以外の決定事項に対する抗議：
・ 非公式リザルトの掲示、またはオフィシャルコミュニケーションの後、15分以内

322.2.1 推奨基準 (Recommended Norms)

形式／準備	矢じり形または <u>フラット</u> スタート・グリッド	矢じり形または <u>フラット</u> スタート・グリッド
クラシカル・トラック	奇数 3以上	(オプショナル) 奇数 3以上

323.2.1 推奨基準 (Recommended Norms)

形式／準備	矢じり形または <u>フラット</u> スタート・グリッド	
クラシカル・トラック	奇数 3以上	

326.2.1 推奨基準 (Recommended Norms)

形式／準備	矢じり形または <u>フラット</u> スタート・グリッド	矢じり形または <u>フラット</u> スタート・グリッド
クラシカル・トラック	奇数 3以上	(オプショナル) 奇数 3以上

327.2.1 推奨基準 (Recommended Norms)

形式／準備	矢じり形または <u>フラット</u> スタート・グリッド	矢じり形または <u>フラット</u> スタート・グリッド
-------	----------------------------------	----------------------------------

	ド	
クラシカル・トラック	奇数 3以上	(オプショナル) 奇数 3以上

361.2.1 抗議は、ICR第361.1.1条から第361.1.5条に従い、レースオフィス、または公式プログラムや大会公式掲示板に掲載された場所電子メールアドレス、あるいはチーム・キャプテンミーティングで行う。

311.2.7 OWG、WSC、JWSC、およびWCにおけるクロスカントリーコースの最高地点は、~~1800~~
2000mを超えてはならない。

~~326.3.2.3~~ ~~準決勝が行われた際に、選手の交代があった場合、そのチームの最初のスタート位置は無効となり、最後尾からスタートしなければならない。元のスタート位置はそのまま空けておく。~~

~~326.6.2~~ ~~準決勝では、連続的に競技が進行し時間的制約もあるため、競技中の抗議は受理されない。抗議は決勝の後のみ受理される。~~

~~326.6.3~~ ~~チームスプリント競技中は、ICR第224.7条は適用されない。~~

361 抗議 (Protests)

361.1 抗議の種類 (Types of Protests)

361.1.5 ジュリーの決定に対する抗議。ICR第325.6.2条および~~326.6.2条~~も参照。

FISポイントルール (FIS Points Rules)

3.5 インジャリー・ステータス (怪我・病気・出産など) (Injury Status)

3.5.1 インジャリー・ステータスの申請 (Request Injury Status)

選手が怪我をして、シングル・ペナルティーの適用を申請する場合、ナショナルスキー連盟はシングル・ペナルティーの承認を得るために、シングル・ペナルティー用公式申請書と医師の診断書を負傷、または医療手術後3週間以内にFISへ提出しなければならない。診断書には、完治までのおおよその目安が記載されていること。

インジャリー・ステータスが承認されれば、負傷した時点で有効であったFISポイントに基づき、22%のペナルティーが加算される。但し、負傷前のFISポイントに対し、最小4ポイント、最大で26ポイントとする。~~インジャリー・ステータスは負傷した日から適用される。~~

選手がFIS競技会に出場した復帰後、直ちに負傷ステータスは失われる。

3.5.1.2 期間 (Duration)

インジャリー・ステータスは、負傷または医療手術を受けた日から適用される。インジャリー・ステータスは、最大で365日適用される。診断書には、完治までのおおよその目安が記載されていること。インジャリー・ステータスは自動的に延長されない。 怪我が365日以上長引く場合、ナショナルスキー連盟はFISに対し、申請書および医師の診断書共に、再申請しなければならない。

3.5.1.2 インジャリー・ステータスの終了 (Termination of the Injury Status)

インジャリー・ステータスは以下のように終了する：

- ・ 怪我、または医療手術を受けた日から、最大365日を超えた場合
- ・ 選手が、インジャリー・ステータス期間中に、FIS競技会に復帰した場合

5.5.1.3 FIS競技会復帰後のFISポイント (FIS Points after Return to FIS Competitions)

インジャリー・ステータスが終了した後、選手は次のFISポイントリストが発表される前にFIS レースに復帰しなければならない。

次のFISポイントリストのインジャリー・ステータス終了直後に 発表前に、選手がFISレースに復帰しなかった場合、選手は全てのFISポイントを失う。

~~5.2.4 FISポイントのマキシмум・バリュは999とする。計算において、いずれかの選手のFISポイントが、これより多い場合には、バリュ999を適用する。~~

5.3.5 マキシмум・ペナルティー (Maximum Penalties)

5.3.5.1 WSCの予選ラウンドでは、次のマキシмум・レース・ペナルティーが適用される：

- ・ 女子： 120
- ・ 男子： 90

5.3.5.1 上記以外のレースについては、計算されたペナルティーが700を超える場合、700を適用する。

2024年6月4日／FIS理事会 議論内容および決定事項
(Discussion and Decision by the FIS Council, 4th June 2024)

5.3.1 通貨および送金期日 (Currency and Transfer Deadlines)

プライズマネー（賞金）は、選手の銀行口座の通貨で送金されなければならない。

プライズマネー（賞金）は、各ワールドカップイベントの最終競技後、遅くとも4週間 2週間以内に、各選手に電子的に支払われる。~~（チーム競技の場合も同様に、チームスプリントでは、両選手がそれぞれ合計金額の50%を受け取り、リレーでは、4人の選手全員が合計金額の25%を受け取る）。~~

2-3週目以降の支払いについては、主催者に対し1回につき250スイスフラン(CHF)、1週遅れる毎に、999スイスフラン(CHF)／週の遅延料が適用される。銀行口座情報等の不備による遅延は除く。

FIS理事会 (FIS Council)

当該条項をICR200条に追加し、全競技種別に適用できるようにすることが提案された。

FIS スキージャンプ委員会からの提案

FIS スキージャンプ委員会は、FIS理事会の承認を得るために以下の提案を提出する。

ジャンプ委員会は男女ワールドカップシリーズに用品コントローラーの追加を要求している。

カレンダー申請の条件

- FISへの全ての大会申請において、大会主催者がその大会シーズンに要求されたならば、最新の有効なジャンプ台公認証を得るという保証書をナショナルスキー連盟は提出しなければならない。

- 更に、FISジャンプ台小委員会が示す通りに、また、カレンダー計画小委員会の2018/19シーズン分析（2019年4月12日の会議議事録参照）に従い、大会主催者が当該施設に対するジャンプ台改善要件全てを請け負う保証書を各ナショナルスキー連盟より提出する必要がある。

- ワールドカップカレンダー申請を評価するにあたり、更なる検討ポイントとして、ワールドカップ大会申請の他に各ナショナルスキー連盟より出されるジャンプコンチネンタルカップ大会及びFISカップ大会の申請が含まれる。

FIS スキージャンプ委員会からの提案

ICR-国際競技規則

410 ジャンプ台

411 ジャンプ台建築基準

411.1 ジャンプ台のサイズ別分類

種類	HSのサイズ
スモールヒル	- 49 m
ミディアムヒル	50 m - 84 m
ノーマルヒル	85 m - 109 m
ラージヒル	110 m - 149 m
ジャイアントヒル	150 m - 184 m
フライングヒル	200 m以上

431 飛型点の採点

431.2.2 着地

減点

- 着地全体の失敗の最大減点数 5点

- 1つの失敗として着地の最後においてテレマークが入らない（足が平行）着地の最小減点 3点

433 得点計算と成績の発表

433.2 飛距離点

飛距離点は、テーブルポイントに基づき計算される。1m毎の得点は、ジャンプ台のK点により定められたテーブル（得点換算表）による。

K点距離	1 m当たりの点数
20-24m	4.8
25-29m	4.4
30-34m	4.0
35-39m	3.6
40-49m	3.2
50-59m	2.8

60-69m	2.4
70-79m	2.2
80-99m	2.0
100-134m	1.8
135-164m	1.6
180m以上	1.2

451 ノーマルヒル及びラージヒルでの国際選手権

~~451.6 オリンピック及びスキ―世界選手権において、4回目の公式競技ラウンドが行われた後、悪天候のため競技が延期された場合には、2回目の公式競技ラウンドは、天候が許す限り出来るだけ開催されるものとする。そのような場合、試技が2本目の前に行なわれるべきである。~~
~~オリンピックやスキ―世界選手権の期間中に2回目の公式競技ラウンドが開催出来ない例外的な場合、4回目の競技ラウンドの総得点が最終成績となる。このような状況が発生した後に、試技を4回目の公式ラウンドとすることは許されない。~~

451.6条は過去に一度も使用されたことがなく、詳細は452.2.2条に含まれている。

452 (ノーマルヒル又はラージヒル、ジャイアントヒル)での国際競技会

452.2 ジャンプの回数

452.2.2 例外的に悪天候のため、2回目の競技ラウンドを行なうことができない場合、1回目の競技ラウンドの総得点が最終成績として使用される。このルールはまた、3本の競技ラウンドが予定されている競技会にも適用される（この場合、1本目又は2本目終了の結果を最終とみなすことができる）。例外的に、悪天候やその他の異常な状況の場合、前日のいずれかの日に練習ラウンドが1回完了していれば、試技（トライアルラウンド）を行なわなくてもよい。この決定は、競技が開始する前にジュリーにより下されなければならない。このような状況が発生した後に、試技（トライアルラウンド）を1回目の公式ラウンドとすることは許されない。

454 スキーフライング競技会

454.4 競技日数とジャンプ数

スキーフライング大会は、4日間にわたって行なわれる。いずれかのラウンドが取り消しや再競技になったとしても、1人1日45本を超える公式なジャンプを行なってはならない。このルールはフォーランナーにも適用される。

ワールドカップルール男子

4. ワールドカップ競技会

4.1 各国の参加人数

参加人数は、ピリオド別に以下に従い計算される。

- ワールドランキングリスト（第4.1.1条参照）
- 現在のコンチネンタルカップ男子ピリオドのスタンディング
- JWSC(ジュニアスキー世界選手権)の個人戦の結果（上位3選手のみ）

計算の基本は以下の通りである。

- ワールドランキングリストに基づくワールドカップアロケーションリスト（4.1.2条参照）の上位45選手（1カ国最大5名）
- コンチネンタルカップ男子ピリオド上位3名
- JWSCの個人戦の上位3選手（1カ国最大1クォータ、国別、指名ではない）、クォータはJWSC後のピリオド全体から次のJWSC前週まで有効、各NSAはJWSCの年齢基準を満たす別の選手を当該クォータに使用することが認められる。

- しかしながら、1カ国のクォータは最高76選手に制限する。
- (ランキングリストによる)ネーションクォータとは別に、昨年又は現シーズン中に個人又は団体戦で最低1点でも獲得したことがある国は、選手2名の基本クォータをもつ。

ワールドカップルール女子

4.6 KOシステム

ジャンプ委員会は、予選及び競技ラウンドに関する上記のルールを修正する権利を有する。

トゥーナイツツアー (Two Nights Tour) 2024/25の競技会形式

予選ラウンドで選手を30人に減らす。

1本目はKOシステムで飛ぶ。

1対1のあと、勝者15名およびラッキールーザー5名がファイナルラウンドに進める。

4.9 ワールドカップスキーフライング女子

ワールドカップスキーフライング大会は、ワールドカップスキージャンプルール及びICR454条に従い開催されなければならない。

ワールドカップスキーフライングは、現在のワールドカップ総合スタンディングの上位45選手、~~及び、出場権を獲得できる最大5選手のみ~~が1本目にスタートできる。1本目のあと、上位15選手のみファイナルラウンドに進める。

選手は、最初の公式練習日までに18歳に達していなければならない。

~~2024年3月13日 (水曜日) のトリンハイムでのワールドカップ大会後のロウエアランキングの上位45位の中で最大5選手。~~

~~追加出場権の基準の定義は、遅くとも秋のジャンプ委員会で確認・発表される。~~

スキーフライングWC女子のスタート順 (SFランキングが導入されるまでの暫定オーダー)

公式練習のスタート順は、WCスタンディングの逆順が使用される。シーズンの最初の競技会として開催される競技会のスタートリストは、公式練習の結果のランキングに従う。2試合目以降は、前の競技会とスタンディングのランキングが使用される。

競技用品規格

4.3 アンダーウェア

スキージャンプ用アンダーウェアは、ポリエステルとポリウレタンの組み合わせのエラスタンタイプ (* 訳注 伸縮性がある) の生地 (ライクラ、スパンデックスなど) で作られていなければならない。アンダーウェアは二つのパーツ (シャツとパンツ) で構成される。袖はヒジ上で終わってなければならない。パンツの裾はヒザ上で終わってなければならない。ストッキング/ソックスとパンツのオーバーラッピング (重ね着) は認められない。スキージャンプ用アンダーウェアの全ての部分は同じ素材で作られ、外側から内側、内側から外側に向かって同じ通気性 (空気透過率) を示さなければならない。

外側のタックとダーツ、折り目、パッドは許可されない。アンダーウェアのすべてのパーツの厚さは同じで、1.5 mm を超えてはならない。アンダーウェアの縫い目、すべての層とパーツを合わせた合計の厚さは 3 mm を超えてはならない。すべての裾は単一のピースで縫製され、ピース全体が同じ物理的材料の特性を持っていなければならない。シーム (縫い目) は、アンダーウェアの部分を結合するためにのみ存在できる。すべてのシームは真っ直ぐであるか、または、体の形に合う形状でなければならない。アンダーウェアの内側または外側にシームを追加したり、シームを変形させたり、ひも、棒、折り目、テープなどを付けたりすることは許可されない。アンダーウェアの両ピースの全体に布地を 1 層だけ使用することが許可される。布地は表面が均一で、目立った突起、塊、へこみがないようにしなければならない。

アンダーウェアの空気透過率は、60 l/m² を超えなければならない。アンダーウェアのサイズ、フィット、形状は、ボディーサイズと体形と同じでなければならない。Tシャツにジッパー、ボタン、ベルクロ（マジックテープ）または類似品を付けることは許可しない。アンダーウェアをスーツやボディーのあらゆる部分に取り付けや固定することは認めない（ストラップ、フック、テープ、その他固定補助材等）。

固定するもの(例：一体化した指穴)は認められない。如何なる種類のシリコン裏地・テープも許可されない。ショーツのシームのウエスト周りに最大3cm幅のゴムバンドを巻くことは許可される。フードの形状は認められない。

アンダーウェアの両部分のカットは、以下の図面に従わなければならない：

2024年6月4日のFIS理事会による協議と決定

4.5 スーツのマーキング

FIS シリーズで使用されるすべてのスーツは、大会前に FIS 指定のシステムで マーキングされなければならない。

番号が付けられ、コード化されたチップのセットが各スーツ専用となり、選手の 名前とスーツ番号に関するデータが指定された FIS システムに記録される。スーツの各パーツは、コントローラーによる検査後にチップでマーキングされる。

検査およびマーキングされたスーツのパーツを交換することは許可されない。選手はマーキングを取り外したり操作したりすることは認められない。

(2024年サマーはテスト段階、ただしGP及びCOC男子大会のみ)

FIS理事会：

このルールはより理解しやすいように言い換える必要がある。いずれにせよ、最終決定は2024年夏のテスト段階の後に下される。

ノルディックコンバインド委員会は、2024年6月のFIS理事会に以下の提案を提出する。

共同のワックスがけ（ワクシング）－シーズン中 1 週末。

昨シーズンオーベルストドルフで行われたテストに基づき、LOC とチームにとってこのテストをより価値のあるものにするために変更できる分野がいくつかあることが分かった。

● ワックスサプライヤーは以下を提供する：

- 週末（金曜～土曜～日曜）に必要なワックスすべて
- ワックス用具（アイロン、ワックス、テーブルなど）
- テストを行いその日のワックスを決定する。

● LOCが以下を供給する：

- 共同ワクシングプロジェクトのワックスサプライヤーを見つける。
- 十分な空気の流れと空調を備えた最低200㎡のワックステント。
- 通常通りの着替え用キャビン
- チームの規制と関与
 - ワックス用トラックは認めない。
 - 自国のワックスがけを行うワックスマンはテント内に1か国最大4名
 - ワックスマンは各自、テント内にドリルを持参する。
 - 共同ワクシングテントに追加の用具は認めない。
 - ワックス用キャビンは用意されず、全てのスキーの準備は共同ワクシングテントで行う。

ノルディックコンバインド委員会からの提案

国際競技規則

- 526.1 オリンピック冬季競技大会、世界選手権大会、ワールドカップでは、選手は公式トレーニング中(ジャンプ及びクロスカントリー)及び競技会の間、スタートナンバーを着用することが義務である。そのルールに違反した選手は失格となる。このような場合、LOCの正しい番号(記入可能)が記載された予備またはブランクのビブを使用できる。ただし、選手は罰金500スイスフランを支払わなければならない。

ワールドカップルール男子

4.1 各国の参加人数

参加人数は、ピリオド別に以下に従って計算される：

- ワールドランキングリスト（第4.1.1条参照）
- 現在のCOC-NCピリオドのスタンディング

計算の基本は、以下の通りである：

- ~~ワールドランキングリストの上位55選手~~1カ国最大6名
- COC-NCピリオドの上位3名(1カ国につき1名のみ)
- このアロケーション（配分）はワールドランキングリストのスタンディングトップから順々に下位の選手一人にクォータ1枠を割り当てる。ある国が最大クォータ6枠を獲得したら、当該国の残りの選手はカウントされず、総計50人に達するまでワールドランキングリストで次に資格のある選手の国に枠が配分される。最後の配分クォータ枠が複数の場合、当該順位の全ての選手が次のピリオドに含まれる。

4.3 ノルディックコンバインド トリプル（NCT）

- 1日目（デー1）ジャンプ1本 ~~7.5km インデビデュアルランダーセン~~ マススタート 10km
- 2日目（デー2）ジャンプ1本、~~10km インデビデュアルランダーセン~~ インデビデュアル コンパクト 7.5km
- 3日目（デー3）ジャンプ1本、12.5km インデビデュアルランダーセン
- 選手全員がデー1にスタート。
- （公式成績に従い）デー1の試合上位50選手がデー2にスタート。
- （公式成績に従い）デー2の試合選手全員がデー3にスタート。

公式成績表に記載の選手のみが翌日の競技会に参加する権利を有する。

例：全ての競技会に参加しない選手、又は、NPS、DNS、DNF、DQリスト上の選手はNCTでスタートする権利を有しない。

選手の各日の成績が翌日に繰り越され、デー4後固定ポイントが与えられ、デー2及びデー3も持ち越す。デー3にフィニッシュラインを切った最初の選手がノルディックコンバインドトリプルの優勝者となる。

5.2 FISワールドカップトロフィー

- （全てのワールドカップ個人戦を含む）FISワールドカップ男子ノルディックコンバインド総合優勝者には、**ビッグワールドカップトロフィー**が与えられる。このトロフィーはFISが用意する。
- コンパクト大会がシーズン中3戦行われたならば、ワールドカップコンパクト個人戦総合優勝者には、**スモールワールドカップトロフィー**が与えられる。このトロフィーはFISが用意する。
- マススタート大会がシーズン中3戦行われたならば、ワールドカップマススタート個人戦総合優勝者に

は、スモールワールドカップトロフィーが与えられる。このトロフィーはFISが用意する。

ワールドカップルール女子

1.2.1 ノルディックコンバインド委員会は、以下を検討する：

- 有効な公認証を有し、WCNC-W大会として当該ジャンプ台(最大ヒルサイズNH)及びコースが適しているか。

2025年ノルディックスキー世界選手権後、ラージヒルで初の女子ワールドカップ大会を開催する場合はこのルールを除く。(ホルメンコーレン)

- 全競技時間を通じライブ放送に適した国際テレビ信号の提供を保証することを含めた選考基準により、WCNC-W大会として当該組織委員会が適しているか。

5.2 FISワールドカップトロフィー

- (全てのワールドカップ個人戦を含む) FISワールドカップ女子ノルディックコンバインド総合優勝者には、ビッグワールドカップトロフィーが与えられる。このトロフィーはFISが用意する。

- コンパクト大会がシーズン中3戦行われたならば、FISワールドカップコンパクト個人戦総合優勝者には、スモールワールドカップトロフィーが与えられる。このトロフィーはFISが用意する。

- マススタート大会がシーズン中3戦行われたならば、FISワールドカップマススタート個人戦総合優勝者には、スモールワールドカップトロフィーが与えられる。このトロフィーはFISが用意する。

ワールドカップルール男子及び女子

4.6 スーパースプリント (男子は4.7条)

4.6.1 定義

個人スーパースプリント競技は、クロスカンントリーインターバルスタートの試合として開催され、予選から始まる。予選後、予選通過選手はエリミネーションラウンド(スプリントヒート)(勝ち抜き式)のスプリントファイナルズで競う。

4.6.2 コース及びスタジアム

推奨基準

コース

- | | |
|-----------|-------------------|
| ・ コースの長さ | フリーテクニックで700～800m |
| ・ プロログタイム | およそ1分30分とする。 |

スタート

- | | |
|---------------------|-------------------------------------|
| ・ 開催 | トラックのない予選専用通路1本 |
| | スプリントヒート(本戦)用通路5本 |
| ・ クラシカル用トラック | オプション、通路につき1本(スケーティングの十分なスペースがない場合) |
| ・ トラックの長さ(スタートライン後) | 30～50m |
| ・ トラック間の距離 | トラックが無い時通路につき3m、 |
| | トラック付き 1.8m |

フィニッシュ

- | | |
|-----|---------|
| ・ 幅 | 9m (最低) |
|-----|---------|

・ 通路の数 3～4本（各3m）

選手は、スタートラインから最初の 30～ 50 メートルのマークされた通路内（スタートゾーン）でラインを変更することはできない。

予選で使用するコースと本戦で使用するコースは同じであること。

コースの各セクションは、追い越しが可能なように、直線、幅、長さを十分に考慮して設計する必要がある。

4.6.3 スタート順およびスタート手順

4.6.3.1 予選

4.6.3.2 インターバルスタート手順

スプリント予選ラウンドのインターバルスタートは通常15秒を使用する。ジュリーはインターバルを短くまたは長くすることができる。

スタートコマンドは、スタートタイム5秒前のカウントダウン（5-4-3-2-1）及びスタートシグナル（GO!）から成る。

コマンドは口頭または音声信号で与えることができる。

選手は足をスタートライン後ろに置かなければならない。

ポールはスタートライン及び又はスタートゲート前に置かなければならない。

選手はスタート信号の3秒前から3秒後の間であればいつでもスタートできる。スタート信号の3秒以上前にスタートした場合、不正スタートとなる。

選手がスタート信号から3秒以上遅れてスタートした場合、レイトスタートとなりスタートリストの時間がカウントされる。

遅れてスタートした選手は、他者のスタートを妨害してはならない。

電気式および手動式の両方の計時で、選手のスタート遅れが不可抗力によるものであるとジュリーが判断した場合に備えて、選手の実際のスタート時間を記録しなければならない。

4.6.4 ファイナルヒートー クォータファイナル（準々決勝）、セミファイナル（準決勝）、ファイナル（決勝）

4.6.4.1 ヒートスタート手順

スタートエリアには、1メートル間隔でスタートラインとプレスタートラインが設けられる。

ジュリーの承認があれば、電子式および/または機械式のスタートゲートを使用することができる。

選手は、指示が与えられ、指定されたスタートレーンのプレスタートラインに並ぶ。スターターは「スタート位置に着け」と指示し、選手はスタートラインまで進み、スタートラインおよび/またはスタートゲートの後ろにポールを置く。選手全員がスタートラインに着くと、スターターは「セット」と指示し、選手全員は、TCMで発表するスタート信号をスターターが出すまで動かずにいなければならない。

ゲートを使用しないスタートは、上記と同じ原則と手順に従う。

準々決勝への選手の割り当ては、予選ラウンドの順位（上位 25 名）に基づいて決定される。以下の表は、選手を各ヒートに割り当てる原則を示している。

4.6.4.2 表: 5人の選手が5つのヒートで戦う準々決勝

- 各準々決勝の上位2名が準決勝に進出

- 各準決勝の上位2名が決勝に進出

ヒートのスタート順はプロログの結果に基づく。

- ヒート結果 (5-3-1-2-4)

表A					
準々決勝 5ヒートで選手5名、最大25名が進める					
ヒートの割り当て	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5
1-20位の分布	1	4	5	2	3
	10	7	6	9	8
	11	14	15	12	13
	20	17	16	19	18
21-25位の分布	21	24	25	22	23

4.6.4.3 表: 準決勝及び決勝

準決勝 選手8名		決勝 選手4名
S1	S2	決勝
Q1 #1	Q3 #2	S1 #1
Q1 #2	Q4 #1	S1 #2
Q2 #1	Q4 #2	S2 #1
Q2 #2	Q5 #1	S2 #2
Q3 #1	Q5 #2	

4.6.4.4. 資格を得た選手数が少ない場合、以下の表を準決勝、準々決勝に使用することができる。

1-10の分布	S1	S2
	1	2
	4	3
	5	6
	7	8
	10	9

予選ラウンドの選手数が20人未満のスーパースプリント競技において、ジュリーは表Aの縮小版の使用を決定できる、または、選手を直接準決勝や決勝に割り当てることができる。

4.6.4.5 予選のフライングスタート

予選では、早めのスタート違反に対して 15 秒のタイムペナルティ（競技者の実際のスキータイム + 15 秒のペナルティ）が科せられる。

フライングスタートをした選手はスタートラインに戻されない。フライングスタート違反は必ず審判に報告しなければなりません。

同じ予選タイム:

予選タイムが同点の場合、準々決勝に進む選手は COC ポイントに応じて順位付けられる。

それでも同点の場合は、抽選で順位を決定する。予選結果が同点であっても、予選通過者の最大人数 (25) は変わらない。

予選タイムが同じで準々決勝に進めなかった選手は、この結果リストでは同じ順位になる。

4.6.4.6 ヒート（本戦）でのフライングスタート

フライングスタートを起こした選手は書面による叱責を受ける。

ヒートでの最初のフライングスタートに続いて、同じヒートでそれに続くフライングスタートを起こした選手は、競技会からの撤退を求められる。

選手は、該当する決勝、準決勝、または準々決勝の最終順位（6、12、30 位または 4、8、16 位）でランク付けされる。

ヒートスタート手順を使用するすべての競技会では、不正スタートがあった場合は競技の「再開」となる。

スターターまたはスタートゲートは、不正スタート信号を発しなければならない。

選手を引き返させることができるように、トラックの有効な距離に補助員を配置する必要がある。

4.6.4.7 決勝戦

準々決勝および準決勝では、選手は以下の順番で順位付けられる。

- IRM (DNF-DNS-NPS)のない選手 は、到着順に最初にリストアップされる。同点の場合は、選手はプロログタイムに従って順位付けられる。

- IRM (DNF-DNSまたはNPS)を持つ選手は、プロログタイムに従ってリストアップされる。

4.6.5 タイミングとリザルト

スプリント予選ラウンドでは、スタート時間とフィニッシュ時間が 1/1000 の精度で記録され、最終結果は 1/100 の精度で決定される。

他の FIS スプリント競技では、1/100 の精度しかない計時機器を使用することもできるが、それでも最終結果は100 分の 1 秒単位で報告される。

FIS COCNCスプリント競技では、1/100の精度しかない計時機器を使用することが可能。

4.6.6 計算

基本時間 = プロログタイム x 4 (これにより、5 km レースに相当する CC 時間が得られ、マススタートルールに従って SJ 部分の計算が行われる)。

終了時間 = 基本時間 - ボーナス秒数、マトリックス 4.4.6.1 を参照

4.6.6.1

	1位	2位	3位	4位	5位
決勝	-90	-82	-74	-66	
準決勝			-44	-38	-32
準々決勝			-16	-12	-8

例：プロログタイム1分35秒の選手が決勝で3位になった場合。

計算例：

プロログタイム 1分35秒

基本時間 1分35秒 x 4 = 6分20秒

終了時間 6分20秒 - 74秒 = 5分6秒

SJ 部分の計算は、マススタート (ICR 条項 550、551) と同じで、終了時間が使用される。

プロログに参加したすべての選手は、プロログの終了時間に基づいて、スキージャンプラウンドに参

加する権利を有する。

4.6.7 競技の中断

選手が競技している間に予選が中断された場合、競技会はキャンセルとなる。

決勝の最後の選手がレースを終える前のスプリントヒート中に競技が中断された場合、競技会はキャンセルとなる。

中断またはキャンセルになった競技会が再スケジュールされた場合、予選レースは再度実施されなければならない。

4.6.8 抗議

連続したヒートを実行するという時間的なプレッシャーのため、準々決勝および準決勝中に抗議を許可することはできない。

抗議は決勝戦終了後のみ受け付けられる。

6.2.2 旅費

WCNC-M組織委員会は、FISの地域別旅費規定に従い、スイスフラン(CHF)を基準に1人につき以下の最低旅費負担分を支払われなければならない。

5. Eグループの組織委員会は、以下の通り支払わなければならない:

- Aグループの国のクォータに対し、~~700~~350スイスフラン
- Bグループの国のクォータに対し、~~700~~350スイスフラン
- Cグループの国のクォータに対し、~~700~~350スイスフラン
- Dグループの国のクォータに対し、~~700~~350スイスフラン
- Eグループの国のクォータに対し、~~250~~125スイスフラン

SBFSFK 委員会は、FIS 理事会の承認を得るために以下の提案を提出する： 国際競技規則（ICR）

2003.1 ワールドカップ競技会

- ー 技術代表
- ー レースディレクター/コンテストディレクター
- ー レフリー クロスとスノーボードアルペン
- ー アシスタントレフリー スキークロス

2014.5 エアリアルとモーグル／デュアルモーグルの年齢制限

エアリアル、モーグルとデュアルモーグルのフリースタイルの国際大会（エアリアル、モーグルとそれらの関連種目）で競技するためには、FIS競技会年度が始まる年の終わりまでに、競技者は14歳13歳の誕生日を迎えていなければならない。

2014.67 スキークロスとスキークロス団体の年齢制限
最小と最高年齢の定期着に関しては2014.2を参照。

2014.67.1 FIS競技会年度は7月1日から翌年6月30日とする。スキークロスの国際大会と主要競技会で競技するためには、競技者は最年少でも16歳であること。

2014.67.2 ジュニアスキー／スノーボード世界選手権を含む国際ジュニアのための年齢

最低年齢

ジュニア競技会へ参加する最低年齢は国際競技会への参加と同じである（2014.7.1）。

最高年齢:

ジュニア競技会へ参加する最高年齢は、20歳とする。

2014.67.3 スキークロス年齢制限の分類

FIS 競技会年度	24/25	25/26	26/27	27/28
-----------	-------	-------	-------	-------

ワールドカップ、世界選手権大会、オリンピック冬季大会を含む基本的（FIS）ライセンスレベル

2008	2009	2010	2011
と以前	と以前	と以前	と以前

ジュニア世界選手権を含む国際ジュニアのスキースノーボードクロス

最小	2008	2009	2010	2011
最大	2004	2005	2006	2007

複数の年齢カテゴリーがある場合のクラシフィケーション

U21	2006	2007	2008	2009
	2005	2006	2007	2008
	2004	2005	2006	2007
U18	2008	2009	2010	2011
	2007	2008	2009	2010
U16 (No FIS Points)	2010	2011	2012	2013
	2009	2010	2011	2012
U14 (No FIS Points)	2012	2013	2014	2015
	2011	2012	2013	2014

2027.1

リザルトの記号

- DNF – Did Not Finish ゴールしない
- DNS – Did Not Start 不出走
- NPS – Not Permitted to Start 出走不許可
- RAL – Ranked as Last 最終順位
- JNS – Jump Not Scored 得点対象とならないジャンプ
- DQ – Disqualified 失格
- DNI – Does Not Improve 改善しない

3102.3.3

スロープスタイルコースの概要

スロープスタイルのコースには、さまざまな種類のフィーチャー（テーブルトップジャンプ、ファンボックス、クォーターパイプ、ウェーブ/ジャンプ、レールとリッジ、またはその他の種類）が設置されるものとする。コースには異なるセクションを設け、スロープの同じ個所に1つ、またはそれ以上の数のフィーチャーを設置し、評価の対象となるヒットを最低1つ行うことを可能とすべきである。コースには異なる種類のフィーチャーを最低2つと、下記の競技会のレベルに応じた最低限の数のジャンプ、および評価の対象となるヒット数が必要である

競技会レベル	最低ジャンプ数	評価対象となる最低ヒット数
Level A	3	6
Level B	2	4
Level C	1	3

ジャンプのサイズに関しては3102.4参照。

3102.4.2

ビッグエア会場

ビッグエアの会場は、規則3102.4.1に記載されたデータ/規格を遵守していなければならない。FISのJUNとFISレベルの室内競技会において、最小ジャンプサイズはテイクオフからランディングまで7メートルとすることができる。

3604.1.1

スタート順OWG、WSC、WC

各ヒートの競技者は (フィールドサイズに応じて) 3-2つのグループに分けられ、スタート順決定のために別々にドローを行う。

グループ1：各ヒートで1～10位のシードにランクされた競技者

グループ2：各ヒートで11位以降にランクされた各ヒートで11～20位のシードにランクされた競技者

グループ3；各ヒートで21位より以降にランクされた競技者

3703

Result Marks (RM) と Invalid Result Marks (IRMs)

3703.4

Does Not Improve (DNI)

改善しないフェイズを設ける、またはより良いランを採用する2ラン以上の競技会において、それ以前のラン（複数の場合もある）と比べてより高い得点に改善しない場合、そのランは採点せず、DNIとする。

これは、オーバーオールインプレッション (OI) がジャッジフォーマットとして採用されている場合にのみ採用する。スロープスタイルのセクションバイセクション式のジャッジフォーマットでは採用しない。

ビッグエアで3ランのうちより良い2ランを採用する場合、同じラン/技が1回以上試技された場合、DNIとすることができる。

4014 競技会の中断

- 4014.1 競技会が中断した場合、状況が回復次第、競技会を再開する。競技が同日に終了する限り、中断以前の成績も継続して有効とする。もしくは、予選、または、決勝のあるフェイズもしくはラウンドが完了している場合を除き、中断前の成績をキャンセルする。その場合、決勝の終了していないフェイズのみ延期とし、その場合、同じ競技会場で完了しなければならない。
- 4014.2 決勝が完了できない場合、予選、または異なるファイナルのフェイズの結果を有効とする。フェイズを完了とみなす要素は各種目の規則に定義する。
- 4014.3 ワールドカップ、またはコンチネンタルカップの競技会でスタートリストがひとつ以上のグループにシード分けされている場合、予選フェイズの完了に関する定義についてそれぞれのカップシリーズの規則を参照すること。（注意：特定の手順をデュアルモーグルに適応する。4313参照）
- 4104.4 選手権フォーマット - 主要大会
選手権フォーマットは、世界スキー選手権および冬季オリンピックで使用される。
- 4104.4.1 選手権フォーマットは以下の通り：
- 2ラウンド（Q1、Q2）からなる予選フェーズ
3つの決勝フェーズ（F1、F2、F3）。F1の競技者数は、最下位に並んだために決勝の出場枠が拡大された場合を除き、12名である（4007.3を参照）。
- 4104.4.2 Q1終了後、6位以内の選手はF1へ進出する。6位が同点の場合4007.3に従って手続する。
- 4104.4.3 残りの競技者はQ2に出場する。し、Q1とQ2の得点のうち、より良いほうの得点を採用し、Q1で予選を通過した競技者の後にそ順位づけるを決定する。この時点での全体の順位を予選フェイズのリザルトとする。
- 4104.4.4 Q2からF1の残りの枠に進む競技者の数は、Q2以降の最高順位の者から選ぶものとし、F1の12位が同点の場合は4007.3で処理される。
- 4104.4.5 F1の競技者は、すべてF2に出場するものとする。F2以降の順位は、F1とF2の得点のうち、より良いほうを採用する。F2が完了し、F3が完了しない場合、4122.2参照。
- 4104.4.6 6位以下内の競技者はF3に進出し、6位が同点の場合4007.3にしたがって手続する。
- 4109.1 エアリアル競技の公式トレーニングは、エアリアル競技会の一部である。~~競技者は、参加が義務づけられている。~~

4122 競技の中断（4014参照）

- 4122.1 ワールドカップフォーマットにおいて、F2が完了しない場合、完了したF1が決勝フェイズとなる。F1が完了しない場合、予選フェイズの結果が決勝リザルトとなる。
- 4122.2 チャンピオンシップフォーマットにおいて、F2を含めて決勝が完了しない場合、決勝リザルトは予選の結果を採用する。F1とF2が完了しF3が完了しない場合、F2のリザルトを決勝リザルトとして採用する。

- 4122.3 スタンダードフォーマットにおいて、決勝が完了しない場合、予選フェイズのリザルトを決勝リザルトとする。
- 4203.2 モーグル
- モーグル競技会では、参加競技者全員が最低1回滑走する。4210.6に基づき、予選を通過した競技者が決勝に進出する。予選予選（Q）と決勝決勝（F）フェイズには2回以上のラウンドがある場合もある。
- 予選の最初のラウンド1（Q1）の結果に基づき、決められた人数の競技者が直接決勝に進出する。選択肢として、Q1の結果、残った競技者の内限られた数の競技者で構成される予選2番目予選2番目のラウンド（Q2）が開催されることもある。その場合この場合、各予選ラウンドからの予選通過人数は等しくあることとする。ただし、Q1もしくはQ2の予選最終通過者が同点同点の場合、4007.3に基づき解決解決する。予選を通過しなかった競技者の順位は、Q1またはQ2のより良い得点を基準に決定する。
- 決勝フェイズでは、大会のレベルに応じて、最大2つのラウンドを設定する。予選予選フェイズを通過したのトップシードの競技者は決勝決勝の1番目のラウンド4（F1）で競技する。決勝で2番目のラウンド2（F2）が予定されている場合、F1の上位競技者がF2で競技する。もしくは、F1を最終ラウンドとする。F2が予定されるが完了しない場合、F1もまた最終ラウンドとなる。競技会のレベルに応じて、各ラウンドで競技する競技者数を以下のとおりに定義する。
- 4205.1 モーグル競技の公式トレーニングは、モーグル競技の一部である。競技者は、参加が義務づけられている。
- 4304.1.3.5 決勝のためにコースは2レーンを同じ幅に分けるものとする。予選の運営手順は4310.2.1を参照。すべての場合において、コースの左側（斜面を下から見上げて）を青コース、右側を赤コースとする。
- 4305.1 モーグル競技の公式トレーニングは、モーグル競技の一部である。競技者は、参加が義務づけられている。
- 4310.2 シングルモーグル予選でデュアルモーグル決勝の形式
- シングルモーグル形式により、予選通過者を決め、デュアルモーグル形式の決勝でシードされる競技者を決定する。決勝に進出する競技者の人数は、8名、16名、24名、または32名の形式が可能である。上位4位のみ、最終的にデュアル形式で順位を決定する。
- 4310.2.1 予選/モーグル
- モーグルコースは、予選と決勝フェイズ用にでは、デュアルのコース（青／赤）に分割することか否かを Jury が決定する。
- 4310.2.2 スタート順
- 競技者がスタートするときの順番は、無作為ドローによって決定される（2022.1を参照）。4310.2.1に準じ、予選を赤/青に分割して行う場合、スタート順が奇数（1番、3番、5番……）の競技者は赤コース、スタート順が偶数（2番、4番、6番……）の競技者は青コースを滑走する。
- 4310.2.3 決勝/デュアルモーグル
- 4310.2.3.1 大会主催者は、FISに対して、決勝に進出する競技者の人数を提案できる。競技の滑走にかかる時間は、45分から75分ほどであるべきである。
- 4310.2.3.2⁴ 予選の結果は、決勝に進出する競技者の選考に活用する。

4310.3 デュアルモーグル決勝

4310.3.1 競技者の赤コースと青コースの割り当て

4310.3.1.2 コース（レッド、ブルー）は、以下のように事前に決定する。

ラウンド128	2名のうち上位競技者がレッド
ラウンド64	2名のうち上位競技者がブルー
ラウンド32	2名のうち上位競技者がレッド
ラウンド16	2名のうち上位競技者がブルー
ラウンド 8	2名のうち上位競技者がレッド
ラウンド 4	2名のうち上位競技者がブルー
ファイナルラウンド	2名のうち上位競技者がレッド

「上位競技者」とは、シード順が上位の競技者ではなく、対戦する2名の競技者のうち対戦表に記入する際、上側に記入される競技者のこととする。

~~デュアルモーグルの競技では、コースを下から見て左側をブルーコース、右側をレッドコースとする。~~

4310.3.1.3 予選をシングルで行うデュアルモーグルに関して、予選でより高い順位の競技者が赤と青コースのいずれかを選ぶものとし、各ラウンドの開始前、時間に余裕をもってスタートエリアのスタート役員にそれぞれの選択を伝えること。

5401 旗門通過

5401.1 旗門の正しい通過は、両方のスキーのトップと競技者の両足がボードのバインディングで固定されている状態で、ボード全体が回転ポール（スタビー）の外側のゲートラインを越したことで成す。2つのゲートがセットされている場合、ゲートラインは架空の2本のターニングポールを結ぶ最短ラインである。もしターニングゲートが1つのみの場合、ゲートラインはアウトサイドケートとターニングポールによって形成されるラインの延長線となる。（図を参照）

~~5401.1 正しい旗門通過は、競技者の両足がボードのバインディングに固定されている状態で、ボード全体がゲートラインを越したことで成す。~~

5401.2 競技中に競技者がスキー／ボードでゲートラインを通過する前に、ポールが直立状態から抜けてしまった場合でも、スキー／ボードと両足は元のゲートラインを通過しなければならない（雪上に印された場所）。競技中にゲートポールもしくはスタビーが不足している場合でも、競技者は正しく旗門通過していると見なされるように元のポールがある時と同じようにポール位置の外をターンする義務がある。

5401.3 不完走（DNF）

DNFに関する全ての決定は、ジュリーの責任の下で判断される。

DNFは以下の場合に課される

- 旗門を正しく通過しなかった（5401）競技者はDNFとなり、それ以降の滑走を継続することはできず（5402）、また旗門を正しく通過するためにコースを登り返すことは許されない。
- スノーボードを失った場合（5611.1）。
- 旗門不通過やフィニッシュゲートを通過しなかった場合を含めて、コースから外れて滑走した場合。
- スキークロスの場合：完全に停止した場合。

— スノーボードクロスの場合：直ちにコース滑走を再開するアクションをとらずに完全に停止した場合。

5407 各ヒートの順位付けの定義

5407.2 フィニッシュラインでの順位決定

5407.2.1 スキークロス

各ヒートでの順位は、身体の一部がフィニッシュラインと交わった順番で決められる。

5407.2.2 スノーボードクロス

各ヒートでの順位は、身体の一部もしくはスノーボードがフィニッシュラインと交わった順番で決められる。

5407.3 ~~3~~ **フィニッシュラインでの同着の順位決定**

5407.3.1 ~~4~~ **スモールファイナルとビッグファイナル前に行われるヒートの同着の順位決定**

同着により順位付けが不可能な場合、順位は競技者の予選フェーズでの順位に基づいて決定する。予選順位の上位選手が同着の優位になる。

ホリスティックフォーマットの場合は、ヒートシーディングにより決定する。シーディング順位で優位の選手が同着の上位になる。

5407.3.2 スモールファイナルとビッグファイナルでの同着について

スモールファイナルもしくはビッグファイナルにて同着の場合、同着のまま両者同じ順位となる。

5407.4 **DNF, RAL & DNSの場合の順位決定**

5407.4.1 不完走（DNF）の競技者の順位

1人以上の競技者がDNF（5401.3）となった場合、競技者の順位はそのヒートで正しく滑走した区間距離によって決められる。競技者でより多くの旗門を正しく通過（5401旗門通過）した競技者が上位になる。

~~複数の競技者がDNF（5401.3）となり、かつその競技者が同じゲートで正しく通過した場合、ルール5407.3.1が適用される。~~

不完走（DNF）が発生した場合でも、上位2名（4人制フォーマット）もしくは上位3名（6人制フォーマット）の競技者が次のヒートへと進む。

5407.4.2 最下位指定される競技者の順位（RAL）

競技者は彼らのヒートで自動的に最下位指定され（RAL）、ラウンド内の最下位となる。（1/8ファイナルでは32位、1/4ファイナルでは16位）

最下位指定を受けた競技者は、その競技会で行われるその後のヒートへの出走は許されない。

5407.4.3 スタートしない競技者の順位（DNS）

競技者でスタートしない（DNF）場合は、ヒートでの順位は付かず、次のヒートに進むことはない。

5407.4.4 **DNF, RAL, DNSの場合の同着の順位決定**~~ルール（5407.3）はIRMとRMに有効~~

同位の場合は、予選フェーズでの順位によって決定する。より良い順位の競技者が上位となる。

ホリスティック形式の場合、順位は競技者のヒートシーディングによって決定される。より良いシード順位の競技者が上位となる。

5404.2.2 スノーボードクロス

5404.2.2.1 カードシステム

ジュリーはヒートによって実行されるフェーズの中で、規則5404.1.1および／もしくは5404.1.2によって判断される接触の妨害行為へのペナルティを行使する場合、警告、RAL（最終順位）および色のカードシステム（イエローカードおよびレッドカード）を使用して対象の競技者に制裁を与える。制裁の程度はジュリーによって判断され、スタートレフリーが次のヒートを開始する前、または表彰式の前に、対象の競技者（またはチーム責任者）へ通達されなければならない。

5404.2.2.2 妨害行為に対して下される制裁は、以下について決定される：

- － 行為は意図的であったか意図的でなかったか。
- － 妨害が意図的／非意図的か、偶発的／偶然か
- － 深刻な結果

5404.2.2.3 公式な警告の制裁（WRG）

意図的な行為、偶発的な妨害、深刻ではない結果

意図的でない行為、偶然の妨害、深刻ではない結果

5404.2.2.4 RAL制裁

意図的な行為、意図的な妨害、深刻ではない結果

意図的な行為、偶発的な妨害、深刻ではない結果

意図的ではない行為、偶然の妨害、深刻な結果

RALを受けた競技者への制裁は、彼らのヒートにて最下位になり、また行われていたラウンドでの最下位順位となること。彼らは最終リザルトに「RAL」と記載される。

5404.2.2.54 イエローカードの制裁（RAL）

意図的な行為、意図的な妨害、深刻ではない結果

意図的な行為、偶発的な妨害、深刻ではない結果

意図的ではない行為、偶然の妨害、深刻な結果

違反の度合によって、RALの制裁はイエローカードの制裁を伴う場合と、伴わない場合がある。イエローカードは、同じカテゴリーの競技において、そのシーズン中、競技者に留まる。

イエローカード（RAL）を受けた競技者への制裁は、彼らのヒートにて最下位になり、また行われていたラウンドでの最下位順位となること。彼らは最終リザルトに「RAL」と記載される。イエローカードを受けた競技者は、受領以後の競技会を続けることが許されない。イエローカードを受けたことは、シーズン中に同じカテゴリーの競技会で継続される。

5607.2 スキークロスにおいて、競技会に参加するためには、少なくとも1本のトレーニング滑走を行うことが同日の実際の競技フェーズの前に完了していなければならない必須である。~~トレーニングでスタートしなかった（DNS）競技者は、次の競技フェーズではスタートすることができない（NPS）。競技に参加する選手は、実際の競技に参加する前に少なくとも1本のトレーニングランを完了しなければならない。~~DNF、イエローフラッグ、その他の中断があった場合、ジュリーはリランまたはスタートの許可を決定することができる。

5608.1 フェーズの説明

<u>トレーニングフェーズ</u>	5607.2
-------------------	--------

5702.5 DNSの最終順位

競技者が競技会のいかなるフェーズ (5608.1) で未出走となった場合、競技者は最終リザルトにDNSと表示され、順位は付かない。

競技会の初回フェーズ (予選/シーディング) が完了した後、以降のフェーズのいずれかの決勝ラウンドにて未出走（DNS）になった競技者は、その決勝ラウンドの最下位の順位となり、すべてのNPS制裁を受けた競技者の上位に順位付けされる。同じ決勝フェーズの最初のラウンドで不出走（DNS）になったすべての競技者は同じグループとなり、タイブレイクルールに則って順位付けされる。

6504.3.3 シングルランノックアウトファイナルフォーマット

競技者の各ペアは、1本のみ滑走する。

予選順位がより良かった競技者が、赤もしくは青のコースを選択できる。選択は、競技者がスタートプラットフォームに入るときまでに行わなければならない。

片方または両方の競技者がコースを完走しなかった場合、より多くの旗門を滑走した競技者が次のラウンドに進む。

両方の競技者が同じ旗門でコースを完走しなかった場合、またはフィニッシュラインでタイとなった場合、最も良い予選順位の悪かった競技者が次のラウンドへ進む。スモールとビッグファイナルで同じ旗門またはフィニッシュラインでタイの場合、タイは決着されない。

主要大会、WC、WSC、OWGでは、フィニッシュライン上の同位は、フィニッシュラインを最初に通過した身体の一部によって決着される。（フィニッシュラインカメラ）

6801.4 出走者枠

出走者枠は、有資格チームリストから各国の最高順位のチームを最初を選び、その後、再びリストの上位から始め各国の2番目の順位のチーム（存在する場合）を選び、必要に応じ繰り返し、16/24/32チームに達するまで繰り下げながら決定される。WCでは1カ国につき最大3チームまでとする。

開催国は、最大4チームまで追加枠を獲得する。開催国が追加枠を使用する場合、チームのリストはそれに応じて最後の枠で減らされる。

SBFSFKコンチネンタルカップ競技規則

2.3 タイトル

各コンチネンタルカップにおいて以下のコンチネンタル（南アメリカカップ/アジアカップ/オーストラリア・ニュージーランドカップ/ノースアメリカカップ/ヨーロッパカップ）称号を付与する。-パラレル（PSL+PGS、GS+SL）

- HP (SKI)
- HP (SB)
- SX
- SBX
- BA (SKI)
- SS (SKI)
- BA/SS (SKI) - BA/SS (SB) - BA (SB)
- SS (SB) - AE

- MO
- DM
- Moguls Overall

SAC7.1.1 プレミアムアジアカップ パークアンドパイプ

「プレミアムコンチネンタルカップ パークアンドパイプ競技会のオーガナイザーガイドライン」に定義される必要事項を満たす、選ばれたパークアンドパイプの大会は、150パーセントのアジアカップのポイントが与えられる。例；勝者は150ポイント、4位は75ポイントなど。

ANC4.1 プレミアムオーストラリアニュージーランドカップ パークアンドパイプ

「プレミアムコンチネンタルカップ パークアンドパイプ競技会のオーガナイザーガイドライン」に定義される必要事項を満たす、選ばれたパークアンドパイプの大会は、150パーセントのオーストラリアニュージーランドカップのポイントが与えられる。例；勝者は150ポイント、4位は100ポイントなど。

資料；オーガナイザーのためのプレミアムヨーロッパカップとノーアムカップのガイドライン

オーガナイザーのためのプレミアム コンチネンタル ~~ヨーロッパ~~ ~~ピアン~~ と ~~ノーアム~~ カップのガイドライン

FIS 国際スキー連盟

WSPL ワールドスノーボードポイントリスト

OC オーガナイズিংコミッティ

開催国 大会が開催される国の国内連盟

1 情報；

プレミアム コンチネンタル ~~ヨーロッパ~~ ~~ピアン~~ と ~~ノーアム~~ カップ

目的はコンチネンタルカップからワールドカップへの選手の道筋を明確で滑らかなものにすることである。パークとパイプの質はワールドカップレベルに近いものであるべきである。プレミアム大会では、余分のパーセンテージを加算しない国の選手権大会（NAC）を除き、「通常の」コンチネンタルカップに比較し、150%ダブルのカップポイントが与えられる。

~~各国はよいポイント、およそWSPLポイントの500から700とFISポイントの240から320、25から100位（WSPLとFIS）の選手を送る。~~

NAC10.6.1 上位25名の~~エアリアル~~と~~モーグル~~競技者のビブの割り当て

その年の最初のノーアム大会では、各競技者の直近のFISポイントリストの順位により、各大会にエントリーした最初の上位25競技者のビブを割り当てる。最初の大会後は、ノーアムカップの順位に従って各競技者のビブを割り当てる。競技者が参加しない場合、そのビブは割り当てない。26位、またはそれ以下の競技者は無作為にビブを割り振る。

ビブ1から25はその大会の直近のノーアムカップの順位表の順位に従って割り当てる。もしくは、そのような順位表が存在しない場合、その大会用のFISポイントリストを活用する。ビブ26からそれ以降は、無作為に割り当てる。モーグルとデュアルモーグルが同じプログラムに予定されている場合、ふたつの競技会の内、最初の競技会に割り振られてビブをふたつ目の競技会に引き続き使用することを選択してもよい。

- NAC10.6 競技会/シード
ノーアム競技会のモーグル、デュアルモーグル競技会のスタートリストは、ICRとワールドカップ規則（ICR4209、4310、WC3.6.3）に規定されている手順に従う。
- NAC6 エントリー費
フリースキーとスノーボードのエントリー費は、ノーアム委員会がノーアムの各シーズン前に見直し、FISの秋の会議にそのシーズンのための額を決定する。2023/24シーズンの最大エントリー費は各大会各競技者ごとに140スイスフラン、または各年、9月30日時点での為替レートで、5ドル未満を四捨五入した現地通貨での相当額とする。エントリー費は開催国の通貨で支払われる。
基本のエントリー費には個人種目1種目への参加を含む。
- NAC6.1 フリースタイルスキーのエントリー費は、フリースタイルスキーノーアムカップのワーキンググループが、ノーアムの各シーズン前に見直し、FISの秋の会議にそのシーズンのための額を決定する。2024/25シーズンの基本最大エントリー費は各競技者、競技会ごとに155アメリカドル、もしくは各年、9月1日時点での為替レートで、5ドル未満を四捨五入した現地通貨でのその東学とする。エントリー費は開催国の通貨で支払われる。
- NAC6.2 追加の大会参加費として、20ドル（現地通貨）のビブの保証金をOCは請求できるが、ビブの返却時返金しなければならない。
- エントリー費には追加の請求を加えてはならない。
やむをおえない事情で、より高額のエントリー費を請求する場合、大会の2カ月前までに、ノーアム委員会でエントリー費の金額の承認を得、競技会の招待状に記載しなければならない。

SBFSFK用具に関する規則

3. 競技用ウェア

- 3.1 SBXおよびスノーボード・アルペンでは、競技用スーツはツーピースでなければならない。パンツとセパレートのトップスは分離して着用する。
- レースパンツ：腰からくるぶしまであるウェアで、ベルトの着用は可能だが、取り外し可能でなければならない。上脚部から下は、パンツがルーズに見えなければならない。パンツの外側は、ゴムなどでブーツに取り付けられてはならない。
- レースジャケット：単独で着用でき、取り外しが可能なウェア。ブレースは不可。ジャケットは立った状態でパンツに重なること。スーツの2つの部分は、一時的であっても結合してはならない。したがって、ジッパー、両面テープ（マジックテープ）、ボタン、ホック、ハトメなどが、2つの衣服を結合するために使用される可能性のある位置にある場合は、ルール違反とみなされる。ビブパンツの着用は認められない。
- 突起のないプロテクターとパッドを推奨する。
- ワンピーススーツ（スピードスーツ、ダウンヒルスーツ）は、セパレートトップであっても着用禁止とする。
- このルールは、ウェアルールがないパーク＆パイプ競技には適用されない。
- 3.24 スノーボードアルペンでは、競技用スーツはツーピースでなければならない。パンツとセパレートのトップスは分離して着用する。

レースパンツ：腰からブーツくるぶしの一番上のバックルまでであるウェアで、ベルトの着用は可能だが、取り外し可能でなければならない。

レースジャケット：単独で着用でき、取り外し可能で、ヒップ（腰骨）まで届くもの。ジャケットは立った状態でパンツに重なること。スーツの2つの部分は、一時的であっても結合してはならない。したがって、ジッパー、両面テープ（マジックテープ）、ボタン、ホック、ハトメなどが、2つの衣服を結合するために使用される可能性のある位置にある場合は、ルール違反とみなされる。突起のないプロテクターとパッドを推奨する。

ワンピーススーツ（スピードスーツ、ダウンヒルスーツ）は、セパレートトップであっても着用禁止とする。

SBFSFKジュニア世界選手権に関する規則

6. 参加者と役員の数

- 6.1 ~~エアリアル、モーダル、デュアルモーダルでは、1種目につき女子4名、男子4名までがスタートできる。~~
~~エアリアル、モーダル、デュアルモーダル、パラレルジャイアントスラローム、パラレルスラローム、ハーフパイプ、スロースタイル、ビッグエア、スノーボードクロス、スキークロス~~全種目において、1種目につき女子6名、男子6名までがスタートできる。

~~エアリアル、クロス、パラレルの各全~~チーム競技において、各国は最大3チームまでエントリーすることができる。

スノーボード：各国スキー協会は、合計で38名以内の競技者を代表にすることができるが、男女別／国別では最大22名まで、男女別／種目別では最大6名までとする。

競技種目が多い場合、または少ない場合は、配分を変更することができる。

フリースタイルスキー/フリースキー：各国スキー協会は、合計で38名以内の競技者を代表にすることができるが、同性は22名以内とする。

競技種目が多い場合、または少ない場合は、配分を変更することができる。

10. 経費および旅費の支払い

- 10.1 組織委員会は、1日あたり最大~~12000~~スイスフランのハーフボード料金（宿泊、朝食、夕食、スキーリフトまたは登山鉄道）を提供することができる。この料金は、本規則の第6.2条で示された最大人数（最大38名）に同意した競技者および役員に適用される。この料金の最低50%は、前払いとして到着時にエントリーを行う各国協会が、1日あたり参加者1名につき組織委員会に支払うものとし、残りは出発前に支払うものとする。食費および宿泊費については、フリースタイルスキー・スノーボードFISワールドカップ競技規則が適用される。~~このような申し出があった場合、競技者および役員には、トレーニングおよび競技会1日あたり40スイスフランの参加料が適用される。~~主催者が上記のように宿泊およびハーフボードを提供しない場合、またはチームがこの申し出を受けない場合、主催者は競技者および関係者に対し、トレーニングおよび競技1日あたり最大~~7040~~スイスフランの参加費（リフト券を含む）を請求することができる。

アルペン委員会はFIS理事会の承認を得るために以下の提案を提出する：

アルペン技術委員会小委員会

アルペン技術委員会小委員会のメンバーは全会一致でHans Groggl (AUT) 氏を同小委員会の名誉委員として提案した。

アルペン競技者クラシフィケーション小委員会

特別枠の要請

7.6.3 特別枠

FISアルペン委員会は特定の国や地域に対して特別枠を認めることができる。

関係する各国のスキー連盟は第1回チームキャプテンミーティングの10日前までにFISアルペン競技者クラシフィケーション小委員会に具体的なイベントの要請と承認を行わなければならない。

Citizenイベントの最低罰金

小委員会は最低罰金を23.00から40.00に変更することを承認した。

アルペンルール小委員会

冬季オリンピック大会およびFIS世界スキー選手権大会のジュリー任命

601.4.1.4 ジュリーには少なくとも1名は性別の異なる者を含まなければならない。

国際レースのジュリー任命（ワールドカップ：ワールドカップ競技規則参照）

601.4.2.3 国際レースの場合、ジュリーには性別の異なる者を1名含めるものとする。

ジュリー議事録の言語

601.4.5.6 議事録はFIS規約に定められた言語（現在は英語）で作成されなければならない。

611.2.2 手動時計

FISカレンダーに記載されているすべての競技会では、電子計とは完全に独立した手動計時を使用しなければならない。

スタートとフィニッシュの両方に設置され少なくとも1/100(0.01)の精度で時刻を表現できるストップウォッチまたは、手動の電池式タイマーは適切なハンドタイミングデバイスとして認められる。

これらの掲示装置は1本目のスタート前にシステムAおよびシステムBと同じ時刻に同期していなければならない（611.2.1項参照）

印刷された記録（自動または手書き）または電子的に記憶し記録された手動計時はスタート時とフィニッシュ時に直ちに利用できなければならない。

アルペンワールドカップ小委員会

経費の支払い

4.1.2 期間

宿泊費および食事、ノンアルコール飲料を含み少なくとも初日の公式トレーニング日・レース日の前夜から競技者が参加した競技会の最終日翌朝までに支払わなければならない。これは、競技会が連日開催されない場合も同様とする。正式な到着日および出発日はウェブサイトに掲載される。

いかなる場合においても、主催者またはホテルマネージャーは競技会前に競技会当日のチームに対して部屋の明け渡しを要求することはできない。

到着／出発

主催者はワールドカップルールに従い宿泊費と食費のみ負担する必要がある。

第4.4条に従いチームリーダーがより早い到着日を要求した場合のみ、主催者と合意することができる。いかなる場合においても、上記の期限を延長することはできない。

早着または遅刻による追加費用はチームが負担しなければならない。

到着が遅れたり、出発が早まったりした場合は補償の権利はない。

必要な場合、レース責任者は特別な取り決めをすることができる。

選手（準拠3.3～3.5）および役員（準拠4.2）による遅い到着、早い出発は2日以内にLOCに通知された場合、経費の支払い期間中（準拠4.1.2による）はチームに請求されない。

実際の不参加はチームに請求される。

チームキャプテンから要請があった場合、主催者（またはホテル）は通常の精算後に対応する確認書を提出しなければならない。

確認書はFISオンラインシステムを通じて登録された個人のグループに対して有効である。

4.1.3 精度

スタートリストの準備が整った時点で、主催者はチームキャプテンに無料宿泊と3食付きの合計宿泊日数（第4.1条および第4.2条）と、宿泊と3食付の最高料金140スイスフラン（観光税・都市税を含む）を支払う合計人数（第4.3条）を記載したバウチャーを手渡さなければならない。

すべての物品において、最高価格120スイスフランを140スイスフランに引き上げるべきである（4.3/4.3.2）

4.2.2 経費の支払い期間

経費の支払い期間および到着／出発の規定は、第4.1.2条に記載されている競技者の規定に準じなければならない。

この期間中、チームごとのシングルルームの割り当ては以下の表に従って行われなければならない：

オフィシャル1～3名＝シングルルーム1室

オフィシャル4～6名＝シングルルーム3室

オフィシャル7名以上＝シングルルーム5室

選手の人数が不均等な場合、チームには追加のシングルルームを1室追加する権利がある。

4.3 追加オフィシャル／サービス要員

FIS オンラインエントリーシステムを通じて登録された国ごとの追加オフィシャルおよび／またはサービス要員の総数は制限されており、競技会のトレーニングおよび競技に参加した異なる選手の総数に依存する。

up to 3	different competitors	6	persons
4 -	"	9	
6	7 -	1	
8	9 -	0	
10	11 -	1	
15	"	1	
more than 15	"	5	
		1	
		9	

FISによって認定されたこれらの追加役員（すべてのNSA認定者）/サービス要員（ナショナルチームに関連するSRSサービススタッフ）については、これらの者が対応するチームキャプテンによってFISのオンラインエントリーシステムを通じて登録され、宿泊施設（チームの宿泊施設）が組織委員会によって手配される場合、ノンアルコール飲料を含む食事付きの宿泊施設に請求できる最高料金は、観光税／市税を含めて1日あたり120スイスフラン（または同等額）を超えてはならない。

原則としてオンラインで登録され限定されたチームサービス担当者はスタートエリアおよび最終的に選手のためのケータリングテント／チームホスピタリティにアクセスする権利を有する。

不正使用の正当な疑いがある場合、OCはチームキャプテンに対して関連するFISシーズン認定証の提示を求める権利を有する。

9.4 公開ビブドロー／集合時間

SL,GS（ACは1回目＝SL）の場合はボードの上の1から15までの選手は公開ドローを行うために特定の時間に集合する義務がある。

DH,SG,ACの場合はボード上の1から10までの選手は公開ドローのために特定の時間に集合しドローを行う義務がある。

競技者が公式な理由なく公式デイリープログラム上でFISによって指定された集合時間までに公開ドローに直接受付しなかった場合、999スイスフランの制裁が科されることがある。再発した場合、この制裁金は5,000スイスフランに増額されることがある。

競技者が公式な理由なく指定されたドローグループの開始時間までに受付を行わなかった場合、その競技者にはドローグループで最後に残ったビブ番号が与えられ、スタート番号45以降の競技FISポイントに応じて自動的に登録される（500ポイントルールは適応されない）。

アルペンヨーロッパアンカップ小委員会

小委員会は、すべての宿泊費を90.00スイスフランから110.00スイスフランに引き上げることを承認した。

7.2 追加競技者および役員（*NAC）

上記の条件を満たしていない追加競技者、および各チームの追加役員のうち前記の割り当てに従って経費が支払われない者および正式にエントリーされたチームサービス要員については、イベント期間中の全宿泊と食事のために請求できる最高価格は1

日あたり110スイスフラン、またはそれに相当する額です。これには技術系競技の初戦前のトレーニング日が含まれます。

これは最高額です。

ホテルの通常料金がこれより安い場合は、通常料金のみが請求される。

アルペン競技用品の仕様

1.5.3 耐切創性アンダーウェア

Parameter	Value
Cutting force- (N)	100Min
Uncut length- (mm)	200Min
Minimum values for 1 FIS star (*)	

Parameter	Value
Uncut length (mm)	200Min
Cutting force 1 star level (N)	100
Cutting force 2 star level (N)	200
Cutting force 3 star level (N)	300
Cutting force 4 star level (N)	400
Cutting force 5 star level (N)	500

3.5.3 耐切創性アンダーウェア

3.5.3.1 定義

耐切創性アンダーウェアとは、競技用スーツの下に着用する衣類であり、切創による傷害に対して選手を保護することを目的としている。

3.5.3.2 一般仕様

適切な保護を提供するため、耐切創性アンダーウェアは製造者のガイドラインに基づいて正しいサイズにし、製造者の使用説明書を厳守して着用する必要がある。アンダーウェアは製造者が認定した通りに変更／修正せずに使用するものとする。耐切創性アンダーウェアは補助的な保護を目的としたものであり、無制限に切創を保護するものではない。

3.5.3.3 技術仕様

耐切創性アンダーウェアの保護レベルは、FIS-DITF 試験規格2021の仕様によって定義される。基本的な定義パラメータは以下の通りである：

各レベルの未切断の最小測定長：200mm、同一繊維で5回の試験のうち、対応するレベルの切断力における耐切創性は繊維位置の3方向において対応する耐切創性を有していなければならない：0° / 45° / 90° .

カット抵抗値が最も低い方向がFISスターレベルとなる。

Force (N)	100	200	300	400	500
FIS-star	*	**	***	****	*****

要件を満たしていることは、これらの基準に準拠したラベルによって証明される。
このラベルはスキーブーツの履き口部分の上部にある左脚下部の後部に取り外しできない方法でプロテクションウェアの外側に貼付される。

「FIS規格CRU2021に適合」と記載され、達成されたFISスター（複数可）レベルが描かれている。

適合ラベルは製造者が必要な認証(FIS-DITF2021)を取得していることを証明するものである。

ラベルを受け取るためには、テストプロトコルをFIS Athlete Health Unitに提出する必要がある。



耐切創アンダーウェアのFIS仕様への適合を証明するラベル。

3.5.3.4

耐切創性アンダーウェアの導入

すべてのレベル、すべてのイベントにおいて耐切創性アンダーウェアの使用が強く推奨される。 2025/2026シーズン以降、レースレベル0および1の全種目において、耐切創性アンダーウェア・パンツの使用が義務付けられる。

この義務化により、腸骨稜からスキーブーツの履き口までのすべての部位において、FIS-DITFテスト基準による保護レベル3つの星以上が要求される。

2025年春までに、さらなる保護範囲が定義される。

MA 5) 機器規則 – コントロール

a) スキー、プレート、ブーツに関する規則「FIS競技用具規定」を参照し、以下の用具規定がマスターズレースにとって最も重要である：

マスターズの幾何学的特徴

マスターズ競技者については、スキーの長さ（スーパーGを除く）、半径、幅に関しては以下の仕様を推奨する。

スーパーGスキーの最低スキー長さはマスターズ競技者に義務付けられている。

55歳以上の女性および65歳以上の男性は長さ、幅、半径の制限はない。

- Slalom: Length:	Men: Women:	165 cm – 155 cm –
- Giant Slalom:	Men: Radius	185 cm – 5 cm tolerance = 180 cm 27 m
	Women: Radius	180 cm – 5 cm tolerance = 175 cm 23 m

a)スーパーG

55歳以上の女性および65歳以上の男性を除き、スキーの最低長さは必須であり、半径は推奨される：

男性：185cm（許容範囲なし）

半径27m

女性：180cm（許容範囲なし）

半径23m

ジョイアントスラロームスキーはスーパーGで利用できる。

アルペンコース小委員会

アルペンコース小委員会のメンバーはホモロゲーションの例外となる以下の系図について議論し、全会一致で承認した。

1) **CORTINA D'AMPEZZO(ITA)、ホモロゲーション番号 15271/12/23、Olympia delle**

Tofaneコース、種目SG：

ワールドカップ競技の実際のスタート位置（男子は最も適した場所、女子は唯一可能な場所）は許可された最大高度を上回る標高差がある：

- 男子のスタート地点は現在2210m → 実際のスタート地点は2230m、標高差は670m（最大650m）
- 女子のスタート地点は現在2160m → 実際のスタート地点は2195m、標高差は635m（最大600m）

2) **ARE（SWE）、ホモロゲーション番号 11801/10/15、**

Störtloppsbackenコース、種目GS：

上記に同じ、ただし女子のみ

- 女子は標高812mからスタートし、標高差は416m（最大400m）

3) **HASELA（SWE）、ホモロゲーション番号12147/11/16、Andre-backenコース、種目GS：**

平均勾配が低い（20％以下）ため、方向転換の最大回数を守る事は非常に難しい（コースが平坦すぎる）。 アルペンコース小委員会は全会一致で、標高差に関する規則よりもゲート間距離に関する規則を優先させることを提案した。この提案は現地に到着したTDがこの論題を認識できるよう、検査報告書に追加される。

※原文と和文で差異がある場合、原文を優先する

FIS理事会最重要決定事項

2024年9月24日-チューリッヒ(スイス)

1. 開会

Eliasch会長は11:00にFIS理事会を開会し、出席者を歓迎した。

* * *

2. 出席者

Johan Eliasch、会長
Deidra Dionne (CAN)
Tove Moe Dyrhaug (NOR)
Alex Fiva (SUI、アスリート委員会代表)
Adam Hall (NZL、アスリート委員会代表)
Anna Harboe Falkenberg (DEN)
Michael Huber (AUT)
Freddy Keirouz (LBN)
Karin Mattsson (SWE、オンライン一部出席)
Tzeko Minev (BUL)
Aki Murasato (JPN)
Alexander Ospelt (LIE)
Dexter Paine (USA) May
Peus (ESP)
Jean-Philippe Rochat (SUI) Flavio
Roda (ITA)
Fabien Saguez (FRA)
Enzo Smrekar (SLO)
Franz Steinle (GER)
Fiona Stevens (NZL)
Verena Stuffer (ITA、アスリート委員会代表)
Martti Uusitalo (FIN)

Michel Vion、事務総長

傍聴者

Aoife Keane (FIS顧問弁護士)
Stefan Ruf(経理部門代表および総務監理者)
Marc Nufer, (外部法律顧問、Eversheds)

3. 議題の承認

FIS理事の数名が議題内の事項の順番の変更を要請した。

FIS理事会は、議題について承認した。

4. 2024年7月4日FIS理事会議事録

FIS理事会は2024年7月4日に開催されたFIS理事会の議事録を承認した。

5. 会長報告

Eliasch会長は資料として提出された報告書に対する疑義がないかを確認し、疑義は挙げられなかった。その他の個別の要点に関する報告を求める疑義については却下された。5.1～5.9項については議論なしにて承認された。

5.1 2027年FISアルペンスキー世界選手権大会 クランモンタナ

過去2年間では、スイススキー連盟が開催契約書への署名について契約書内の責任条項の内容を原因とし署名ができず、署名前には住民投票が必要不可欠であることが当時は述べられていた。両者は驚くべきことに、FISによる1件の譲歩（2024年5月初旬に合意された通常に関する37,000,000スイスフランの責任上限）のみが反映された初期の契約書に署名しており、住民投票の必要性はなかった。

実現が不可能と2年間に渡る主張を行ってきたにも関わらず、現在地方自治体およびスイススキー連盟が契約書に署名できた理由については、以前としてFISは納得しがたい状態である。スイススキー連盟の法務担当代表者は直近(2024年8月30日)に、無制限とされていた地方自治体の賠償に関する責任条項について、FISが37,000,000スイスフランを上限とすることに同意し、住民投票を行う必要性がなくなったことが理由であると表明した。この新たな理由は、スイススキー連盟がFISに対して行った声明や要請（すなわち、地方自治体が責任に関して署名できなかった理由と、直接的な約束を保険契約に置き換えるよう要求していたこと）と完全に矛盾しており、2024年5月6日に地方自治体の責任を37,000,000スイスフランに制限する合意がなされる前後の両方において、その主張は一貫していました。

5.2 中央集権化

本年初めにインフロントとの契約に署名したことにより、FIS国際競技大会の国際放映権の中央集権化への道が確固たるものとなった。

メディア権の中央集権化に関するワールドカップ開催国との交渉は継続している。各国スキー連盟間での格差解消と同時に各国スキー連盟の発展および振興を可能にする集権化に向けて、その実現のためのアプローチを共に模索している。

中央集権化に向けて加盟国の大半と共に建設的な対話を進めている状況であるものの、一部の主要加盟国との議論は我々の想定以上に時間がかかっている。想定をしていない状況ではあるが、FISは他の加盟国の利益を損なうことなく、彼らの要求に応じる重要な譲歩案を提示するため尽力している。

5.3 ツェルマット

FISはツェルマットの実行委員会と共に、将来的にその地域を将来的に使用する計画について対話を行っている。11月に**Gran Becca Course**にてレースを実施することが困難であることはこれまでの経験が示しているものの、我々はマッターホルンの地がスピード系イベントの開催に適していると確信している。これらの計画を具体化するため、我々のレースディレクターは今秋中に実地調査を行う予定であり、3月中旬または下旬には**Gornergratside**からレース開催の実現可能性について回答を確認する予定である。

5.4 フリーライドワールドツアー

FISは組織内でのフリーライドの立ち位置をより具体化する必要があるとの声を多く受け、今夏に**Nicolas Hale-Woods**氏およびFWTチームとの有効的なミーティングを複数回実施した。この競技の推進のため、またフリーライドスキー・スノーボードの統一化および発展を促進するため、FIS内にワーキンググループが設立された。本ワーキンググループは競技規則の再定義、競技そのものの国際的な成長支援、将来的な発展のためのFIS理事会への推奨事項の提案を援助する予定である。

FISはフリーライドに対して大きな野心を抱えていることから、早急なICRの制定を目指し、調和主義、安全問題、賞金、競技全体のルールについて取り組みを行っている。

5.5 新たなパートナーシップ取引

表記の件について、FISマーケティング&メディアチームは素晴らしい進捗を残している。ワールドカップパートナー企業は5社から10社と2倍の数となっており、来シーズンには新たなパートナー企業を2社迎える予定である。2024/2025シーズンにおいて、**Skechers**はノルディックコンバインドのプレゼンティングパートナー、**Tour de Ski**およびクロスカントリーワールドカップのプレミアムパートナーとなる予定であり、2024/2025および2025/2026シーズンのスノーボードワールドカップについては**VISA**がタイトルパートナーとなる予定である。

5.6 コンテンツ共有プラットフォーム

ニュージーランド/カードローナでのフリースキー・スノーボードパークアンドパイプワールドカップにて、FISは新たな取り組みとして、全選手および全参加国連盟に対して無償でソーシャルメディア対応ができる大会フッテージの配布を試みた。アスリートは斜面から降りて、携帯からFISコンテンツ共有プラットフォームにアクセスすることでFIS、**Wintergames NZ**、インフロントから**16:9**および**9:16**のフォーマットにトリミング済みの動画素材をダウンロードできる。今回カードローナで行っていることは我々がメディア権をすべて中央集権化した際に見ることができるスノースポーツの未来像の一端にすぎず、選手が自分のストーリーの中心に立ち、すべての種目で競技映像にどこからでも完全にアクセスできるようになることを目指している。

5.7 FIS加盟国への分配

今月、FISは全加盟国に対して**5,000,000**スイスフランの財政支援および**7,500,000**スイスフランの特別分配金を分配する予定である(この分配はアイスランドのFIS総会にて今年初めに承認がされている)。

4月には、FIS理事会はメディア権の販売及び分配に関する新たなモデルを承認したことにより、インフロントとの独占代理店契約を締結することができた。この取引の一部として、FISが要求することができた特定の権利を行使しないことを条件に、Infrontからの**30,000,000**ユーロの特別補償金が支払われた。この提案はEliasch会長により実施され、FIS理事会は2023年に、この金額を3回に分けて、**10,000,000**ユーロずつを全てのFIS加盟国に均等に配分することを決定した。これは中央集権化に対する私たちのアプローチとインフロントとの合意による重要な金額である。

この分配は、FISが長年に渡り主張してきた内容を証明している。メディア権の中央集権化は、FISファミリー全体に利益をもたらすということである。今、その言葉が現実となり始めています。

5.8 アスリートヘルスユニットからの報告事項

資料と併せて、FIS理事会へ作業文書が提出された。

5.9 ベルン商業登記所におけるFIS登記の更新

ベルン商業登記所におけるFIS登記の修正が7月29日に提出された。8月22日には登記所より2024年版FIS定款の認可済み翻訳を含む詳細情報の提出が求められた。該当資料は提出済みであり、登記の修正に関する認可を現在は待つ状況である。

6. 2024/2025に係る財務表および予算確認を含む財務報告

FIS経理部門代表および総務監理者であるStefan Ruf氏より国際スキー・スノーボード連盟の財務報告がなされた。

資料と併せて、FIS理事会へ財務報告書が提出された。

Stefan Ruf氏より2024年の純収益は若干の調整を除き、予測通りであると説明した。インフロントより支払われた**30,000,000**ユーロのうち**10,000,000**ユーロのみが入金済みであり、残金については契約通りに支払われる予定である。該当の**10,000,000**ユーロはMRCAの契約が成立しない場合を除き、返還の義務はない。FIS MAG の閉鎖に伴い純収益が減少した。これにより契約は現在 FIS に直接移行し、一部のスタッフが FIS に転籍したため、人件費が増加している。

FISの組織運営の成長にかかる必要経費として、2022年から2023年におけるスタッフ人件費が**13,000,000**(文脈よりユーロとする)から**17,000,000**(文脈よりユーロまたはスイスフランとする)へ増加したことが報告書より示された。

通常の分配金および特別分配金に関した質問が挙げられ、Stefan Ruf氏が本議題に関する内容はアイスランドでの総会にて合意されたことを確認した。

Jean-Philippe Rochat氏はMarc Hodler財団が保有する資産および現金は無制限または制限付きで利用可能なかを質問として挙げた。Stefan Ruf氏は財団には適用されなければならない規則があり、FISが自由に資産にアクセスできることはなく、FISへ利用可能な試算であるとみなすことはできな

いと説明した。Marc Hodler財団のメンバーはJohan Eliasch FIS会長、村里敏彰氏、Favio Roda氏、Martti Ussitalo氏、Virginie Faivre氏であることが確認された。

質問を受け、Stefan Ruf氏は、「すべては『スイス債務法』の規則に基づいて構築されている」ことを確認した。また、PWCの交代についても、FIS総会での決定に基づき新たな監査法人としてErnst & Youngが選任されたことを確認した。さらに、財務年度について質問を受けたJohan Eliasch会長は、「現在の1月1日～12月31日という期間を維持する」と述べた。

別の日程への変更はその複雑性を考慮すると不可能であり、6月の総会において変更をしないことが決定されたことを確認した。

FIS理事会は財務報告および予算について確認した。

7. 承認および任命

7.1 ライセンス変更・難民パスポートの承認

FIS理事会はValerii Gontar氏に関するライセンスの変更を受理することを提案した。

該当選手は締め切り前に書類を提出していた。今後の申請期限を変更するべきか議論が行われたが、FISのシーズンが7月1日より開始することから、締め切りは変更されるべきでないとの結論に至った。

FIS理事会は該当の申請を承認した。

7.2 セーフガーディング・ポリシーの承認

セーフガーディング・ポリシー、FISセーフガーディング・ルール、FISセーフガーディング・行動規範の修正案が文書と共にFIS理事会へ共有された。

理事会では内容の特筆性および規範を高い水準とする必要性から、いくつかの懸念点が挙げられた。Michel Vion事務総長はSarah Füsseck氏が該当文書の更新について検討に検討を重ねており、理事会での承認が2023年10月から3度にわたり延期されていることをコメントした(述べた)。

Deidra Dionne氏は、セーフガーディング・ポリシーを実施するために必要な投資の概要を提供し、当初から必要な費用と投資額を把握できるよう求めた。

Michael Huber氏は理事会に対して、自身の調査から実情として既に200ファイル、4,250ページにも渡る規定および規則がFISウェブサイトにあることを共有した。一般的に目指すべき目標はこの数字を削減することであり、規則を乱すことではない。

Eliasch会長はセーフガーディングにおいて明確な目的を持ち、関連する文書が実用的なものとなることを確実にするため、Sarah Füsseck氏と協働するワーキンググループを設置することを提案した。

FIS理事会はセーフガーディング・ポリシーに関する改正案を検討するため、Sarah Füsseck氏、Fiona Stevens氏、Franz Steinle氏、Deidra Dionne氏、Michael Huber氏で構成されたワーキンググループを設置し、承認については後日へ延期することに合意した。

7.3 ワイルドカードに関する規則の承認(機微な修正)

ワイルドカードに関する規則の修正版がFIS理事会へ資料として提出された。

Michel Vion事務総長は新たな提案のもと、ワイルドカード対象の選手が各国のクォータ内に含まれ、NSAが該当選手の出場を決定しなければならず、その後FISは該当選手が安全面を考慮して出場するレベルに達しているかを決定することになると確認した。Verena Stuffer氏はワイルドカードとして選手が競技に出場できるかどうかを決定する決定者が誰で、必要な20レースが1シーズンにわたるものなのか、複数シーズンにわたるものなのかを質問として挙げた。Eliasch会長は本件についてディレクターおよび技術専門員のサポートのもと、Michel Vion事務総長が決定することと確認した。

Michael Huber氏は持論として、ワールドカップシーズンが7月1日始まりであり、ワールドカップのリザルトに重大な影響を及ぼす場合は該当日以降のルール改正が認められないことから、既存のルールは2024/2025シーズンについては変更をすることができないと述べた。Johan Eliasch会長は本件の修正はルールを厳格化することになり、ワールドカップへの出場枠確保をより困難にするものであると説明した。一方で、選手はレース前に申請することができ、7月1日は申請期限として課されているものではないことから、より複雑な要素がある。

FIS理事会はワイルドカードに関する規則がアスリート委員会によって現実的な範囲で修正されたことに同意した。

7.4 広告委員会：委員構成の承認、委員長および委員の任命

委員構成の提案は文書内より確認ができる。Eliasch会長はTerje Lund氏の委員会委員長としての続投および残りの構成委員についてはNSA委員より6名、アスリート代表として1名、Club5の組織委員より1名、SRSより1名、テレビ専門スタッフより1名、FISスタッフより2名にて構成することを提案した。

Michel Vion事務総長は小規模の集団であることでより効率性が上がり、リスクを抑えた状態で理事会が承認を行うことができると説明した。Michael Huber氏は委員会内で投票権を持つものが誰かにについて明確にするよう依頼した。Michel Vion事務総長は依頼された事項について明確にすることを確認した。

Club5が全種目の代表であるのか、またはアルペンのみ代表であるか、また小規模な各国スキー連盟およびその他の種目は各代表を設置するべきかについて議論が行われた。Enzo Smrekar氏は中規模の各国スキー連盟の委員であるJoschka Kryzsian氏を追加で委員として任命することを提案した。Franz Steinle氏は提案された委員は既存のワーキンググループに所属している委員である、経験が豊富であることを確認した。

FIS理事会は広告委員会の委員長および委員について承認した。アスリート委員会はアスリート代表を近日中に提案することが合意された。

7.5 FISフリーライドワーキンググループの任命

FIS競技としてフリーライドを普及するための規則及びその他の必要な規定を定めるため、ワーキンググループの設立が提案された。

ワーキンググループの構成は下記となる：

Nicolas Hale-Woods, FWT 委員長
Fiona Stevens, NZL
Fabien Saguez, FRA
May Peus, ESP Roman
Kuss, AUT Sacha Giger,
SUI Ashley Deibold, USA
Michel Vion, FIS
Hedvig Wessel (アスリート代表)

FIS理事会はワーキンググループの設立および次回の理事会にて進捗状況が報告されることに合意した。

7.6 法務・安全委員会委員長の任命

Eliasch会長はAlison Pitt氏を法務・安全委員会委員長として任命することを提案した。副委員長については、委員会内で必要に応じて決定を行うため、推薦がなかった。

FIS理事会はAlison Pitt氏の法務・安全委員会への任命を承認した。

7.7 監査委員会の委員長および委員の任命

Eliasch会長はMats Arjes氏を監査委員会の委員長として、Dean Gosper氏およびPatrick Ortlieb氏を追加委員として推薦した。

推薦された委員および委員長について専門分野に関連した経験があり、役職を全うすることができるかが確認された。Johan Eliasch会長はMats Arjes氏は全機の監査委員会の委員長であり、それ以前にも長年に渡り会計士を務めていたことを説明した。同氏はSKISTARと呼ばれる証券会社の代表取締役でもある。Dean Gosper氏は法務に関する経験があり、12年に渡る理事としての経験も有する。Patrick Ortlieb氏はオーストラリアスキー連盟の会計士でもあり、この分野において経験が豊富である。

FIS理事会はガバナンスの観点から理事が監査委員会に配置されるべきか検討した。

FIS理事会は該当の委員長および委員の任命について同意しなかった。

7.8 FIS評議員の任命

Eliasch会長はTzeko Minev氏より理事会へ提出された書面について共有を行った。書面では、評議員会の定款に基づくと、副会長は任期に制限を持たず、理事として再選をする限り、副会長としての役職は継続することが指摘されている。Eliasch会長は副会長の席は1名分空いているため、任命する副会長は1名とすることを提案した。

Aoife Keane氏およびMark Nufer氏は定款に基づき副会長の議席が1席空いている場合に4席全ての交代のための選挙を要しないことを確認し、今回の事例は近年の理事会では発生していない事案であることを述べた。Nufer氏は加えて、理事会は開催の招集通知内に投票を要することが示されたうえ、

議題内に定められた事案等について投票を行うことができ、ただし、提案された投票について評議会の全会一致がある場合はこの限りではないことを確認した。

理事による議論および討論のもと、副会長の役職および4名の新任の副会長を選任する選挙を行うべきか、または単にRoman Kumpost氏の退任により設けられた空席に交代となる新任の副会長を選任する選挙を行うべきかが確認された。定款の解釈について、様々な見解が挙げられた。Alexandar Ospelt氏は2022年7月5日の理事会議事録内の6.1「副会長4名の選任」について言及した。Eliasch会長は、議事録の当該項目の議題名にかかわらず、その際に正式な選挙手続きは行われなかったことを説明した。

議論の最中で、Eliasch会長によりDeidra Dionne氏およびAnna Falkenberg Harboe氏が虚偽の理由により戦略計画委員会への会議に欠席し、May Peus氏およびTove Dyrhaug氏もまた本理事会への打ち合わせを目的とした少人数理事での会合へ欠席をしていたことを述べた。Eliasch会長は、該当の理事が課された職務を全うすることがない場合は戦略計画委員会からの退任を要求する意向であることを示した。

FIS理事会は本件の任命について同意しなかった。 Eliasch会長は次回理事会にて新たな提案を行うことで合意した。

8. 理事による追加が提案された議題

8.1 ICR 206条3項および208条1.2項の改正

本議題について、集中的な議論が行われた。Eliash会長は本議題に関して提案者からは詳細な情報が提供されていないことを述べ、投票を行うことができなかった。各国スキー連盟とFIS間でのMRCAの最終調整に関する議論を可能にするため、数名の理事からは本件に関連する条文を原文に戻し早急に施行することが求められた。Eliasch会長はMRCAの最終調整に先立ち原文への修正および施工を行うことはないと説明したが、条件付きで修正を行う可能性があることを述べた。現実性のある妥協点について議論がなされ、Eliasch会長および法律顧問が文言を作成し、近日書面にて理事会へ提案を行うことが合意された。

FIS理事会は、Johan Eliasch会長が改正案を回覧することについて合意した。

9. 次回FIS理事会

次回FIS理事会は下記の通り行われる予定である：

2024年10月23日、オンライン開催

10. 閉会

Johan Eliasch会長は14:55に理事会を閉会した。

オーバーホーフェン、2024年9月24日

※原文と和文で差異がある場合、原文を優先する

FIS理事会最重要決定事項

2024年11月8日-チューリッヒ(スイス)

1. 開会

Eliasch会長は11:00にFIS理事会を開会し、出席者を歓迎した。

* * *

2. 出席者

Johan Eliasch、会長

Deidra Dionne (CAN)

Tove Moe Dyrhaug (NOR)

Alex Fiva (SUI、アスリート委員会代表)

Adam Hall (NZL、アスリート委員会代表)

Anna Harboe Falkenberg (DEN)

Michael Huber (AUT)

Freddy Keirouz (LBN)

Karin Mattsson (SWE)

Tzeko Minev (BUL)

Aki Murasato (JPN)

Alexander Ospelt (LIE)

Dexter Paine (USA)

Jean-Philippe Rochat (SUI) Flavio

Roda (ITA)

Fabien Saguez (FRA)

Enzo Smrekar (SLO)

Franz Steinle (GER)

Fiona Stevens (NZL)

Verena Stuffer (ITA、アスリート委員会代表)

Martti Uusitalo (FIN)

Michel Vion、事務総長

傍聴者

Aoife Keane (FIS顧問弁護士)

Charlotte Varela (FIS弁護士補佐)

Marc Nufer (外部法律顧問), Eversheds

欠席者

May Peus (ESP)

3. 議題の承認

FIS理事会は、議題について承認した。

* * *

4. 2024年9月24日FIS理事会議事録

FIS理事会は機密議事録を承認した。議事録概要の承認については、次回理事会へ延期された。

* * *

5. 会長報告

5.1. 第2回FISサミット

会長職について以来、各国スキー連盟は等しく特別な存在であることを説いてきた。我々は世界のどこに位置するか、スノースポーツの基盤がどれだけ発展しているかに関わらず、世界中の各国スキー連盟を支援すると我々は決心している。この目的を達成するにあたり、年に1度FISサミットを開催する現状は必要不可欠である。第2回サミットをチューリッヒの会合と併せて開催し、56のスノースポーツ発展途上国のスキー連盟が集まり抱えている課題を共有し、FISの専門家からノウハウを学び、発展と相互性の一例を学ぶため協力しあった。ミラノ・コルティナ2026の予選ルート、持続可能性、メディア戦略について議論されたかどうかにかかわらず、本サミットでは協力の力が強調された。知識と技術を共有することで我々は共に強固になり、FISサミットはこのような意見交換の機会を提供するものである。来年のサミットの開催を今から楽しみにしている。

5.2. サステナビリティ

過去3年に渡り、我々はサステナビリティをFISの中核とすることに取り組んできた。真に気候変動への取り組みを行うということは他の組織、パートナーと共に取り組むことであるからこそ、気候変動が冬季競技およびツーリズムに大きな影響を及ぼすことを我々に認知させてくれる世界天文学機構(WMO)との覚書にFISが署名したことを大変嬉しく思う。これにより、我々はスポーツと科学団体の会話をより強固にできる実用的内機会を設けることに注力できる。国連の専門機関が国際スポーツ連盟とパートナー協定を結ぶことは今回が初であり、この分野におけるFISの注力を示すものでもある。

FISがIOCおよびDeloitteと二酸化炭素排出量の計測における共同関係を結び、排出量削減に向けた取り組みを行っていくと発表できることを喜ばしく思います。

5.3. 2027/2029世界選手権に関する入札手続き

FISは2027年および2029年世界選手権のメディア権の入札手続きを高らかに開始した。これは大きな節目である。これは我々の成果を向上させ、現代化する機会を開き、今後数十年に渡りエリート冬季競技の発展を支援することに繋がる。我々が得る収益の全ては一つの目的のために使われる。それは我々のスポーツへの再投資である。より多くの収益は、より良いイベント、各国スキー連盟

の強化された基盤、そして重要なこととして、アスリートにとってより充実した環境を生み出す。要約をすると、冬季競技を次のレベルに進めることが目的である。提案書の提出期限は**2024年11月12日**である。

5.4. ウクライナへの特別支援

FISは困難に直面している加盟国と常に共にある。その連帯の精神に基づき、ウクライナスキー連盟が昨シーズンと同じ額として**120,000**スイスフランの追加支援を受けることが提案された。この支援金を通して、戦時中にも関わらずウクライナスキー連盟が自国のチームの運営および基礎レベルの活動を行うことを支援する。

5.5. エアバッグ

アスリートからの助言に基づき、アルペン委員会はFISワールドカップ大会でのエアバッグの着用義務を**2025/2026**シーズンまで延期をするか検討を行っている。理事会はDownhillおよびSuper-Gへ参加するアスリートへのエアバッグの着用義務について**18**カ月前に紹介を行っており、既に多くのアスリートがトレーニングおよび競技中に着用をしているが、一部の選手からはエアバッグのサイズおよび着用感の問題から、免除を申請しようとしている。

理事会は、エアバッグの使用は義務付けられるべきだが、エアバッグがアスリートに適合せず、動きを不安全な方法で制限する場合には、必要に応じて各国スキー連盟が例外を認めるべきだと述べました。ただし、パフォーマンス向上のための手段として例外を許可すべきではないとした。

FIS理事会は権利放棄が認められ、エアバッグの使用免除を各国スキー連盟が承認する場合を除き、エアバッグの使用は義務であることに合意した。

5.6. アスリートヘルスユニット

FIS理事会はアスリートヘルスユニットの設立に注力をしており、電子ビンディングシステムの製造業者およびその資金調達を求めている。

5.7. ロシアおよびベラルーシのアスリートの大会出場

FIS理事会は資格のあるベラルーシおよびロシアのアスリートの中立個人選手としての来シーズンからのFIS大会への参加を可能にさせるIOCからの推奨について共有を行った。これはIOCの推奨が来る**2026年ミラノ・コルティナオリンピック**冬季競技大会への適用へ続くものとなる。

数名の理事がベラルーシおよびロシアのアスリートの大会出場について持論を述べた。Eliasch会長は中立個人選手の適用およびその時期については理事会とIOCにて協議を行うことで同意した。

5.8. FISジュニア世界選手権大会

- **2025年FISアルペンスキージュニア世界選手権大会** タルビジオ(イタリア), **2025年2月25日~3月6日** : Flavio Roda理事
- **2025年FISクロスカントリージュニア・U23世界選手権大会** スキルパーリオ(イタリア), **2025年2**

月3-9日：Flavio Roda理事

- 2025年FISスキージャンプ・ノルディックコンバインド世界選手権大会 レークプラシッド(アメリカ), 2025年2月10-16日：Dexter Paine理事
- 2025年FISモーグル・エアリアルジュニア世界選手権大会 アルマティ(カザフスタン), 2025年1月7-11日
- 2025年FISスピードスキージュニア世界選手権大会 ヴァール(フランス), 日程未定：Fabien Saguez理事
- 2026年FISノルディックジュニア世界選手権大会 トロンハイム(ノルウェー)：Tove Moe Dyrhaug理事

日程の承認申請:

ノルウェースキー連盟はFISノルディックジュニア世界選手権を2026年3月2日から8日にかけて Trondheimにて開催することを提案した。

FIS理事会はTrondheimでの2026FISノルディックジュニア世界選手権の開催日程を承認した。

5.9. 今後のFISジュニア世界選手権大会開催地立候補

- フランススキー連盟がIsola 2000を開催地とし、2025年FISスキークロス・スノーボードクロスジュニア世界選手権大会(2025年4月3-13日)の組織委員会への立候補を申請した。

FIS理事会はフランススキー連盟によるIsola 2000での2025年FISスキークロス・スノーボードクロスジュニア世界選手権大会の開催を承認した。

下記表は近年開催されるFISジュニア世界選手権大会の組織委員会の配置を示している：

Season	ノルディック種目	アルペンスキー	スノーボード、フリースタイル、フリースキー	スピードスキー
2025	スキルパーリオ(イタリア), クロスカントリー レークプラシッド(アメリカ), スキージャンプおよびノルディックコンバインド	タルビジオ(イタリア)	アルマティ(カザフスタン), モーグルおよびエアリアル	ヴァール(フランス)
2026	トロンハイム(ノルウェー)			

特記事項:

原則として、可能な限り、FISジュニア世界選手権大会の開会式においてFISを代表する理事は該当国の理事となる。

5.10. パートナー協定およびスポンサー契約に関する概要

理事会はFISの新たなスポンサーの機会を含め、パートナー協定およびスポンサー契約の進捗に関して議論を行った。Eliasch会長はSketchersおよびVisaを含む新たなパートナー協定の進捗は順調であることを確認した。

FIS理事会は理事会に対し進捗を提供することがFISマーケティングチームにとって有益であることを合意した。

5.11. FIS総会

2025年第56回FIS総会はオンラインで実施、FIS理事会は対面で実施の予定である。

FIS理事は2025年6月12日に対面にて会合を行い、6月13日に開催予定(各国スキー連盟はオンラインにて参加予定)のFIS総会へ出席する予定である。

実施場所については、追って連絡がある予定である。

5.12. FISデベロップメント報告

作業文書と共に本件の報告書がFIS理事会へ提出された。

5.13. ノルディックワーキンググループの財政分配

文書と共に本件の概要がFIS理事会へ提出された。

主要なFIS大会

6. FIS世界選手権大会

6.1. FIS世界選手権大会報告:

- 2025年 FIS アルペンスキー世界選手権大会 ザールバッハ（オーストリア）2025年2月4~16日
- 2025年 FIS ノルディックスキー世界選手権大会 トロンハイム（ノルウェー）
2025年2月25日~3月9日
- 2025年 FIS フリースタイル・スノーボード・フリースキー世界選手権大会 エンガディン（スイス）
2025年3月17~30日

- 2025年 FIS パラアルペンスキー世界選手権大会 バルドネッキア(イタリア) 2025年2月14-22日(日程および開催場所は最終決定予定)
- 2025年FISパラクロスカントリー世界選手権大会 ドッビャーコ(イタリア) 2025年2月11-14日
- F2025年FISパラスノーボード世界選手権大会 ビッグ・ホワイト(カナダ) 2025年3月4-10日
- 2026年FISスキーフライング世界選手権大会 オーバーストドルフ(ドイツ), 2026年1月23-25日
- 2027年FISアルペン世界選手権大会 クランモンタナ(スイス), 2027年1月1-14日
- 2027年FISノルディック世界選手権大会 ファールン(スウェーデン), 2027年2月17-28日
- 2027年FISスノーボード、フリースタイル、フリースキー世界選手権大会 モンタフォン(オーストリア), 2027年3月7-20日
- 2027年FISパラアルペンスキー世界選手権 ティグニス(フランス), 2027年3月7-19日
- 2028年FISスキーフライング世界選手権大会 プラニツァ(スロベニア), 日程未定
- 2029年FISアルペンスキー世界選手権大会 ナルビク(ノルウェー), 日程未定
- 2029年FISノルディック世界選手権大会 ラハティ(フィンランド), 日程未定
- 2029年FISスノーボード、フリースタイル、フリースキー世界選手権大会, 張家口市(中国)
- 2031年FISアルペンスキー世界選手権大会 ヴァルガルデーナ(イタリア), 日程未定

その他のFIS世界選手権大会:

- 2025年FISテレマークスキー世界選手権大会 レ・コンタミンヌ＝モンジョワ(フランス), 2025年3月16-22日
- 2025年FISスピードスキー世界選手権大会 ヴァール(フランス), 2025年3月17-31日

Michel Vion事務総長は2025から2031年に開催される世界選手権大会の組織委員会に関する更新された情報を報告した。FIS理事会は賞金に関して議論を行い、スポンサーおよび組織委員会との共同のもと全ての大会において賞金を増額する意向であることを確認した。Michel Vion事務総長は全種目、性別に応じた賞金の票が作成されていることを確認した。

Michael Huber氏はフリーライドがモンタフォン(オーストリア)での2027年世界選手権大会の開催項目に取り組みられるべきか、取り組まれることができるか、取り組まれる可能性があるかを質問として挙げた。Michel Vion事務総長はフリーライドに関して、フリーライドワーキンググループがあらゆる選択肢を検討していることを確認した。

大会組織

7. FISワールドカップ

2024-2025”. 2024/2025シーズンのワールドカップカレンダーは別添資料7.1「2024/2025シーズンワールドカップカレンダー」にて確認ができる。

Eliasch会長はMRCAに関する交渉の状況についての報告書を提出した。数名の理事がICRの条文を2024年4月26日以前に戻す時期の目途に関する質問を行った。Eliasch会長は次の段階はICRの変更を条件とし、MRCAへ署名を行うことであると確認した。

8. 主要大会の役員

8.1. 世界選手権大会およびオリンピック冬季競技大会におけるジュリーメンバー

2024年6月4日の会合にて、FIS理事会はFIS世界選手権大会およびその他の主要大会へのジュリーメンバーの任命を行った。

2024年秋季ミーティングでの会合内容に基づき、各技術委員会が数名の審判員および技術役員の推薦を提出し、更新されたリストがFIS理事会へ提出された。FIS理事会はIOCによるオリンピック冬季競技大会およびクランモンタナでの世界選手権大会のアルペンスキーにてより多くの女性技術役員の配置の要請およびその有効性について議論を行った。

8.2. 世界選手権大会組織委員会における主要技術役員

2003年11月に開催されたFIS理事会での決定事項に基づき、大会および協議会の責任者、コースおよびジャンプ台の責任者、その他主要技術役員の推薦はFIS理事会へ提出のうえ承認を得る必要がある。各組織委員会は複数の役職について新たな推薦を作成し、FISの各大会運営からの審議を得たうえ、更新されたリストがFIS理事会へ提出された。

FIS理事会は主要大会における審判員および主要役員の任命を承認したが、Fabien Saguez氏は8.1項『世界選手権（WSC）およびオリンピック冬季競技大会（OWG）の審判員』に関して棄権した。

9. 各国スキー連盟

9.1. 技術委員会委員の変更に関する交代

クロスカントリーワールドカップ&コンチネンタルカップ小委員会

小境啓之氏(日本)から蛭沢克仁氏(日本)へ交代

クロスカントリーユース&チルドレン問題小委員会

清水智美氏(日本)から江川敦氏(日本)へ交代

ジャンプ委員会

Mr Thomas Thurnbichler氏 (ポーランド) からMr Alexander Stoeckl氏 (ポーランド)へ

交代

アルペンユース & チルドレン問題小委員会

Mr Attila Vamos氏 (HUN) からDr. Levente Csak氏 (HUN)へ交代

スノーボード・フリースタイル・フリースキー委員会

Mr Balazs Bécsy氏 (HUN) からBalázs Györki氏 (HUN)へ交代

スノーボード・フリースタイルユース & チルドレン問題小委員会

Mr Balazs Bécsy氏 (HUN) からBalázs Györki氏 (HUN)へ交代

パラ冬季競技委員会

Mr Fabian Attila氏(HUN) からMrs Rózsa Harmat氏へ交代

パラアルペンスキー小委員会、パラノルディック小委員会、パラスノーボード小委員会

Mr Christan Femy氏(フランス)

女性委員会

清水智美氏(日本)から江川敦氏(日本)へ交代

法務・安全委員会

Mr Attila Vamos 氏(HUN) からDr. Levente Csak (HUN)氏へ交代

PR & メディア委員会

Mr Attila Vamos氏 (HUN) から Mr Balázs Bécsyへ交代

アルペンファーストカップ小委員会

森晃氏(日本)、委員長へ着任

FIS理事会は委員会委員の交代について承認した。

10. FIS委員会

10.1. FIS各種技術委員会からの提案および申請

FIS各種技術委員会および小委員会の会合が2024年9月24日から27日にかけて、チューリッヒ(スイス)にて開催された。各委員会からの提案および申請は下記の補足資料より確認ができる:

- 10.1.1 FISアルペン委員会からの提案および申請
- 10.1.2 FISノルディック委員会からの提案および申請
- 10.1.3 FISスノーボード、フリースタイル、フリースキー委員会からの提案および申請
- 10.1.4 FISパラ冬季競技委員会からの提案および申請
- 10.1.5 FISスピードスキー委員会からの提案および申請
- 10.1.6 FISグラススキー委員会からの提案および申請
- 10.1.7 FISマスターズ小委員会からの提案および申請
- 10.1.8 FISパラクロスカントリーオフィスからの提案
- 10.1.9 FISフリーライドワーキンググループからの提案および申請
- 10.1.10 FISパラ冬季競技委員会からの最終議事録提案

FIS理事会は「カーボンソックス」およびヘルメットに設置するカメラについて議論を行った。本件の更なる検討は後日実施予定にて合意された。

10.1.4. FISパラ冬季競技委員会からの提案および申請

FIS理事会は、パラスポーツ向けの新たな係数リストの提案を審議した。Adam・Hall氏はパラ委員会がコーチ、アスリート、その他専門家と協力し、長く更新されていなかった係数リストを改訂したこと、そしてFIS理事会へ事前に提出された提案にして投票が行われたことを確認した。

10.1.9 FISフリーライドワーキンググループからの提案および申請

FIS理事会はFISフリーライド世界選手権大会を年次で実施するべきか、全ての国が付随して実施できるとは限らないことから、FISフリーライド世界選手権大会をFISスノーボード・フリースタイル・フリースキー世界選手権大会と付随するべきか、別開催とするべきかについて検討を行った。Michel Huber氏はICR 200に対して事前審議を持たず変更を加えることに反対の姿勢を示した。Michel Vion事務総長は、2024/2025シーズンに向けて提案された内容は、フリーライドが多く各国スキー連盟に含まれていないという事実を考慮し、ICR200を調整するものであることを確認した。Michel Huber氏は、この調整案に問題がないことを確認した。

Eliasch会長はフリーライドを2026年オリンピック冬季競技大会の種目として推薦する意向を確認した。

FIS理事会はFIS各種技術委員会からの提案および申請を承認した。

11. FIS理事会の継続会合

継続会合の日程案がFIS理事会へ提出された。

* * *

12. 閉会

Johan Eliasch会長は14:20(CET)にFIS理事会を閉会した。

* * *

下記事項はFIS理事会の継続会合の議題として継続議題となった。

- 名誉委員会委員の推薦
- FIS委員会の規則および参照規定
- FIS監査委員会の委員長および委員の任命
- FIS評議委員会の任命
- FIS財政委員会の委員長および委員の任命

FIS理事からの追加議題および提案事項

- FIS理事会および評議員会の規則（例として11月のグルグル、2月初旬のザールバッハ、3月初旬のトロンハイムでの開催等の年間計画を含む）、およびNDAに関する事項。
- FISおよびFIS経営陣に対する未解決の訴訟案件と、過去3年間にFISが外部弁護士に支払った法的費用。
- Enzo Smrekar氏による提案事項

Enzo Smrekar氏は下記の提案を提出した：

- 全種目における大会基盤の改選のための委員会またはワーキンググループの設立
- スキー競技の国際化を図る委員会またはワーキンググループの設立
- ICR規則-206条3項および208条1.2項の改正

オーバーホーフェン, 2024年11月12日

Michel Vion
事務総長

FISアルペンスキーワールドカップ 2024/25

男子

Date	Day	Site	Nation	DH	SG	GS	SL	TC	Remarks
October 24 27.	Sun	Sölden	FIS/AUT			27.			Opening W&M
November 24 17.	Sun	Levi	FIN				17.		W&M
24.	Sun	Gurgl	AUT				24.		W&M
December 24 06.-08.	Fri-Sun	Beaver Creek	USA	06.	07.	08.			
14.-15.	Sat-Sun	Val d'Isere	FRA			14.	15.		
20.-21.	Fri-Sat	Val Gardena/Gröden	ITA	21.	20.				*
22.-23.	Sun-Mon	Alta Badia	ITA			22.	23.		
28.-29.	Sat-Sun	Bormio	ITA	28.	29.				
January 25 08.	Wed	Madonna di Campiglio	ITA				08.		Night event
11.-12.	Sat-Sun	Adelboden	SUI			11.	12.		
17.-19.	Fri-Sun	Wengen	SUI	18.	17.		19.		
24.-26.	Fri-Sun	Kitzbühel	AUT	25.	24.		26.		
28.-29.	Tue-Wed	Schladming	AUT			28.	29.		Night event
February 25 02.	Sun	Garmisch Partenk.	GER	02.					
04.-16.	Tue-Sun	WSC Saalbach	AUT	X	X	X	X	X	+ TP
22.-23.	Sat-Sun	Crans Montana	SUI	22.	23.				
March 25 01.-02.	Sat-Sun	Kranjska Gora	SLO			01.	02.		
08.-09.	Sat-Sun	Kvitfjell	NOR	08.	09.				*
15.-16.	Sat-Sun	Hafjell	NOR			15.	16.		
22.-27.	Sat-Thu	Sun Valley	USA	22.	23.	26.	27.		Finals W&M
Total resorts 19 / Competitions 38				9	8	9	12		
Total Speed / Tech.				17		21			

20.09.2024

*:official replacement for speed events:Thu, 19.12. (Val Gardena/Gröden) and Fri, 14.03. (Kvitfjell)

FIS アルペン スキー ワールド カップ 2024/2025

女子

Date	Day	Site	Nation	DH	SG	GS	SL	TC	Remarks
October 24 26.	Sat	Sölden	FIS/AUT			26.			Opening W&M
November 24 16. 23. 30.-01.	Sat Sat Sat-Sun	Levi Gurgl Killington	FIN AUT USA				16. 23. 01.		W&M W&M
December 24 07.-08. 14.-15. 21.-22. 28.-29.	Sat-Sun Sat-Sun Sat-Sun Sat-Sun	Tremblant Beaver Creek St. Moritz Semmering	CAN USA SUI AUT	14.	15. 21./22.	07./08. 28.	05. 14. 29.		
January 25 04.-05. 11.-12. 14. 18.-19. 21. 25.-26. 30.	Sat-Sun Sat-Sun Tue Sat-Sun Tue Sat-Sun Thu	Kranjska Gora St. Anton Flachau Cortina d'Ampezzo Kronplatz Garmisch Partenk. Courchevel	SLO AUT AUT ITA ITA GER FRA	11. 18. 25.	12. 19. 26.	04. 21.	05. 14. 30.		Night event Night event
February 25 01.-02.	Sat-Sun	Week-end off							
04.-16.	Tue-Sun	WSC Saalbach	AUT	X	X	X	X	X	+ TP
22.-23.	Sat-Sun	Sestriere	ITA			22.	23.		
March 25 28.-02. 08.-09. 14.-15. 22.-27.	Fri-Sun Sat-Sun Fri-Sat Sat-Thu	Kvitfjell Åre La Thuile Sun Valley	NOR SWE ITA USA	28./01. 14. 22.	02. 15. 23.	08. 25.	09. 27.		* Finals W&M
Total resorts 20 / Competitions 37				8	9	10	10		
Total Speed / Tech				17		20			

20.09.2024

* official replacement for speed events: Thu, 13.03 (LaThuile)

FIS クロスカントリースキーワールドカップ2024/25

Date	Day	Site	Nation	Distance / Format	Remarks
Period I					
29.11.	Fri	Ruka	FIN	10 km Interval Start C	
30.11.	Sat	Ruka	FIN	Sprint C	
01.12.	Sun	Ruka	FIN	20 km Mass Start F	
06.12.	Fri	Lillehammer	NOR	10 km Interval Start F	
07.12.	Sat	Lillehammer	NOR	Sprint F	
08.12.	Sun	Lillehammer	NOR	20 km Skiathlon	
13.12.	Fri	Davos	SUI	Team Sprint F	
14.12.	Sat	Davos	SUI	Sprint F	
15.12.	Sun	Davos	SUI	20 km Interval C	
Period II					
Tour de Ski					
28.12.	Sat	Toblach	ITA	Sprint F	Tre Cime Based on Interval
29.12.	Sun	Toblach	ITA	15 km Mass Start C	
31.12.	Tue	Toblach	ITA	20 km Interval Start F	
01.01.	Wed	Toblach	ITA	15 km Pursuit C	
03.01.	Fri	Val di Fiemme	ITA	Sprint C	
04.01.	Sat	Val di Fiemme	ITA	20 km Skiathlon	
05.01.	Sun	Val di Fiemme	ITA	Final Climb	
Period III					
17.01.	Fri	Les Rousses	FRA	10 km Interval Start F	A-B competition
18.01.	Sat	Les Rousses	FRA	Sprint C	
19.01.	Sun	Les Rousses	FRA	20 km Mass Start C	
24.01.	Fri	Engadin	SUI	Mixed Relay	
25.01.	Sat	Engadin	SUI	Sprint F	
26.01.	Sun	Engadin	SUI	20 km Mass Start F	
31.01.	Fri	Cogne	ITA	Team Sprint C	
01.02.	Sat	Cogne	ITA	Sprint C	
02.02.	Sun	Cogne	ITA	10 km Interval Start F	
14.02.	Fri	Falun	SWE	Sprint C	
15.02.	Sat	Falun	SWE	10 km Interval Start C	
16.02.	Sun	Falun	SWE	20 km Mass Start F	
26.02. – 09.03. FIS Nordic World Ski Championships 2025, Trondheim (NOR)					
Period IV					
15.03.	Sat	Oslo	NOR	20 km Interval Start C	
16.03.	Sun	Oslo	NOR	10 km Interval Start F	
19.03.	Wed	Tallinn	EST*	Sprint F	
21.03.	Fri	Lahti	FIN	Sprint F	
22.03.	Sat	Lahti	FIN	Team Sprint F	
23.03.	Sun	Lahti	FIN	50 km Mass Start C	

FIS Nordic Junior World Ski Championships, Schilpario (ITA) - 3rd – 9th February 2025

* *Special waxing set up*

FISスキージャンプワールドカップ2024/25 – 男子

Date	Day	Site	Nation	Hill	Event	Remarks
III. Period						
22.11.	Fri	Lillehammer	NOR	HS 140	Mixed Team/night	
23.11.	Sat	Lillehammer	NOR	HS 140	Individual/night	
24.11.	Sun	Lillehammer	NOR	HS 140	Individual/night	
30.11.	Sat	Ruka	FIN	HS 142	Individual/night	Nordic Open
01.12.	Sun	Ruka	FIN	HS 142	Individual/night	
07.12.	Sat	Wisla	POL	HS 134	Individual/night	
08.12.	Sun	Wisla	POL	HS 134	Individual/night	
13.12.	Fri	Titisee-Neustadt	GER	HS 142	Super Team / night	
14.12.	Sat	Titisee-Neustadt	GER	HS 142	Individual/night	
15.12.	Sun	Titisee-Neustadt	GER	HS 142	Individual/night	
21.12.	Sat	Engelberg	SUI	HS 140	Individual/night	
22.12.	Sun	Engelberg	SUI	HS 140	Individual/night	
IV. Period						
29.12.	Sun	Oberstdorf	GER	HS 137	Individual/night	4-Hills Tournament
01.01.	Wed	Ga-Partenkirchen	GER	HS 142	Individual	
04.01.	Sat	Innsbruck	AUT	HS 128	Individual	
06.01.	Mon	Bischofshofen	AUT	HS 142	Individual/night	
V. Period						
11.01.	Sat					
12.01.	Sun					
18.01.	Sat	Zakopane	POL	HS 140	Team/night	
19.01.	Sun	Zakopane	POL	HS 140	Individual/night	
25.01.	Sat	Oberstdorf	GER	HS 235	Individual	Ski Flying Ski Flying
26.01.	Sun	Oberstdorf	GER	HS 235	Individual	
VI. Period						
31.01.	Fri	Willingen	GER	HS 147	Mixed Team	
01.02.	Sat	Willingen	GER	HS 147	Individual	
02.02.	Sun	Willingen	GER	HS 147	Individual	
08.02.	Sat	Lake Placid	USA	HS 128	Individual/night	
08.02.	Sat	Lake Placid	USA	HS 128	Mixed Team event	
09.02.	Sun	Lake Placid	USA	HS 128	Individual/night	
15.02.	Sat	Sapporo	JPN	HS 137	Individual/night	
16.02.	Sun	Sapporo	JPN	HS 137	Individual/night	
22.02.	Sat					
23.02.	Sun					
25.02.	Tue	Trondheim 2025	NOR	HS 102		WSC 2025
09.03.	Sun		NOR	HS 138		
VII. Period						
13.03.	Thu	Oslo	NOR	HS 134	Individual	Raw Air
15.03.	Sat	Vikersund	NOR	HS 240	Individual	
16.03.	Sun	Vikersund	NOR	HS 240	Individual	
22.03.	Sat	Lahti	FIN	HS 130	Individual	
23.03.	Sun	Lahti	FIN	HS 130	Super Team	
28.03.	Fri	Planica	SLO	HS 240	Ski Flying /Ind.	WC Finale
29.03.	Sat	Planica	SLO	HS 240	Ski Flying/Team	
30.03.	Sun	Planica	SLO	HS 240	Ski Flying / Ind.	

FIS Nordic Ski World Championships 2025, Trondheim (NOR), 25.02 – 9.03.2025

FIS Nordic Junior World Ski Championships 2025, Lake Placid (USA), 10.02 – 16.02.2025

FISスキージャンプワールドカップ2024/25 – 女子

Date	Day	Site	Nation	Hill	Event	Remarks
22.11	Fri	Lillehammer	NOR	140	Mixed Team	WC Opening
23.11	Sat	Lillehammer	NOR	140	Individual	
24.11	Sun	Lillehammer	NOR	140	Individual	
30.11.	Sat					
01.12.	Sun					
07.12.	Sat					
08.12.	Sun					
14.12.	Sat	Zhangjiakou	CHN	HS 106	Individual/night	
15.12.	Sun	Zhangjiakou	CHN	HS 106	Individual/night	
21.12.	Sat	Engelberg	SUI	HS 140	Individual	
22.12.	Sun	Engelberg	SUI	HS 140	Individual	
31.12.	Tue	Garmisch-Partenkirchen	GER	HS 142	Individual/night	Two Nights Tour
01.01.	Wed	Oberstdorf	GER	HS 137	Individual/night	Two nights Tour
05.01	Sun	Villach	AUT	HS 98	Individual	
06.01	Mon	Villach	AUT	HS 98	Individual	
11.01.	Sat					
12.01.	Sun					
18.01.	Sat	Sapporo	JPN	HS 134	Individual/night	
19.01	Sun	Sapporo	JPN	HS 134	Individual	
24.01.	Fri	Zao	JPN	HS 102	Individual/night	
25.01.	Sat	Zao	JPN	HS 102	Super Team/night	
26.01.	Sun	Zao	JPN	HS 102	Individual/night	
31.01.	Fri	Willingen	GER	HS 147	Mixed Team/night	
01.02.	Sat	Willingen	GER	HS 147	Individual	
07.02.	Fri	Lake Placid	USA	HS 128	Individual	
08.02.	Sat	Lake Placid	USA	HS 128	Mixed Team	
08.02.	Sat	Lake Placid	USA	HS 128	Individual	
15.02.	Sat	Ljubno	SLO	HS 94	Individual	
16.02.	Sun	Ljubno	SLO	HS 94	Individual	
22.02.	Sat	Hinzenbach	AUT	HS 90	Individual/night	
23.02.	Sun	Hinzenbach	AUT	HS 90	Individual	
25.02. - 09.03.		WSC Trondheim 2025	NOR			WSC 2025
13.03	Thu	Oslo	NOR	HS 134	Individual	RAW AIR
15.03.	Sat	Vikersund	NOR	HS 240	Individual	
16.03.	Sun	Vikersund	NOR	HS 240	Individual	
20.03.	Thu	Lahti	FIN	HS 130	Individual/night	WC Final
21.03.	Fri	Lahti	FIN	HS 130	Individual/night	

FIS Nordic Ski World Championships 2025, Trondheim (NOR), 25.02 – 9.03.2025

FIS Nordic Junior World Ski Championships 2024, Lake Placid (USA), 10.02 – 16.02.2025

FISノルディックコンバインドワールドカップ男子 2024/25

Date	Day	Site	Nation	Hill	Event	Remarks
I. Period						
29.11	Fri	Ruka	FIN	HS 142	IC	Opening Tour
30.11	Sat	Ruka	FIN	HS 142	IG	
01.12	Sun	Ruka	FIN	HS 142	MS	
07.12	Sat	Lillehammer	NOR	HS 98	IG	
08.12	Sun	Lillehammer	NOR	HS 138	IC	
20.12	Fri	Ramsau	AUT	HS 96	MS	
21.12	Sat	Ramsau	AUT	HS 96	IG	
II. Period						
18.01	Sat	Schonach	GER	HS 100	IG	
19.01	Sun	Schonach	GER	HS 100	IC	
25.01	Sat	tbc				
26.01	Sun	tbc				
III. Period						
31.01	Fri	Seefeld	AUT	HS 109	MS	TRIPLE
01.02	Sat	Seefeld	AUT	HS 109	IC	
02.02	Sun	Seefeld	AUT	HS 109	IG	
07.02	Fri	Otepää	EST	HS 97	MS	
08.02	Sat	Otepää	EST	HS 97	IG	
09.02	Sun	Otepää	EST	HS 97	IC	
25.02 – 09.03						
FIS World Ski Championships Trondheim						
IV. Period						
15.03	Sat	Oslo	NOR	HS 134	IG	
16.03	Sun	Oslo	NOR	HS 134	IC	
21.03	Fri	Lahti	FIN	HS 130	TS	
22.03	Sat	Lahti	FIN	HS 130	IG	

FIS Nordic Junior World Ski Championships 2025, Lake Placid (USA), 10.02 – 16.02.2025

FISノルディックコンバインドワールドカップ女子 2024/25

Date	Day	Site	Nation	Hill	Event	Remarks
I. Period						
06.12	Fri	Lillehammer	NOR	HS 98	IG	
07.12	Sat	Lillehammer	NOR	HS 98	IC	
20.12	Fri	Ramsau	AUT	HS 96	IG	
21.12	Sat	Ramsau	AUT	HS 96	IC	
II. Period						
18.01	Sat	Schonach	GER	HS	IG	
19.01	Sun	Schonach	GER	HS	IC	
25.01	Sat	tbc				
26.01	Sun	tbc				
III. Period						
31.01	Fri	Seefeld	AUT	HS 109	MS	TRIPLE
01.02	Sat	Seefeld	AUT	HS 109	IC	
02.02.	Sun	Seefeld	AUT	HS 109	IG	
07.02	Fri	Otepää	EST	HS 97	MS	
08.02	Sat	Otepää	EST	HS 97	IG	
09.02	Sun	Otepää	EST	HS 97	IC	
25.02 – 09.03 FIS WSC Trondheim						
IV. Period						
15.03	Sat	Oslo	NOR	HS 134	IG	
16.03	Sun	Oslo	NOR	HS 134	IC	

FIS Nordic Junior World Ski Championships 2025, Lake Placid (USA), 10.02 – 16.02.2025

FISノルディックコンバインドコンチネンタルカップ2024/2025 – 男子&女子

		Men		Women	
Date	Day	Site, Nation	Hill, Event	Site, Nation	Hill, Event
I. Period					
13.12	Fri	Ruka/ FIN	HS 142, IG 10km		
14.12	Sat	Ruka/ FIN	HS 142, IC 10km		
15.12	Sun	Ruka/ FIN	HS 142, IG 10km		
II. Period					
10.01	Fri	Klingenthal/ GER	HS 140, IC 7,5km		
11.01	Sat	Klingenthal/ GER	HS 140, IG 10km		
12.01	Sun	Klingenthal/ GER	HS 140, IG 10km		
17.01	Fri	Eisenerz/AUT	HS 109, IG 10km	Eisenerz/AUT	HS 109, IG 5km
18.01	Sat	Eisenerz/AUT	HS 109, TS	Eisenerz/AUT	HS 109, TS
19.01	Sun	Eisenerz/AUT	HS 109, IG 10km	Eisenerz/AUT	HS 109, IC 10km
III. Period					
24.01	Fri	Schonach/ GER	HS 100, MS 10km	Schonach/ GER	HS 100, MS 5km
25.01	Sat	Schonach/ GER	HS 100, IC 10km	Schonach/ GER	HS 100, IC 5km
26.01	Sun	Schonach/ GER	HS 100, IG 10km	Schonach/ GER	HS 100, IG 5km
31.01	Fri	Lillehammer/ NOR	HS 98, IG 10km	Lillehammer/ NOR	HS 98, IG 5km
01.02	Sat	Lillehammer/ NOR	HS 98, IG 10km	Lillehammer/ NOR	HS 98, IC 5km
02.02	Sun	Lillehammer/ NOR	HS 138, IG 10km		
10.02-16.02		JWSC, Lake Placid, USA			
IV. Period					
14.03.	Fri	Lahti/ FIN	HS 130, Compact		
15.03.	Sat	Lahti/ FIN	HS 130, Team Sp		
16.03.	Sun	Lahti/ FIN	HS 130, IG 10km		

FIS Nordic Junior World Ski Championships Lake Placid (USA) 10-16.02.2025

FISフリースタイルスキーワールドカップカレンダー 2024/2025

女子 / 男子

Date	Day	Site	NAT	MO	DM	AE	AET	AES	Notes
November 24 30.	Sat	Ruka	FIN	30					
December 24 06.-07.	Fri-Sat	Idre Fjäll	SWE	06	07				
13.-14.	Fri-Sat	Alpe d'Huez	FRA	13	14				
20.-21.	Fri-Sat	Bakuriani	GEO	20	21				
January 25 18.-19.	Sat-Sun	Lake Placid	USA			18	19		
24.-25.	Fri-Sat	Waterville Valley	USA	24	25				
25.-26.	Sat-Sun	Lac-Beauport	CAN			25/26			
31.-01.	Fri-Sat	Val St. Come	CAN	31	1				
February 25 06.-08.	Thu-Sat	Deer Valley	USA	06	08	07			
21.-24.	Thu-Mon	Beidahu	CHN	21	22	23	24		
28.-02.	Fri-Sun	Almaty	KAZ	28	01	02			
March 25 11.-13.	Thu-Sun	Livigno	ITA	11	12	13			
17.-30.	Mon-Sun	Engadin	SUI	18Q/19F	21	29Q/30F	27		WSC

スノーボードアルペンFISワールドカップカレンダー2024/2025

女子 / 男子

Date	Day	Site	NAT	PGS	PGS Team	PSL	PSL Team	Notes
November 24								
30.-01.	Sat-Sun	Mylin	CHN	30		01		
December 24								
07.-08.	Sat-Sun	Yanqing (NASC)	CHN	07		08		
12.	Thu	Carezza	ITA	12				
14.	Sat	Cortina d'Ampezzo*	ITA	14				
21.	Sat	Davos	SUI			21		
January 25								
11.	Sat	Scuol	SUI	11				
14.-15.	Tue-Wed	Bad Gastein	AUT			14	15	
18.-19.	Sat-Sun	Bansko	BUL	18/19				
25.	Sat	Rogla	SLO	25				
February 25								
15.-16.	Sat-Sun	Val St. Come	CAN	15/16				
March 25								
01.-02.	Sat-Sun	Krynica	POL	01/02				
15.-16.	Sat-Sun	Winterberg	GER			15	16	
20.-23.	Sun-Sun	Engadin /St. Moritz		20		22	23	WSC
Locations 12 / Nations 09 / Competitions 36				12/12		05/05	02	

スノーボードクロスFISワールドカップカレンダー2024/2025

女子 / 男子

Date	Day	Site	NAT	SBX	SBX Team	Notes
December 24						
13.-14.	Fri-Sun	Cervinia	ITA	13-14		
20.-22.	Fri-Sun	TBC	Asia	20-21/22		
January 25						
23.-25.	Fri-Sat	Dolni Morava	CZE	23-24	25	
February 25						
14.-15.	Fri-Sat	Cortina d Ampezzo	ITA	14-15		
March 25						
28.-02.	Fri-Sun	Erzurum	TUR	28-01	02	
07.-09.	Fri-Sun	Gudauri	GEO	07-08/09		
20.-22.	Thu-Sat	Montafon	AUT	20-21	22	TBC
28.- 29.	Sun-Sun	Engadin /St. Moritz		28	29	WSC
April 25						
04.-06.	Sat-Sun	Mt. St. Anne	CAN	04-05/06		
Locations 8 / Nations 7 / Competitions 25				11/11	03	

Note: 1) 10 = 10th Quali+Final date, 2) 09-11 = 09th Qu -11th Fin date, 3) 09/11 = 09 Qu+Fin/11 Qu+Fin, 4) 09-11/12 = 09thQu-11th Fin/ 12 Fin dates)

スキークロスFISワールドカップカレンダー2024/2025

女子 / 男子

Date	Day	Site	NAT	SX	SX Team	Notes
December 24						
10.-13.	Tue-Fri	Val Thorens	FRA	10-11-12/13		Reserve Day 14.12. Night Event Reserve Day 22.12.
16.-17.	Mon-Tue	Arosa	SUI	16-17		
19.-21.	Thu-Sat	Innichen	ITA	19-20/21		
January 25						
14.-17.	Tue-Fri	Reiteralm	AUT	14-15-16/17		
21.-24.	Tue-Fri	TBD	EUR	21-22-23/24		
30.-02.	Thu-Sun	Veysonnaz	SUI	30-31-01/02		
February 25						
06.-09.	Thu-Sun	Val di Fassa	ITA	06-07-08/09		
26.-01.	Wen-Sat	Gudauri	GEO	26-27-28/01		
March 25						
12.-15.	Wed-Sat	Craigleith	CAN	12-13-14/15		
21.-23.	Fri-Sun	Engadin	SUI	21-22	23	WSC
28.-30.	Fri-Sun	Idre Fjäll	SWE	28-29/30		Finals
Locations 10 / Nations 7 / Competitions 38				19/19		

Note: 1) 10 = 10th Quali+Final date, 2) 09-11 = 09th Qu -11th Fin date, 3) 09/11 = 09 Qu+Fin/11 Qu+Fin, 4) 09-11/12 = 09th Qu-11th Fin/ 12 Fin dates)

スノーボード フリースキー / パーク&パイプ FISワールドカップカレンダー 2024/2025

女子 / 男子

Date	Day	Site	NAT	Freeski			Snowboard			Notes
				HP	SS	BA	HP	SS	BA	
September 30.-01 07.-08.	Fri-Sun Sat-Sun	Cardrona Cardrona	NZL NZL	07-08				30-31-01		
October 24 18.-19.	Fri-Sat	Chur	SUI			18			19	
November 24 22.-23. 29.-01.	Fri-Sat Fri-Sun	Stubai Beijing	AUT CHN		22-23	29-01			30-01	
December 24 04.-07. 18.-21.	Wed-Sat Wed-Fri	Secret Garden Copper	CHN USA	05-07 19-21			06-08 18-20			
January 25 03.-05. 09.-11. 14.-18.	Fri-Sun Thu-Sat Tue-Sat	Klagenfurt Kreischberg Laax	AUT AUT SUI		14-15-17	03-04 09-10	17-18	15-16-18	03-05 09-11	
February 25 30.-06. 14.-15. 20.-22. 19.-22.	Thu-Thu Fri-Sat Thu-Sat Wed-Sat	Aspen Calgary Stoneham Calgary	USA CAN CAN CAN	31-02 14-15	30-01 20-21-22	04-06	30-01 19-21	31-02 20-21-22	05-06	Res D Res D
March 25 11.-14. 13.-14.	Tue-Fri Thu-Fri	Tignes TBD	FRA TBD		11-12-14	11-12-13		13-14		
17.-30.	Wed-Sun	St. Moritz	SUI	28-30	19-20-22	26-27-29	27-29	20-21-23	25-26-28	WSC
16 Locations / 08 Nations / 62 Competitions				05/05	05/05	06/06	04/04	06/06	05/05	

Note: * Night Finals

Annex 22 競技役員の任命

22.1 ジュリーメンバーおよび世界選手権大会組織委員会主要役員の任命

各技術委員会は、対応するジュリーメンバーおよび技術役員の推薦案を提出した。以下一覧は、以前に任命された者と、新たに提案された者を太字で示している:

2025年FISノルディック世界選手権大会, トロンハイム (ノルウェー)

クロスカントリースキー

Technical Delegate 1 st week	Anna Rosa, ITA
TD Assistant 1 st week	Thomas Unterfrauner, AUT
Technical Delegate 2 nd week	Thomas Unterfrauner, AUT
TD Assistant 2 nd week	Anna Rosa, ITA
Jury Member	Seraina Mischol, SUI
Jury Member	Martins Niklass, LAT

スキージャンプ

Technical Delegate	Aljosa Dolhar, SLO
TD Assistant	Andi Bauer, GER
TD Assistant	Suzanne Tahk, EST
Judges	Ole Walseth, NOR Jiri Parma, CZE Olaf Beyer, GER Sandro Samburgo, ITA Fabrice Piazzini SUI Steve Sydow USA

ノルディックコンバインド

Technical Delegate	Matija Stegnar, SLO
TD Assistant	Jana Koziskova, CZE
Medical Supervisor	tbc

パラクロスカントリースキー

Technical Delegate	Ingela Kälvedal, SWE
TD Assistant	Seraina Mischol, SUI
Jury Member	Laurence Roux, FRA
Adaptive Equip. Controller (Classification)	tbc

2025年FISアルペンスキー世界選手権大会, ザールバッハ (オーストリア)

Technical Delegate Women	Lisa Ferguson, CAN
Jury Women	Assia Ilieva, BUL Martin Kupco, SVK Andreas Fischer, GER

Technical Delegate Men
Jury Men

Franz Hofer, SUI
Thomas Sjödin, SWE
Francois Simond, FRA
Rainer Senoner, ITA

Medical Supervisor

2025年FISスノーボード/フリースタイル/フリースキー世界選手権大会, エンガディン (スイス)

Technical Delegate Moguls/Aerials
Technical Delegate Cross
Technical Delegate Halfpipe
Technical Delegate Slopestyle
Technical Delegate Big Air
Technical Delegate SB Alpine
Start Referee Ski Cross
Finish Referee Cross
Course Advisor Ski Cross
Finish Referee SB Alpine
Start Referee SB Alpine
Start Referee SB Cross
Course Advisor SB Cross

Thomas Schaefer, USA
Vakhtang Kopadze, GEO
Konstantin Mincev, BUL
Paco Krom, NED
Adelasia Zitta, ITA
John Jett, USA
Anne Patricia Gugger, SUI
Vivian Mottet (SUI)
Bastien Midol (FRA)
Peter Bättschi, (SUI)
Roland Horn, AUT
Bell Berghuis, NED
Fabien Gontier, ITA

Equipment Control

Markus Malsiner, ITA

Head Judge AE **and Judge MO**
Head Judge MO **and Judge AE**
Judges MO

Tina 田中 Sundekvist, JPN
Alberto Orsatti, ITA
Tina 田中 Sundekvist, JPN (replaces Pavla Slaba, CZE)
Gaspard Rubin, FRA
Martin Carr, GBR
Alexandra Krieger, GER
Nicole Gafner-Bumann, SUI
Jörgen Eriksson, SWE
Chuck Search, USA

Judges AE

Daniel Murphy, CAN
Alberto Orsatti, ITA (replaces David Morris, AUS)
Akmarzhan Kalmurzayeva, KAZ
(replaces Olga Polyuk, UKR)
Emily Lauer-Cook, USA (replaces Peter Medulics, HUN)
Sen Qiu, CHN
Dmitriy Kavunov, UZB

Video Control AE

Head Judge Snowboard
Judges

Adam Begg, AUS
Iztok Sumatic, SLO
橋本 涼, JPN
Julien Haricot, FRA
Geoff Peterson, CAN
Andrin Regli, SUI
Gareth Vogan, GBR
Fredrik Westman, SWE

Head Judge Freeski
Judges

Mark Koelker, USA
Arianna Cau, ITA

Jason Arens, USA
Tobias Gratz, AUT
Anton Björklund, SWE
Florian Brändli, SUI Elliot
Carter, CAN
Jonas Fjelstad, NOR (replaces Lars
Lomsdalen, NOR)
Antonin Ferrari, FRA Dane
Kirk, NZL
Will Tucker, GBR
Erin Young, USA

2025年パラ冬季競技世界選手権大会

Para Alpine Skiing

Technical Delegate
Jury Member
Jury Member

Simone Carzeri, ITA
Bostijan Andric, SLO
Yohann Taberlet, FRA

Para Cross-Country

Technical Delegate
Technical Delegate Assistant
Jury Member
Adaptive Equipment Controller (Classification)
Equipment Controller

Torbjorn Broks Pettersen, NOR
Hans Peter Neeser, SUI
Sebastian Scholz, AUT
Sue Sandwick, USA FIS
tbc

Para Snowboard

Technical Delegate SBX
Technical Delegate BSL

Christoph Arndt, AUT
Lukasz Ligocki, POL

Jury Member
Jury Member
Jury Member

Olga Zinkiv, UKR
Wolfgang Steinberger, AUT
Memet Guney, TUR

2025年FISアルペンスキージュニア世界選手権大会, タルビジオ (イタリア)

Technical Delegate Women
Technical Delegate Men

Edin Terzic, BIH
Jordi Fius, AND

Medical Supervisor

2025年FISフリースタイルジュニア世界選手権大会, アルマティ (カザフスタン)

Technical Delegate

Matevz Stanovnik, SLO

Head Judge:

Martin Carr, GBR
Alexandra Krieger, GER
Dejan Ladic, SLO
喜瀬 圭太, JPN
Josep Maria Puig Crisol, ESP Yuliya
Degteva, KAZ

Video Control:

**Kalmurzayeva Akmarzhan, KAZ Gaspard
Rubin, FRA
Jackson Comben, AUS
Dmitriy Kavunov, UZB**

2025年冬季ユニバーシティゲームス, トリノ (イタリア)

Cross-Country Skiing

Technical Delegate

Uros Poinikvar, SLO

TD-Assistant

Ingela Kälvedal, SWE

Alpine

Technical Delegate Women

Jelena Lolovic Sechaud, FRA

Technical Delegate Men

Thomas Pool, SUI

Snowboard, Freestyle & Freeski

Technical Delegate Park & Pipe

Lukasz Ligocki POL

Technical Delegate Snowboard Alpine

Fredrik Bergström, SWE

Technical Delegate Cross

Iztok Kvas, SLO (replaces Helmuth
Lexer, AUT)

Technical Delegate MO/DM

Minna Karhu, FIN

Head Judge Snowboard

Filip Fischer, SWE

Judges

Jackie Carlson, CAN

Mario Winkelmann, GER Ivan

Ivanov, BUL

Pavel Pawluczuk, POL

Daniele Ricci, ITA Philippe

Ramseyer SUI

Head Judge Freeski

Florian Müller, GER

Judges

Hugo Sorrel, FRA

Max Obwaller, AUT

Michael Kennedy, USA

Kilian Morone, ITA Scott

Naismith, GBR Alex

Benz, SUI

Head Judge Moguls/Dual Moguls

Marko Klančar, SLO

Judges

Yuliya Fominykh, ARM

Real Robichaud, CAN

Petri Anttila, FIN Marion

Kohly, FRA Alberto

Orsatti, ITA

2025年ヨーロッパユースオリンピック冬季競技大会, バクリアニ (ジョージア)

Snowboard/Freeski

Technical Delegate Slopestyle/Big Air

Iren Mashova, BUL

Head Judge Freeski

Adrian Gaiser, GER

Judges

Hugo Sorrel, FRA

Bjorn Brovik, NOR

	Killian Morone, ITA Scott Naismith, GBR Felix Bjorndahl, SWE Alex Benz, SUI
Head Judge Snowboard Judges	Spiken Jones, SWE Marin Sladkarov, BUL Ivan Ivanov, BUL Kristian Tomancik, SVK Jacek Milas, POL Yannick Messmer, SUI Marcin Kolasinski, POL
<u>Alpine</u> Technical Delegate Women Technical Delegate Men	Janka Gantnerova SVK Reinhard Ebner AUT

2025年FISノルディックジュニア世界選手権大会スキパリオ (イタリア)

<u>Cross-Country Skiing</u> Technical Delegate TD Assistant	Gregor Mali, SLO Pinja Ojanen, FIN
Jury Member	Dmitriy Kolomeyets, KAZ

2025年FISノルディックジュニア世界選手権大会, レイクプラシッド(アメリカ)

<u>Ski Jumping</u> Technical Delegate TD Assistant	Bauer Andi, GER Tahk Suzanne, EST
Judges	USA Keuler Matt EST Tasane Vahur SVK Stano Peter SLO Ograjensek Luka KOR Mun Johnson ITA Dunnhofer Matteo
<u>Nordic Combined</u> Technical Delegate TD Assistant	Daniel Köhler, GER Vesa Koppinen, FIN
Medical Supervisor	tbe

2026年オリンピック冬季競技大会, ミラノ・コルティナ (イタリア)

Alpine

Technical Delegate Women
Jury Women

Paul Van Slyke, USA
Stefano Pirola, CHI
Anneli Richardsson, SWE
Petra Eberle, SUI

Technical Delegate Men
Jury Men

Thomas Braun, GER
Enrique Diaz, ESP
Janez Dekleva, SLO Olav
Skjotskift, NOR

Equipment Control Men
Equipment Control Women

Mike Kertesz, FIS
Andi Krönner, FIS

Cross-Country Skiing

Technical Delegate 1st week
TD Assistant 1st week

Jakub Tejchman, CZE
Marte Trondsen, NOR

Technical Delegate 2nd week
TD Assistant 2nd week

Marte Trondsen, NOR
Jakub Tejchman, CZE

Jury Member
Jury Member

Mikko Rantanen, FIN
Mathieu Fort, FRA

Ski Jumping

Technical Delegate
TD Assistant
TD Assistant

Jelko Gros, SLO
Georg Späth, GER
Jessica Jerome/ Alissa Johnson, USA

Judges

Giovanna Comina/ Martino De Crignis, ITA
Johansson Kelly / Tanaka Shynia CAN
Hellauer Werner / Knoll Peter GER
Grand Chavin Bruno / Gay Jerome FRA
David Piguet/ Rico Parpan, SUI
Marit Stub Nybelius / Per Busk SWE

Nordic Combined

Technical Delegate
TD Assistant

Günter Csar, AUT
Stanislav Jirasek, CZE

Snowboard, Freestyle & Freeski

Technical Delegate Moguls/Aerials
Technical Delegate Cross
Technical Delegate Halfpipe
Technical Delegate Slopestyle
Technical Delegate Big Air
Technical Delegate SB Alpine
Equipment Control

Andy Stein, CAN
Anne-Patricia Gugger, SUI
Heejin Park, KOR
Konstantin Mincev, BUL
Paco Krom, NED
Wolfgang Steinberger, AUT
TBD

Head Judge Snowboard
Judges

Adam Begg, AUS
Iztok Sumatic, SLO

	橋本 涼, JPN
	Julien Haricot, FRA Geoff Peterson, CAN Andrin Regli, SUI Gareth Vogan, GBR Fredrik Westman, SWE Mark Koelker, USA Arianna Cau, ITA
Head Judge Freeski Judges	Jason Arens, USA Tobias Gratz, AUT Elliot Carter, CAN Anton Björklund, SWE Jonas Fjelstad, NOR Florian Brändli, SUI Dane Kirk, NZL Victoria Beattie, AUS William Tucker, GBR Antonin Ferrari, FRA
Head Judge Aerials Head Judge Moguls/Dual Moguls Judges Moguls / Dual Moguls	Marko Klančar, SLO Alberto Orsatti, ITA Zoe Jabor, AUS Pipsa Pohjavirta, FIN Marion Kohly, FRA 伊藤 創, JPN Yuliya Degteva, KAZ Jörgen Eriksson, SWE Chuck Search, USA Daniel Murphy, CAN Sen Qiu, CHN Nicole Gafner-Bumann, SUI Olga Polyuk, UKR Emily Cook Lauer, USA Dmitriy Kavunov, UZB
Judges Aerials	
Video Control AE	

2026年パラリンピック冬季競技大会, ミラノ・コルティナ (イタリア)

Para Alpine	
Technical Delegate Women	Hermann Putz, AUT
Technical Delegate Men	Dider Bonvin, SUI
Start Referee	Paul Trainer, GBR
Finish Referee	Yohan Taberlet, FRA
Video Control	Liu Jin - CHN
Equipment Controller	Matjaz Vrecl, FIS

Para Snowboard

Technical Delegate SBX	Christoph Arndt, AUT
Technical Delegate BSL	Lukasz Ligocki, POL
Referee	Wolfgang Steinberger, AUT
Start Referee	Olga Zinkiv, UKR
Finish Referee	Memet Guney, TUR
Video Control SBX	Lukasz Ligocki, POL
Video Control DBSL	Christoph Arndt, AUT
Equipment Controller	TBC

Para Cross-Country

Technical Delegate	John Aalberg, CAN
Technical Delegate Assistant (CC)	Ingela Kälvedal, SWE
Jury Member	Alexandr Velechshuk, GER
Adaptive Equipment Controller (Classification)	Sue Sandwick, USA
OVR Race Administrator	tbc
FIS Equipment Controller	tbc

2026年スキーフライング世界選手権大会, オーバーストドルフ (ドイツ)

Technical Delegate	Dolhar Aljosa, SLO
TD Assistant	Gréger Ivo, CZE
TD Assistant	Brenden Kristian, NOR
Judges	
GER	
CAN	
ITA JPN	
POL	

Dmitriy Kolomeyets, KAZ

2026年FISノルディックジュニア世界選手権大会, トロンハイム (ノルウェー)

Cross-Country Skiing
Technical Delegate TD
Assistant

Jury Member Ski
Jumping
Technical Delegate
TD Assistant

Judges
Nordic Combined
Technical Delegate
TD Assistant

Koziskova Jana, CZE
Koppinen Vesa, FIN

2027年FISノルディック世界選手権大会, ファールン (スウェーデン)

Cross-Country Skiing

Technical Delegate 1st week

Mikko Rantanen, FIN

TD Assistant 1st week

JiYoung Bae, KOR

Technical Delegate 2nd week

JiYoung Bae, KOR

TD Assistant 2nd week

Mikko Rantanen, FIN

Jury Member

Doug Debold, USA

Jury Member

Ski Jumping

Technical Delegate

Hlava Josef, CZE

TD Assistant

TD Assistant

Judges

SWE

AUT

CAN

FIN

JPN

POL

Nordic Combined

Technical Delegate

Roggia Andrea, ITA

TD Assistant

Koppinen Vesa, FIN

Medical Supervisor

tbc

2027年FISアルペンスキー世界選手権大会, クランモンタナ (スイス)

Technical Delegate Women

Judith Lluent Vallet, ESP

Jury Women

Bojan Panovski, MKD

Sarah Chapman, NZL

Technical Delegate Men

Fred Comte, FRA

Jury Men

Roland Johansson, NOR

Hans Schneider, AUT

23.2 世界選手権大会組織委員会主要役員の任命

各大会組織委員会は、様々な役職について以下の通り新たな提案を行い、各FIS大会マネジメントに置いて検討された(新たな提案は**太字**で示している):

2025年FISアルペンスキー世界選手権大会, ザールバッハ (オーストリア)

Head of sports

Bartl Gensbichler sen.

Projetmanager sports

Ulrich Hochkogler, Bsc.

Chief of Competition Speed women

Bartl Gensbichler jun.

Chief of Competition Speed men

Rudolf Zeller

Chief of Competition Tech. women

Bartl Gensbichler jun.

Chief of Competition Tech. men

Rudolf Zeller

Race Secretary

Gerhard Auinger

Chief of Course Speed women
Chief of Course Speed men

Fritz Steger jun.
Fritz Steger sen.

2025年FISスノーボード/フリースタイル/フリースキー世界選手権大会, エンガディン (スイス)

Head of Competition Corvatsch
Head of Competition Olympic Jump/Big Air
Head of Competition Corviglia
Competition Center
Lodging & Guest Management
Accreditation
Logistics
Venue Corvatsch Head of Competition
Slopestyle Chief of Competition
Chief of Course
Halfpipe Chief of Course
Chief of Course
Chief of Competition Big Air
Chief of Course
Deputy Head of Competition
Chief of Slopes
Deputy Chief of Slopes
Cross Chief of Competition
Deputy Chief of Competition
Moguls Chief of Competition
Deputy Chief of Competition
Snowboard Alpine Chief of Competition
Deputy Chief of Competition
Aerials Chief of Competition
Deputy Chief of Competition

Paolo La Fata
Martin Berthod
Robin Miozzari
Angela Nussbaum
Deborah Groeble
Bettina Baumann
Guido Mittner
Paolo La Fata
Eliane Reusser
Andy Willy
Rudolf von Gunten
Gian Andri Giger
Martin Berthod
Kobi Wuersch
Sandro Künzler
Reto Bieri
Erwin Graf
Urs Elmer
TBA
Giulio Dioli
TBA
Guido Van Meel
TBA
Manuela Müller
Andreas Isoz

2025年冬季ユニバーシティゲームス, トリノ (イタリア)

Alpine Skiing

Chief of Competition Speed
Chief of Competition Tech.
Race Secretary
Chief of Course Speed
Chief of Course Tech.

Roberto Guiffre
Aldo Garnier
Diego Chiavegato
Dario Borsotti
Dario Borsotti

2026年オリンピック冬季競技大会, ミラノ・コルティナ (イタリア)

Alpine Skiing

Cortina

Chief of Competition Speed
Chief of Competition Tech.
Race Secretary

Matteo Gobbo
Matteo Gobbo
Martina De Sandre

Chief of Course Speed
Chief of Course Tech.

Davide Viel
Davide Viel

Bormio

Chief of Competition Speed
Chief of Competition Tech.
Race Secretary
Chief of Course Speed
Chief of Course Tech.

Maurilio Alessi
Maurilio Alessi
Michela Martinelli
Ciro Sertorelli
Ciro Sertorelli

2027年FISアルペンスキー世界選手権大会, クランモンタナ (スイス)

Chief of Competition Speed
Chief of Competition Tech.
Race Secretary
Chief of Course Speed
Chief of Course Tech.

TBD in spring 2025
TBD in spring 2025
TBD in spring 2025
TBD in spring 2025
TBD in spring 2025

* * *

附則 10.1.1 - アルペン委員会からの提案 (v.14.10.2024)

アルペン委員会は、FIS 評議員会の承認を得るために以下の提案事項を上程した。

執行委員会

執行委員会は、FIS 評議員会が IOC に対し、2030 年冬季オリンピックでも男女混合チームパラレルを再度導入し、北京五輪 2022 と同数の競技実施を要請することを強く要望した。

アルペン競技規則小委員会

競技委員長

601.4.2.4 競技委員長は、開催国スキー連盟に所属していただけない。しているべきである。

アルペンワールドカップ小委員会

4.1.2

到着/出発

主催者は、ワールドカップのルールに従って、宿泊費と食事代（3食）のみを支払う必要があります。

第 4.4 条に従ってチームリーダーが早めの到着日を要求した場合のみ、期間について主催者と合意することができます。いずれの場合も、上記の規定を延長することはできません。

早めの到着または遅めの出発による追加費用は、チームが支払う必要があります。

遅めの到着または早めの出発の場合において補償の権利はありません。必要な場合においては、チーフレースディレクターが特別な合意内容を決定できます。

選手 (第 3.3 条 - 第 3.5 条による) および役員 (第 4.2 条による) の遅めの到着および/または早めの出発は、チームがホテルへの公式到着日の 2 日前 (48 時間) またはホテルからの公式出発日の 2 日前 (48 時間) までに書面で主催者に通知した場合、キャンセル料として請求することはできません (公式到着日と出発日は FIS の Web サイトにて公開)。

~~費用の支払い期間中 (4.1.2 による) に、主催者に 2 日以内に通知された場合。~~

実際にキャンセルした場合はチームに請求されます。

チームキャプテンの要求に応じて、主催者（またはホテル）は、通常の決済が行われた後に確認書を渡す必要があります。確認書は FIS オンラインシステムに登録されたグループに対して有効です。

アルペン ノルアムカップ小委員会

NAC. 3.1.3 カップポイントの有効性

最終 NASL (ノルアムスターティングリスト) は、次のシーズンに、第 3.1.4 条で定義された内容の有効性で使用されます。これは最初のレースに有効なランキングとして採用されます。各イベントで最初のレース以降に獲得したカップポイントは、前シーズンの残りの NASL ポイントに加算されます。

~~競技者が負傷のため 10 月 15 日から 4 月 15 日までの期間にどのレースにも出場しなかった場合、全米スキー協会は、次のシーズンの NASL で負傷者としてのステータスの承認を申請できます。申請は遅くとも 4 月 30 日までに提出する。~~

~~負傷者としてのステータスが承認された場合、競技者は次のシーズンの各イベントの NASL に追加されず (前シーズンの最終順位で)。~~

競技者の負傷状態が FIS アルペンポイント 4.6.1 および 4.6.1.1 の規則に従って承認され、負傷がシーズン中の NAC 3.1.4 条および基本リスト (NASL) がまだ有効であった時点に遡る場合、競技者は負傷日時点の順位で次のシーズンの各イベントの NASL に追加されます。

附則10.1.2 – 提案と要請 ノルディック委員会

FISクロスカントリー委員会からの提案

FISクロスカントリー委員会は、FIS理事会の承認を得るために以下の提案を提出する。

ローラースキー:

**THA（タイ）、TPE（台北）、KRG（キルギス）、KAZ（カザフスタン）の
アジアスキー連盟からの提案。**

1. ローラースキー競技シリーズ **FISアジアローラースキーカップ**を設立します。

2025年のカレンダーの草案:

- 7月5日～7月10日(タイ)
- 8月3日～8月8日(日本)
- 9月1日～9月9日(カザフスタン)

2. FISアジアローラースキー選手権大会を**2026年夏から2年に一度**開催する。

どちらの提案もクロスカントリー委員会によって支持された。

FISクロスカントリー委員会からの提案

FISクロスカントリー委員会は、FIS理事会の承認を得るために以下の提案を提出する。

ワールドカップルール:

2.2.4 コンチネンタルカップ（COC）リーダーまたは勝者のための追加枠

前シーズンのコンチネンタルカップの総合優勝者は、次のシーズンのワールドカップ第一ピリオッドからスタートする権利がある。

競技者は、各国スキー連盟が加盟している地域でのみコンチネンタルカップを通じて出場権を得る資格があります。ワールドカップ予選の勝者または競技者が他の地域から来た場合、個人のスタート枠は、当該コンチネンタルカップの最高位の競技者に与えられる

以下の各国スキー連盟は、コンチネンタルカップを通じてその出場資格を得ることができる。

- オーストラリア、ニュージーランド
- ANC (オーストラリア・ニュージーランドカップ)
- アルバニア (ALB)、ボスニアヘルツェゴビナ (BIH)、ブルガリア (BUL)、クロアチア (CRO)、マケドニア (MKD)、モンテネグロ (MNE)、ギリシャ (GRE)、モルドバ (MDA)、ルーマニア (ROU)、スロベニア (SRB)、トルコ (TUR) - BC(バルカンカップ)
- カザフスタン(KAZ) - EEC(東ヨーロッパカップ)
- 中国(CHN)、イラク(IRA)、日本(JPN)、韓国(KOR)、モンゴル(MGL)、北朝鮮(PRK)、台湾(TPE)、ウズベキスタン (UZB) - FEC(ファーイーストカップ)
- カナダ (CAN - NAC (ノースアメリカンカップ)
- アンドラ (AND)、チェコ (CZE)、ドイツ (GER)、スイス (SUI)、フランス (FRA)、スペイン (ESP)、オーストリア(AUT)、イタリア(ITA)、リヒテンシュタイン (LIE)、スロベニア (SLO) - FESA (フェッサカップ)
- デンマーク (DEN)、アイスランド (ISL)、ノルウェー (NOR)、スウェーデン (SWE)、フィンランド (FIN)、エストニア (EST)、ラトビア (LAT)、リトアニア (LTU)、IRL (アイルランド)、GBR (イギリス) - SCAN (スカンジナビアカップ)
- スロバキア (SVK)、ポーランド (POL)、ハンガリー (HUN)、UKR (ウクライナ) - SC(スラビックカップ)
- アメリカ - UST (アメリカスーパーツアー)
- アルゼンチン (ARG)、ブラジル (BRA)、チリ (CHI) - SAC(南アメリカカップ)

2.4 選手の団体戦出場枠

各国は2チームをエントリーする権利がある。混成チーム(異なる国による)は、すべての各国スキー連盟に許可される。

~~2つ以上のNSA(国家)が1つのチームを結成することはできません。~~

すべてのアスリートは、有効なFISコード番号を持ち、過去365日間に少なくとも1つの結果が出場基準を上回るまたは到達している必要がある。

- リレーの場合:各ワールドカップで有効なFISポイントリスト上の150ディスタンスポイント以下のFISポイント
- チームスプリントの場合:各ワールドカップで有効なFISポイントリスト(ディスタンスまたはスプリント)で150FISポイント以下 – 2.1.1を参照

2.6.3 女性スタッフのための追加コースビブ

女性専用で最大2枚の追加コースビブが各国に提供される。ビブは、ワールドカップで女性のコーチやテクニカルスタッフを育成し、任命することを各国に奨励することを目的としている。

女性スタッフ	エキストラビブの数
<u>米国</u>	<u>2</u>
<u>カナダ</u>	<u>2</u>
<u>ドイツ</u>	<u>2</u>
<u>スイス</u>	<u>2</u>
<u>フランス</u>	<u>2</u>
<u>韓国</u>	<u>1</u>
<u>ノルウェー</u>	<u>2</u>
<u>オーストリア</u>	<u>1</u>
<u>スウェーデン</u>	<u>2</u>
<u>フィンランド</u>	<u>1</u>
<u>スロベニア</u>	<u>2</u>

2.6.4 各国間の協力のための追加コースビブ

協力協定に署名する国には、最大2枚の追加コースビブが用意されています(協力国の数に関係なく、協力協定ごとに最大2枚のビブ)。

国家間の協力のための追加のコースビブの割り当ては、シーズン中に2回行われる。

まず、FISクロスカントリーワールドカップのシーズンが始まる前に、協力のための追加のコースビブの数が割り当てられる。「ビッグチーム」の追加ビブの割り当ては、「スモールチーム」が2023/24シーズンに参加したワールドカップの週末の数(少なくとも週末に1回、性別1回)に応じて決定される。

~~「ビッグチーム」は、以下の方法で協力のためにビブを使用することが許可される。~~

次に、前回のワールドカップ第3ピリオッド終了後、チーム間の協力関係を更新するための再計算が行われる。有効なビブの数は、同じ出場率に基づく。この割り当ては、ワールドカップシーズンの残りの期間(WSC 2025を含む)も有効です。2024/25ワールドカップシーズンでは、以下のパートナーシップが承認されている。

協力国	エクストラビブ数	
	<u>パーマナント</u>	<u>一時的</u>
<u>アメリカ + オーストラリア</u>	<u>2</u>	
<u>カナダ + 韓国 - 未定</u>		<u>1</u>
<u>スイス+リヒテンシュタイン</u>		<u>1</u>
<u>フィンランド+エストニア</u>	<u>2</u>	
<u>フランス + アンドラ</u>	<u>1</u>	
<u>チェコ+ポーランド + スロバキア</u>	<u>2</u>	
<u>ノルウェイ + イギリス</u>	<u>2</u>	
<u>オーストリア + ハンガリー</u>		<u>1</u>
<u>イタリア + アルゼンチン + スペイン + タイ</u>	<u>2</u>	

マススタートレースでのワールドカップポイントのボーナス

最初の10人の選手は、以下に記載されているように、定められたボーナスポジションで次のワールドカップポイントを獲得する。

1位 =	15ポイント	6位 =	5ポイント
2位 =	12ポイント	7位 =	4ポイント
3位 =	10ポイント	8位 =	3ポイント
4位 =	8ポイント	9位 =	2ポイント
5位 =	6ポイント	10位 =	1ポイント

これらのワールドカップポイントが授与されるためには、競技者は競技を完了する(フィニッシュラインに到達する)必要がある。

マススタートレースでのワールドカップのボーナスポイントは、ディスタンスポイントとワールドカップ総合ポイントにカウントされる。

選手が中間スプリントでトップ10にランクインし、競技を終えなかった場合でも、中間スプリントの順位とボーナスポイントは他の選手にとっては同じままです。完走しなかった選手が獲得したポイントの再配分は行われません。

失格(DSQ)の場合、競技者はその大会で獲得したボーナスワールドカップポイントを失う。

すべてのマススタートレースにおいて、追加のボーナスポジションは以下のように実施される。FIS ツール・ド・スキーには特別ルールが適用される。

レースの長さ	ボーナスポジションの数
10kmまで	1
11 - 20 キロ	2
30キロ	4
50キロ	6

~~ステージレースでは、コンペティションごとに最大2つのボーナスポジションが可能。~~

FIS Tour de Skiのボーナスポジション

ボーナスポジションについては、FIS ツール・ド・スキールールをご覧ください

6.2

レッドグループおよびCOCアスリートの旅費

旅費は、第6.2.1条の表に従って計算される。

ディスタンスとスプリントの種目があるワールドカップのステージ

旅費は、選手が両方のレッドグループリストに属している場合、1回のみ支払われます。

2024/25シーズンでは、以下を除くすべてのワールドカップステージに関係する。

タリンワールドカップ

~~旅費は、主催者から最終大会の2週間後にチームに支払われます。~~

チームの払い戻しの支払いは、最後の大会から遅くとも7日後に銀行振込で電子的に支払うか、または地方税法を考慮して、銀行情報を受けた各国スキー連盟（NSA）の銀行口座に転換通貨で受け取る必要がある。

NSAの口座の通貨に換算するには、銀行振込時の実際の銀行レートが適用され、NSAの領収書に記載する必要がある。

LOC（組織委員会）には、遅延金として999スイスフランが最終コンペティション日の31日目から適用される、また各NSA（各国スキー連盟）への支払い遅延ごとに銀行情報を受け取る必要がある。NSAが提供した銀行口座情報が間違っているか欠落しているため、遅延が発生することはこれに含まれない。また、個別のTIN(納税者番号)などを必要とする特別な規制による遅延も除外される。

旅費の領収書は、OCによる最後の大会の2日後遅くとも7日以内に、NSAのヘッドコーチと各チームの連絡先に郵送する必要がある。

3.4.5

通貨と送金の期限

~~賞金は、選手の銀行口座の通貨で送金する必要があります。賞金は、ワールドカップイベントの最後の大会から遅くとも2週間後に、各アスリートに電子的に支払わなければならない。3週目以降は、支払いごとに999スイスフランの遅延料が主催者に適用されます。これから除外されるのは、銀行口座情報が間違っているか欠落しているため、遅延することである。~~

賞金の支払いは、最後の大会から7日後に銀行振込で電子的に支払うか、または地方税法を考慮して各選手の銀行口座に換金通貨で銀行情報を受け取り支払われる必要がある。

選手の口座の通貨に両替するには、銀行振込時の実際の銀行レートが適用され、選手の領収書に記載する必要がある。

LOCには、最終競技日の31日目からLOCに適用されるか、各選手に支払い遅延ごとに銀行情報を受け取るか、1回限りの999スイスフランの遅延料が適用される。これから除外されるの

は、銀行が間違っているか欠落しているための遅延である。

アスリートから提供された情報、また、個別のTIN(納税者番号)などを必要とする特別な規制による遅延も除外される。

国際大会のルール (ICR)

303.3.2 ジュリーは、次のことを明確にし、決定を下さなければならない

- 競技会が遅延、延期、中断、再開、再実施、またはキャンセルされるかどうか。
- 安全上の理由から競技コースを調整するか、またはコース沿いに追加の安全対策(フェンス、保護材など)を設置するか
- 遅延したエントリーと選手交代を受け入れることができるかどうか。
- 抗議を受け入れ、制裁または失格を発表すべきかどうか。
- 選手またはコーチに対する制裁を適用するかどうか。
- 特別な場合に出発順と出発方法を変更するかどうか。
- FISルールでカバーされていない質問に対する対応。

凡例：

遅延:協議が予定通りに開始されませんでした、同日遅れて開始される予定である。

例:スタートゲートの故障により競技の開始が遅れた

延期: 競技が定通りに開始されず、新しい日付と開始時間が未定である

例:競技はまだ始まっておらず、気温が-20°Cを下回っているため。 競技は遅れて始まりますが時刻は不明である。

再実施:競技の新しい日付および/または開始時間が決まっています。例:コンペティションはまだ始まっていません。気温が下がっているため

-20°Cの場合、競技は別の日に延期された。

中断:競技の開始後に予定外の中断が発生しました。競技は中止または再開される場合があり、競技者は競技役員の指示に従う必要がある。

例:レースが始まりました。妨害者たちがコースを横切ってロープを引っ張ったため、競技者はこの部分を安全に通過できなかったため、中断された。

再開:予定外の中断後も競技は継続される。競技者は、競技関係者の指示に従わなければならない。例:競技が中断された後(上記参照)、障害物を取り除かれ、競技者は競技を続けることができる。

再スタート：競技またはヒート/ラウンドが再調整され、最初から開始されます。例:個人スプリントまたはチームスプリントの決勝でスタートをやり直すことなどが考えられる。

キャンセル:コンペティションは一切開催されず、再実施も行われない。

325.7 競技中断

325.7.1 選手がまだ競技中に予選ラウンドが中断した場合、そのレースはキャンセルとなる。

中断が一時的なものである場合、ジュリーは競技再開を決定できる。

325.7.2 スプリント競技において、決勝Aで最後の最下位の選手がフィニッシュする前にレースが中断した場合、そのレースはキャンセルとなる。

325.7.3 中断し、キャンセルされたレースがリスケジュール（再実施）された場合、予選ラウンドを再度行わなければならない。

321.7 競技中断

競技者が競技中に競技が中断された場合、競技は中止となります。

中断が一時的なものである場合、ジュリーはレースの再開を決定できる。

315.3 マス・スタートの手順

315.3.1 ジュリーはマススタートの運用を次のように決定できる。

~~実行されなければならない。~~

マス・スタートは、矢じり形のスタート・ラインを使用して実施される。

スタート位置は、ビブ・ナンバーが1番の選手が2番の選手より有利なスタート位置になるように位置する。

各選手のスタート位置は一定の間隔で隔てられる。

ビブ・ナンバー1番の選手は中央のポジションに、偶数番号は1番の右側に、奇数番号は左側に位置する。スタート位置を示す番号札は、各選手のスタート位置（トラック）の右側か中央に設置しなければならない。矢印の形をした角度のある開始線を使用します。これは、スタート番号が1のアスリートが最も有利なスタートポジションを持ち、次にスタート番号2が続くことを意味する。

・ 角度のついたスタートライン(スタートコリドール数が偶数の場合)を使用すると、ナンバーワンはスタートフィールドの左側または右側に最も有利な位置を持つことになります。この場合でも、各競技者は一定の距離間隔で離れている必要があります。

・ フラットラインの使用

326.4.3 決勝

326.4.3.1 決勝のスタート位置は、予選ラウンドのリザルトに基づいて決定する。同タイムがある場合、チームの合計FISポイントにより順位を決め、スタート位置を確定させる。それでもスタート位置が決まらない場合はドローで決定する。

326.4.3.2 決勝に進出するチームの数は15チームである必要があります。

エントリーチームが15チーム以下の場合、ジュリーは予選通過チームの数を減

らるか、予選をスキップ（実施しない）するかを決定できます。

326.4.3.3 予選がなかった場合、リレーチームメンバーのスプリントまたはディスタンスのFISポイントを使用して合計ポイントが最も低いチームが1位としてスタートします。合計ポイントが2番目に低いチームが2位としてスタートし、以下同様にスタートします。

311.2 コース公認

311.2.1 すべてのFISクロスカントリー競技会は、公認コースで実施されるなければならない。例外は、ポピュラー競技会、ローラースキー競技会、マスターズとチルドレン競技会、ジュリーによって承認された場合の代替コースです。

310.3.3 JWSC

JWSCの競技会では、形式、距離、技術は次のようになります

競技フォーマット	距離(男女)
インターバルスタート	10 km F/C*
マススタート	20 km C/F*
スプリント	1.0 – 1.8 km C/F*
ミックスリレー (W /M/W/M/ W)	4 x 5 km C/F

*インターバルスタートとスプリント競技は、毎年交互にテクニクを変えて行います。スプ

リント競技とマススタート競技は、同じテクニクで行われます。

310.3.4 U23 WSC

競技フォーマット	距離(男女)
インターバルスタート	10 km F/C*
マススタート	20 km C/F*
スプリント	1.0 – 1.8 km C/F*
ミックスドリレー (W /M/W/M/ W)	4 x 5 km C/F

*インターバルスタート、マススタート、スプリントの競技は、毎年交互にテクニク

を変えて行います。

310.3.1.1 OWGとWSCの大会の場合、プログラムは次のとおりです。

~~スキーアスロンは、常にクランカルテクニクを最初に使用し、次にフリーテクニクで実施されます。~~

302.1.3.2 組織委員会委員長若しくは副委員長は、外部に対して同委員会代表者となり、同委員会の議長を務め、大会の前後はFIS/SAJと密接に協力し合うものとする。

ICR210参照。

組織委員会は、競技運営と競技の技術面の管理に力量があり、同様にジュリーの

一員として十分に意思疎通を図ることができる人物を競技委員長に任命しなければならない。

競技役員は割り当てられた任務を適切に行える専門家からなるものとする。役員1人に割り当てられる任務は1つのみである。また、役員はユニフォーム、アーム・バンド若しくはバッジなどで、容易にそれと識別されるようにしなければならない。OCの議長またはそのアシスタントは、OCを代表して公衆に発信し、OCの会議の議長を務めます。コンクールの前後には、FISと密接に協力します。

352.2.4 ステージ・イベントおよびパーシュート競技前半の開催期間中は、通常なら失格を科されるような違反に対し、代わりにタイム・ペナルティを科すことができる (ICR353.4.2参照)。失格にするかタイム・ペナルティを科すかは、ジュリーが決める。

チームスプリント競技またはリレー競技ルール、352.4.2を適用できます。

352.3.6 チームスプリント競技では、競技停止処分になると、チームは出走したヒートの最下位となる。ラウンドの。

352.2.3 同一シーズン中に書面戒告を2度受けた選手は、自動的に失格となる。
シーズン中に受けた書面戒告は、JWSC, WSCとOWGの開催期間中は有効と
ならない。JWSC, WSCとOWG大会中に受けた書面戒告は、ROL JWSC、ROL
WSCまたはOWGにはシーズン終了まで有効です。
まで有効である。

396.2.7 安全ヘルメット（e.g. DIN EN 又は同等品）と目を保護するもの（サングラスなど）は公式トレーニング中と競技中は使用しなければならない。
ただしジュリーは、視界が悪くなるような状況では競技者が目の保護具を使用しないことを許可することができる。

396.2.12 大会主催者がローラースキーを提供する場合、この用具をアスリートは使用する必要があります。競技中のローラースキーの交換は、343.12.2と343.12.3に従い、オフィシャル・サービス・ポイント（ボックス）に限って行う。

ツールドスキールール:

一 エントリーと基本ルール

エントリーは一度行う、ツール・ド・スキーの開始前に、すべてのステージで1回のみ提出する必要があります。選手とスタッフの出場枠については、ワールドカップルール第2.2条(選手)および第2.5条(スタッフ)を参照。

登録には、FISのオンラインエントリーシステムを使用する必要がある。アスリートの脱落とホテルの部屋の予約への配慮について、FISレースディレクターと大会のOCに直ちに通知するのは、それぞれのチームの責任である。

ツアーからの脱落/放棄、また失格、1つのレースでのオーバーラップ(マススタートとパシュート)は、ツアーの残りのレース部分からは除外される。

一.一 時間制限

選手は、以下の場合に敗北した場合、ツアーの残りの部分から除外される。
(以下不明)

インターバルスタート(5km以上):

女性4820%以上、男性4520%以上*

プロローグ、短いインターバルスタート(< 5 km):

女性で23%以上、男性で203%以上*

2.2 ボーナス秒数

スプリントとマススタートの競技にはボーナス秒数がある。

ボーナス秒数は、競技者の実際のレースタイムから差し引かれてから、競技者のレースタイムが全体のタイムスコアに加算される。

スプリントレースのボーナス秒数

Top 30の選手がトップ30に入賞した場合、以下のボーナス秒数が与えられます。

60秒	28秒
54秒	= 26 秒
48秒	= 24 秒
46秒	= 22 秒
44秒	順位 = 10 秒
42秒	順位 = 8 秒
32秒	順位 = 6 秒
30秒	順位 = 4 秒

マススタートレースのボーナス秒数

~~マスタートレース中の中間地点での上位10人のアスリートには、以下のボーナス秒数が与えられる。~~

1位=15秒	6位=5秒
2位=12秒	7位=4秒
3位=10秒	8位=3秒
4位=8秒	9位=2秒
5位=6秒	10位=1秒

~~選手が中間スプリントでトップ10位にランタインし、競技を完走できなかった場合、他の選手の中間スプリントの順位とボーナス秒数は同じままです。~~

~~完走しなかった選手が獲得した秒数の再配分は行われない。DSQの場合はこの限りではない。~~

3 ツール・ド・スキー ~~ポイント~~・スプリント・スタンディング

FISツール・ド・スキー ~~ポイント~~・スプリントのスタンディングは、第4条の表に従って、各レースで獲得したポイントに基づいて計算される。

勝者は、~~-~~ツール終了までに最も多くのポイントを獲得した男女各選手となりツアーを完走した選手のみがランク付けされる。

もし選手が中間スプリントでトップ10にランクインし、競技を終えなかった場合でも、中間スプリントの順位とボーナスポイントは他の選手は同じままである。

完走しなかった選手が獲得したポイントの再配分は行われない。失格の場合はこの限りではない。

3. 1 タイブレーカー

同点の場合、出場者は個々の勝利数が最も多い順にランク付けされ、次に最高の結果(つまり、最も多くの2位、最も多くの3位など)によってランク付けされる。同点が残った場合、競技者は結果リストで同じランキングになる。

4 ツール・ド・スキークライミング・スタンディング（ツアー上位優秀選手）

FISツール・ド・スキークライミング・スタンディングは、第4.2条の表に従って、各レースで獲得したポイントに基づいて計算される。

勝者は、ツール終了までに最も多くのポイントを獲得した男女各選手の選手となります。ツアーを完走した選手のみがランク付けされる。

レース中にクライマーズスタンディングポイントを獲得した選手が競技を完走しなかった場合、他の選手が獲得した順位とクライマーズスタンディングポイントは変わらない。

完走しなかった選手が獲得したポイントの再配分は行われません。失格の場合はこの限りではない。

4. 1 タイブレーク

同点の場合、出場者は個人戦の勝利数が最も多い順にランク付けされ、次に最高の結果(つまり、最も多くの2位、最も多くの3位など)によってランク付けされる。

同点が残った場合、競技者は結果リストで同じランキングになる。

4. 2 ツール・ド・スキーの概要

<u>日付と場所</u>	<u>形式</u>	<u>ボーナス 秒数</u>	<u>スプリント ス タANDING</u>	<u>クライマー スタン ディング</u>
<u>土曜日</u> <u>28/12/2024</u> <u>トッピアーコ(ITA)</u>	<u>スプリントF</u>	<u>トップ30</u> <u>最終結果:</u> <u>60/54/48/...</u>	<u>トップ10</u> <u>最終結果:</u> <u>30/24/20/16/12/</u> <u>10/8/6/4/2</u>	
<u>日曜日</u> <u>2024年12月29日</u> <u>トッピアーコ(ITA)</u>	<u>15キロ</u> <u>マススタートC</u>		<u>1st</u> <u>TVトッ</u> <u>プ10</u> <u>中間:</u> <u>15/12/10/8/6/</u> <u>5/4/3/2/1</u>	<u>トップ5</u> <u>2,3周目、</u> <u>最高地点</u> <u>2'100m**、</u> <u>到着順:</u> <u>5/4/3/2/1</u>
<u>火曜日</u> <u>2024年12月31日</u> <u>トッピアーコ(ITA)</u>	<u>20キロ</u> <u>インターバルスタ</u> <u>ートF</u>		<u>スタートから</u> <u>1st TV中間まで</u> <u>のトップ10</u> <u>ベストタイム</u> <u>15/12/10/8/6/</u> <u>5/4/3/2/1</u>	<u>スタートから</u> <u>10km中間地点</u> <u>までのトップ</u> <u>10最速タイム:</u> <u>30/24/20/16/12/</u> <u>10/8/6/4/2</u>
<u>水曜日, 01/01/2025</u> <u>トッピアーコ(ITA)</u>	<u>15kmバシュ</u> <u>ートC</u> <u>(20kmインターバ</u> <u>ルの結果リストに</u> <u>基づくスタートリ</u> <u>スト)</u>			
<u>金曜日</u> <u>03/01/2025</u> <u>ヴァル・ディ・フ</u> <u>イエンメ</u> <u>(イタリア)</u>	<u>スプリント C</u>	<u>トップ30</u> <u>最終結果:</u> <u>60/54/48/...</u>	<u>トップ10</u> <u>最終結果:</u> <u>30/24/20/16/12/</u> <u>10/8/6/4/2</u>	
<u>土曜日</u> <u>2025年4月1日</u> <u>ヴァル・ディ・フ</u> <u>イエンメ (ITA)</u>	<u>20kmスキー</u> <u>アスロン</u>		<u>トップ10</u> <u>中間スプリン</u> <u>ト(スタジアム</u> <u>で1周した後):</u> <u>15/12/10/8/6/</u> <u>5/4/3/2/1</u>	<u>トップ5</u> <u>各周回</u> <u>C:1'500m</u> <u>F:1'250m**</u> <u>到着順:</u> <u>5/4/3/2/1</u>

<u>2025年5月1日(日)</u> <u>ヴァル・ディ・フ イエンメ (ITA)</u>	<u>10キロ マススタートF</u>		<u>アルペセルミスの 下部にあるトップ 10インターミディ エイトスプリント: 15/12/10/8/6/ 5/4/3/2/1</u>	<u>トップ10 到着順によるフィ ニッシュ: 45/35/30/26/22/ 18/14/10/6/3/1</u>
---	-------------------------	--	---	---

日付と場所	形式	ボーナス秒数	ポイント-スプリン ト 常任	<u>クライミングスタ ディ</u>
土曜日 28/12/2024 トッピアーヨ(ITA)	スプリントF	最終結果トップ 30: 60/54/48/-	最終結果トップ10: 30/24/20/16/12/ 10/8/6/4/2	
日曜日 2024年12月29日 トッピアーヨ(ITA)	15kmマスマ スターG	8.5kmの中級1つ トップ 10:15/12/10/8/6/5/4/3/ 2/1	最速タイムトップ10、 第1回テレビ中級者 トップ 10:15/12/10/8/6/5/4/3/2/1	トップ5 到着順: 5/4/3/2/1 <u>2.3周目、2100m**</u>
火曜日 2024年12月31日 トッピアーヨ(ITA)	20kmインタ ーバルF		開始から1stテレビ中 級までの最速タイム- トップ 10:15/12/10/8/6/5/4/3/2/1	スタートから10- kmの中級までの 最速タイム: 30/24/20/16/12/1 0/8/6/4/2
水曜日, 01/01/2025 トッピアーヨ(ITA)	15kmパンエー トG (20km-インター バルの結果に基 づくスタートサ スト 無料)			
金曜日 03/01/2025 ヴァル・ディ・フ イエンメ (イタリア)	スプリントG	最終結果トップ 30: 60/54/48/-	最終結果トップ10: 30/24/20/16/12/ 10/8/6/4/2	

土曜日 2025年03月04日 ヴァル・ディ・フォエンメ (ITA)	20 km-スキーアスロン	8.5 kmの中間1か所:* トップ 10:15/12/10/8/6/5/4/3/2/1	スタジアムで1周した後の中間スプリント トップ 10:15/12/10/8/6/5/4/3/2/1	トップ5—到着順: 5/4/3/2/1 各周回:** C:1500m F:1250メートル
日曜日 2025年4月4日 ヴァル・ディ・フォエンメ (ITA)	10km Mst F		スタジアムでの中間スプリントそしてアルペセルミスの下部に: トップ 10:15/12/10/8/6/5/4/3/2/1	フィニッシュエのトップ10—到着順: 45/35/30/26/22/18/14/10/6/3/1

7 賞金

すべての賞金はスイスフランで計算され、性別ごとに記載されます。すべての賞金は付加価値税なしです。競技がキャンセルされた場合、賞金を調整する必要がある。

日替わりの賞金は競技終了後に、全体の賞金は最終ステージ後に銀行振込で支払われる。

男女別の賞金計算ツール・ド・スキー2024/25

レース数	7
コンペティションごとの賞金	55'000スイスフラン
賞金総額	385'000スイスフラン

ランキングごとの賞金配分

デイリープライズマナー	42'000スイスフラン
スプリント総合順位	212'000スイスフラン
ツアーの最上位者	10'000スイスフラン
ツール・ド・スキー総合順位	3124'000スイスフラン
トータル	385'000スイスフラン

賞金の分配

各大会賞金

1 ^位	3'000スイスフラン
2 ^位	2'000スイスフラン
3 ^位	1'000スイスフラン

スプリント（中間）総合順位

1 ^位	<u>640'000</u> スイスフラン
2 ^位	<u>57'000</u> スイスフラン
<u>3^位</u>	<u>4'000</u> スイスフラン
<u>4^位</u>	<u>3'000</u> スイスフラン
<u>5^位</u>	<u>2'000</u> スイスフラン
<u>6^位</u> 3 ^位	<u>15,000</u> スイスフラン

ツァータイマーのベスト、クライマー総合順位（各計測地点）

1位	<u>6'000</u> スイスフ ン
2位	<u>3'000</u> スイスフ ン
3位 4位	10'000スイスフ ン

ツール・ド・スキー総合順位

1位	85'000スイスフ ン	11位	6'000スイスフ ラン
2位	55'000スイスフ ン	12位	5'000スイスフ ラン
3位	40'000スイスフ ン	13位	4'500スイスフ ラン
4位	25,000スイスフ ン	14位	4'000スイスフ ラン
5位	20'000スイスフ ン	15位	3'500スイスフ ラン
6位	16'000スイスフ ラン	16位	3'000スイスフ ラン
7位	12'3'000スイスフ ラン	17位	2'500スイスフ ラン
8位	10'000スイスフ ン	18位	2'000スイスフ ラン
9位	9'8'000スイスフ ン	19位	1'500スイスフ ラン
10位	7'7'000スイスフ ン	20位	1'000スイスフ ラン

8 レース形式によるスタート順

8. 1 ステージ1(スプリント予選)

シードグループは、現在のスプリントワールドカップの順位に基づいて出場登録された上位15人の選手と定められる。

現在のワールドカップ総合優勝者であるFISツール・ド・スキーの優勝者はリーダーは、シードに含まれていない場合は、エキストラアスリートとして追加される。 スタート順はワールドカップのルール第2.3条に従う。

8. 2 ステージ2(15kmマススタートC)

ツール・ド・スキー総合とスプリント・ツール・ド・スキーのリーダービブを着ドしている場合、2番目にランタ付けされたアスリートにはリーダーのビブが与えられる。トータルのツール・ド・スキーのゼッケンが優先される。

他の選手のスタートポジションは、ステージ1終了後のツール・ド・スキー全体の順位に応じて決定する。

~~シードグループは、現在のFISツール・ド・スキースタンディングの上位15人の選手+ステージ1終了後の現行のFISツール・ド・スキーポイントスタンディングの上位10人の選手と定義されます。~~

~~開始位置は次のように割り当てられます。~~

~~ゼッケン-No1: 現在のツール・ド・スキー総合スタンディングのリーダー-ビブNo2: 現在のツール・ド・スキーポイントのリーダー-スタンディング-ゼッケン-No3: 現在のツール・ド・スキー総合スタンディングの~~

~~2番目~~

~~ビブ番号4: 現在のツール・ド・スキーポイントの2番目~~

~~選手がFISツール・ド・スキー総合順位のトップ15とFISツール・ド・スキーポイントの上位10位の両方にランタインした場合、最も有利なスタートポジションが割り当てられます。~~

~~シードグループ内の女性または男性がエントリーしなかった場合、またはFISツール・ド・スキー総合順位のトップ20とFISツール・ド・スキーポイントのトップ10の両方にランタインした場合、交代は行われません。~~

8. 2. 1 ステージ3(20kmインターバルスタートF)

シードグループは、ステージ2終了後のFISツール・ド・スキー総合順位に従って出場登録された上位15人の選手と定められる。

現在のワールドカップ総合リーダーは、15位に含まれていない場合、1人の追加アスリートとして追加される。

スタート順は、ワールドカップのルール第2.3.4.1条に従います。

8. 2. 2 ステージ4(15kmパシュートC)

スタート順は、FISツール・ド・スキー第3ステージの結果(コンマ秒が切り捨てられた実際の時間)に従って割り当てられる。

スタート時間の差が大きすぎるのを防ぐために、ジュリーは「ウェーブスタート」の使用

を決定することができる。

8. 3 ステージ 5 (スプリント C)

シードグループは、現在の~~スプリントワールドカップ総合~~ツール・ド・スキーの~~ステージ4終了後の順位に基づいて、出場登録された上位15人の選手と定められる。~~

~~現在のワールドカップ総合リーダーは、まだ含まれていない場合、4人の追加アスリートとして追加されます。~~

スタート順はワールドカップのルール第2.3条に従う。

8. 4 ステージ6(20kmスキーアスロン)

~~総合ツール・ド・スキー／スプリント・ツール・ド・スキー／クライミング・ツール・ド・スキーのリーダーゼッケンを着用した選手は、1列目に配置される。~~

~~アスリートが複数のランキングをリードしている場合、2番目にランク付けされたアスリートにはリーダーのゼッケンが与えられる。全体的なツール・ド・スキーのゼッケンが優先される。~~

~~他の選手のスタート位置は、第5ステージ終了後のツール・ド・スキー全体のスタンディングに応じて決定します。~~

~~シードグループは、現在のFISツール・ド・スキー・スタンディングの上位15人の選手+第5ステージ終了後の現行のFISツール・ド・スキー・ポイントスタンディングの上位10人の選手と定義される。~~

~~出発位置は次のように割り当てられます。~~

~~ビブn°1: 現在のツール・ド・スキー総合スタンディングのリーダー-ゼッケン~~

~~ビブn°2: 現在のツール・ド・スキーポイントのリーダー-スタンディング~~

~~ビブn°3: 現在のツール・ド・スキー総合スタンディング-第2位~~

~~ビブn°4現在のツール・ド・スキーポイント第2位~~

~~もし選手がFISツール・ド・スキー総合順位のトップ45とFISツール・ド・スキーポイントの上位10位の両方にランタインした場合、最も有利なスタートポジションが割り当てられる。~~

~~シードグループ内の男女選手がエンタリーしなかった場合、またはFISツール・ド・スキー総合順位のトップ20とFISツール・ド・スキーポイントのトップ10の両方にランタインした場合、交代は行われない。~~

8. 5 ステージ7:ファイナルクライム(10kmMst F)

総合ツール・ド・スキー／スプリント・ツール・ド・スキー／クライミング・ツール・

ド・スキーのリーダービブを着用した選手は、1列目に配置される。選手が複数のランキングをリードしている場合、2番目にランク付けされたアスリートにはリーダービブが与えられます。ただし総合ツール・ド・スキーのビブ選手が優先される。

~~他の選手のスタート位置は、第6ステージ終了後のツール・ド・スキー全体の順位に応じて決定する。~~

~~シードグループは、現在のFISツール・ド・スキースタンディングの上位15人の選手+ステージ6終了後の現行のFISツール・ド・スキーポイントスタンディングの上位10人の選手と定義される。~~

~~出発位置は次のように割り当てられる。~~

~~ビブn°1: 現在のツール・ド・スキー総合スタンディングのリーダー-ゼッケン~~

~~ビブn°2: 現在のツール・ド・スキーポイントのリーダー-スタンディング~~

~~ビブn°3: 現在のツール・ド・スキー総合スタンディング第2位~~

~~ビブn°4現在のツール・ド・スキーポイント第2位~~

~~選手がFISツール・ド・スキー総合順位のトップ15とFISツール・ド・スキーポイントの上位10位の両方にランタインした場合、最も有利なスタートポジションが割り当てられる。~~

~~シードグループ内の女性または男性がエントリーしなかった場合、またはFISツール・ド・スキー総合順位のトップ20とFISツール・ド・スキーポイントのトップ40の両方にランタインした場合、交代は行われません。~~

10

リーダービブ

FISツール・ド・スキーのリーダーは、ツアーリーダービブを着用する。

ツアーポイントのスプリントランキングのスタンディングリーダーは、スプリントリーダーゼッケンを着用している。

ツアークライミングスタンディングスタンディングリーダーは、クライミングリーダーゼッケンを着用している。

選手が複数のランキングをリードしている場合、2番目にランク付けされた選手にリーダーのゼッケンが与えられます。なお総合ツール・ド・スキーのビブが優先される。

FISクロスカントリーワールドカップへの応募

シーズン年次: _____

スキー協会国名: _____

サイト/組織委員会: _____

競技の日程: _____

提案された形式とテクニック

個人戦

距離	スプリント	インターバルスタート	マススタート	スキーアスロン	クラシカル	フリー
0,5 – 1,8 km						
10 km						
20 km						
50 km						
その他(具体的に)						

団体戦

チームスプリント	混合リレー 4x5 km	リレー(男女別) 4x7.5 km	クラシカル	フリー

提案コース

競争	提案されたコースの名前とホモロゲーション番号
スプリント	
インターバルスタート	
マススタート	
スキーアスロン	
チームスプリント	
ミックスリレー	
リレー	

日付: _____

署名: _____

FISオフィス委員会からの提案

FISオフィス委員会は、FIS理事会へ承認を求め以下の提案を提出する。

国際競技規則 (ICR)

ワールドカップルール男子

4.5. ロウエアートーナメント2025の特別規則

最後のロウエアー大会（ヴィケスンド 167.03.202）では、すべての選手が予選ラウンドで競うことが許可される。予選後上位30位の選手のみロウエアーの最終戦で競う。

最終戦の形式は以下の3ラウンドで構成される：

1本目 30選手

2本目 20選手（1本目終了後上位20位、スタートリストは1本目後の逆順）

最終ラウンド 10選手（1本目と2本目両方の後の上位10位）、2本目後のデイリーランキングに基づく逆順。

オスロの最初の予選のあと、現在のロウエアーランキングが各試合日（予選及び試合）のスタートリストとして使用される。

競技用品規格

選手はジャンプ前のスタートコントロール後、および、ジャンプ後のコントロール前もスーツを操作することは許可されない。

4.5 スーツマーキング

冬季オリンピック（OWG）、FISスキー世界選手権（WSC）、FISスキーフライング世界選手権（SFWSC）、FISワールドカップ（WC）、グランプリ（GP）シリーズ男女で使用されるすべてのスーツは、大会前にFIS指定システムでマークされなければならない。

エンコードされたNFC チップのセットが各スーツ専用となり、選手名とスーツ番号に関するデータが指定された FIS データベースに記録される。

エンコードされたNFC チップは、熱プレスを使用してスーツの所定の部分に張り付けられる。

検査およびマーキングが済んだスーツのいかなる部分も交換することはできない。

選手はマーキングを取り外したり操作したりすることはできない。

チップング後にスーツが操作された場合は、交換することなく無効になる。不正操作は選手の失格につながり、意図的な不正操作の場合は適切な FIS 機関に判断のため提出され、さらなる結果や罰則につながる可能性がある。

COC、I-COC、JWSC で使用されるすべてのスーツは手動でマークされる、各選手は 競技会ごとに 1 着のスーツを使用できる。

4.3 下着

選手がバックプロテクターを使用していない場合、ポケット付きのTシャツを使用することはできない。

スキージャンプスーツのマーキング手順の導入

現状

スキージャンプは、現代の技術とハイテク開発がますます重要になっている非常に人気のある競技である。これは、スキージャンプをイノベーション(革新)の機会として捉えることに関心のある企業の注目を集める可能性がある。

しかしながら、結果として、過去においても新たな開発と革新は、場合によっては財政的に最も強いチームにのみ許されていた。小国は予算が限られているためアクセスできない。

この格差により、最高の用具を入手できるのは、ほんの一握りのナショナルスキー連盟だけという状況になっている。その結果、最高の用具を入手できる選手は、競技会で勝つ可能性ははるかに高くなる。

その結果、競技会で上位に入る可能性は、選手のパフォーマンスだけでなく、予算と用具に関係する。

いくつかのスポーツでは、用具の差を制限する取り組みが見られる（たとえば、F1ではエンジンの数に制限があり、すべての車に同じタイヤサプライヤーが使用されている）。

スキージャンプでは、スーツが最終結果に大きな役割を果たしている。選手の素晴らしい成績の裏には、研究への多大な投資がある。すべてのナショナルスキー連盟がそれに取り組めるわけではない。

FISとしての我々の任務は平等な機会を創出することである。

現在および将来

数年前から、FISスタッフは、選手のパフォーマンスを再び競技の中心に据える何らかの措置を講じること、用具の格差を縮小する可能性について内部で議論している。

具体的なステップの1つは、**2023/2024**シーズンの機械を使ったボディーの**3D**デジタルスキャンの導入で、これはボディー測定（スキージャンプのすべての用品ルールの基本パラメータの1つ）の不正操作を防止するものである。我々の歴史上初めて、客観的な測定を向上させるために技術的な測定が導入された。この最初のステップにより、平等な機会と公平性を高める可能性が生まれる。

2つめの具体的なステップは、**2024/2025**年サマーシーズンの初めに導入されました。スーツのマーキングのプロセスには、レース前のコントロールを追加し、シーズン中のジャンプスーツの数を制限することで、競技の公平性を高めるという明確な目標がある。

スーツの数はナショナルチームによって異なる。ワールドカップ選手の中には、シーズンごとに**5～7**着しかスーツをもらえない選手もいれば、シーズンごとに**30～40**着もらえる選手もいる。スーツ1着のコストは約**600**ユーロである。

これまでシーズンごとに選手一人あたりのスーツの数に制限がなかったというあらたな事実により、多額の投資が必要となる。

この新しいマーキングシステムには、ワールドカップレベルの各選手のジャンプスーツに**RFID**タグ（マイクロチップ）を取り付ける手順が含まれる（スーツのカット数が異なるため、男子は**7**チップ、女子は**5**チップ）。ルールに従って準備されている場合、スーツのサイズを事前にチェックした後にチップが取り付けられる。FIS用品コントローラーのチェック後、ホットグルーで接着させるプロセスにより、機械を使用してスーツのさまざまな部分にチップが取り付けられる（接着される）。

取り付け後、ソフトウェアを介して複数の**RFID**チップが選手とスーツを特定し割り当てられる。

競技中は、スタートまたは出口ゲートで全てのチップはチェックできる。

これにより、スーツと使用される個々のパーツが事前にテストされ、承認されているかどうかをいつでも確認できる。

コントロールの強化に加え、マーキングにより選手 1 人あたりのスーツの数を制限することができる。このステップは、（各国）ナショナルスキー連盟の持続可能性に向けた大きな一歩となる。したがって、これは財政的に持続可能なだけでなく、地球の持続可能性に向けた大きな一歩（必要な数百のステップのうちの 1 つ）でもある。

新しいスーツマーキング手順によるスーツ数の制限により、ナショナルスキー連盟 のコストが大幅に削減される。

スーツの数が無制限になることはなくなり、数回のジャンプで使用されたスーツが廃棄されることもなくなる。

ナショナルスキー連盟のコストが削減され、地球への関心が高まる。

結論

スキージャンプ競技のスーツマーキングに新しい手順を導入することで、次の 3 つの主な目標を達成できる。

- スーツの管理可能性と制限を増やすことで、公平性と平等な機会を向上させる。
- スーツのコストを削減することで、各国スキー連盟の財政的持続可能性を向上させる。
- 材料（マテリアル）の使用を減らし、その結果として廃棄物を削減することで、環境の持続可能性を向上させる。

2024年9月26日 チューリッヒ

FISスキージャンプ レースディレクター

サンドロ・ペルティル

2024年9月、ノルディックコンバインド委員会からの提案

スキージャンプ用品の提案はノルディックコンバインドにも適用される。

ノルディックコンバインド委員会は、FIS理事会に承認を求め以下の提案を提出する。

ワールドカップルール女子

2. WCNC-W大会参加権利

2・2 a) 既にWCNC-Wポイントをもっている選手。

b) 昨シーズン又は現シーズン、COCNC-Wポイントを最低1点でも獲得した選手。

c) JWSC(ジュニア世界選手権) 個人戦のメダリストは、次回JWSCまでのワールドカップに個人の参加権利を有する。

d) 現シーズンにSGP-Wポイントを最低1点でも獲得した選手。

6.2.1.2 全体のクォータ配分 2024-25シーズン

<u>選手</u>	<u>スタッフ</u>	<u>トータルクォータ</u>	<u>クォータ外のスタッフ</u>		<u>FIS規則内のクォータ</u>
			<u>FISプライス</u> <u>125CHF/</u> <u>160</u>		
<u>3</u>	<u>1</u>	<u>4</u>	<u>3</u>		<u>7</u>

ワールドカップルール男子

6.2.1.2 全体のクォータ配分 2024-25シーズン

<u>選手 (COCを含む)</u>	<u>スタッフ</u>	<u>トータルクォータ</u>	<u>クォータ外のスタッフ</u>	<u>NSA</u> <u>リーダーシップ</u>	<u>FIS規則内のクォータ</u>
			<u>FISプライス</u> <u>125CHF/</u> <u>160</u>	<u>FISプライス</u> <u>125CHF/</u> <u>160</u>	
<u>7</u>	<u>3</u>	<u>10</u>	<u>6</u>	<u>1</u>	<u>17</u>
<u>6</u>	<u>3</u>	<u>9</u>	<u>6</u>	<u>1</u>	<u>16</u>
<u>5</u>	<u>3</u>	<u>8</u>	<u>4</u>	<u>1</u>	<u>13</u>
<u>4</u>	<u>2</u>	<u>6</u>	<u>4</u>	<u>1</u>	<u>11</u>
<u>3</u>	<u>2</u>	<u>5</u>	<u>4</u>	<u>1</u>	<u>10</u>
<u>2</u>	<u>2</u>	<u>4</u>	<u>4</u>	<u>1</u>	<u>9</u>
<u>1</u>	<u>2</u>	<u>3</u>	<u>4</u>	<u>1</u>	<u>8</u>

付属文書付属文書 10.1.3 - SBFSFK委員会からの提案

SBFSFK委員会は、FIS理事会の承認を得るために以下の提案を提出する：

名誉会員

SBFSFK委員会は、Chris Robinson (CAN) を本委員会の名誉会員として提案する。

Park & Pipe小委員会は、Ola Sundekvist (SWE) を本委員会の名誉会員として提案する。

国際競技ルール (ICR)

2014. 年齢制限

2014.7 ジュニアスキー／スノーボード世界選手権を含む国際ジュニアのための年齢
最低年齢

すべてのジュニア競技会の最低年齢はメジャーイベントでない国際競技会への参加と同じである。上記2014.2～2014.5を参照。

最高年齢:

PGS、PSL、SBX、チームSBXは、FIS競技会年度が始まる暦年の終わりまでに、19歳の誕生日を迎える競技者とする。

BA、HP、SSは、FIS競技会年度が始まる暦年の終わりまでに、17歳の誕生日を迎える競技者とする。

AE、MO／DMは、FIS競技会年度が始まる暦年の終わりまでに、~~49歳~~17歳の誕生日を迎える競技者とする。

SXは、FIS競技会年度が始まる暦年の終わりまでに、20歳の誕生日を迎える競技者とする。

(年齢制限のルールをまとめた表は2014.8～2014.10を参照)

2026/27シーズン18歳の誕生日および2027/28シーズン17歳の誕生日時点で有効

4001.1.7.1 FISによって任命された ジャッジ*は、旅費の払い戻しを受ける権利を有する。ただし、冬季オリンピック、世界選手権、ワールドカップ、コンチネンタルカップ以外の大会については、大会主催者が例外として認めた場合を除き、払い戻しは最大600スイスフランまでとする。*(~~高速道路税込み~~)配属期間中の宿泊と食事は無料(電車、ファーストクラス)；それ以上の距離の場合は、列車(ファーストクラス)または航空運賃(ツーリストクラス)の実費、あるいは1キロメートルあたり0.70スイスフラン~~または同等のもの~~の車での移動に加え、適用される高速道路料金を請求することができる。

ジャッジは配属期間中、無料で宿泊と食事を提供される権利を有する。

加えて、移動日を含む配属日 1 日につき 125 スイスフランの日当が 加算される。~~ワールドカップ、コンチネンタルカップ、世界選手権、およびそれ以下のレベルの大会の場合、往復の移動日数、および配属された各日の移動日数が加算され、これには報告書などの郵送料も含まれる。~~ダブルチャージ（例：最終大会と同日の帰宅日）は認められない。もし配属地と帰宅地の間の宿泊が 必要な場合、その費用は正当化 されるべきで、別途払い戻されるものとする。

~~*このルールは、FIS 世界選手権のすべてのジャッジに適用される。~~

~~最高 600 スイスフランの支払いは、地理的な理由により例外が認められない限り、冬季オリンピック、世界選手権、ワールドカップ、コンチネンタルカップを除くすべてのレースに適用される。~~

5404.2.1.4 RAL 制裁

意図的な行為、意図的な妨害、深刻ではない結果-

意図的な行為、偶発的な妨害、深刻ではない結果

意図的ではない行為、偶然の妨害、深刻な結果

RAL を受けた競技者への制裁は、彼らのヒートにて最下位になり、また行われていたラウンドでの最下位順位となること。彼らは最終リザルトに「RAL」と記載される。

5404.2.1.5 イエローカードの制裁 (RAL)

意図的な行為、意図的な妨害、深刻ではない結果

意図的な行為、偶発的な妨害、深刻ではない結果

~~意図的ではない行為、偶然の妨害、深刻な結果~~

違反の度合によって、RAL の制裁はイエローカードの制裁を伴う場合と、伴わない場合がある。イエローカードは、同じカテゴリーの競技において、そのシーズン中、競技者に留まる。

イエローカード (RAL) を受けた競技者への制裁は、彼らのヒートにて最下位になり、また行われていたラウンドでの最下位順位となること。彼らは最終リザルトに「RAL」と記載される。イエローカードを受けた競技者は、受領以後の競技会を続けることが許されない。イエローカードを受けたことは、シーズン中に同じカテゴリーの競技会で継続される。

6504.3.3 シングルランノックアウトファイナルフォーマット

競技者の各ペアは、1 本のみ滑走する。

予選順位がより良かった競技者が、赤もしくは青のコースを選択できる。選択は、競技者がスタートプラットフォームに入るときまでに行わなければならない。

片方または両方の競技者がコースを完走しなかった場合、より多くの旗門を滑走した競技者が次のラウンドに進む。

両方の競技者が同じ旗門でコースを完走しなかった場合、またはイニッシュラインでタイとなった場合、予選順位の悪かった競技者が次のラウンドへ進む。スモールとビッグファイナルで同じ旗門またはフィニッシュラインでタイの場合、タイは決着されない。

主要大会、WC、WSC、OWG では、フィニッシュラインでのタイム差が 0.00 秒の場合、フィニッシュラインを最初に通過した部位で判定する。(~~フィニッシュラインカメラ写真フィニッシュ~~)

写真判定で決着がつかない場合は、予選順位が悪い方が次のラウンドに進む。スモールファイナルとビッグファイナルでは、同点は解消されない。

6802

チームシード

出走者枠が決定されると、チームキャプテンは必要最低FISポイントに従い任意の有資格選手をそのチームに入れることができるが、各競技者は1つのチームにのみ入ることができる。標準的なペアリングが使用され、チームはシードリストのシードポジションに従い満たされる。

~~チームは、チームごとにエントリされた選手のFISポイントリストの2つのランタの合計によってシードされる。~~

決勝トーナメントへのシード順位は、予選の結果を総合して決定される。男女を問わず、各チームメンバーは予選ランを1回行い、そのタイムを合計して決勝のシード順位が決定される。上位16チームの組み合わせは決勝のためのブラケットにシードされる。予選ランのコース選択は、均等になるように交互に行われる： チーム1は男子が赤、女子が青のコース、チーム2は男子が青、女子が赤のコースとなる。

予選滑走後、決勝に進出できる最後の順位（4位、8位、16位）が同点の場合も含め、決勝に進出する2つ以上のチームが同点の場合、同点は2つのうちのベストランによって解消される（競技規則6504.1.2シングル競技による）。シード順位が悪いチームが上位となる。

ワールドカップ、世界選手権、冬季オリンピックでは、ワールドカップスターティングリストがシードに使用される。ワールドカップスターティングリストにチームメンバーが1人のみ、または1人も含まれていない場合は、両方の競技者にFISポイントリストが使用されるが、これらのチームは常にワールドカップスターティングリストを使用したチームの後にシードされる。

タイは、ルール6801.3に従い決められる。

決勝のタイブレーク

6804.3

両方の選手が同じゲートまででコースを完走しなかった場合、またはフィニッシュラインでタイとなった場合、より良いシードポジションのチームが次のラウンドに進む。スモールファイナルとビッグファイナルでは、同じゲートやフィニッシュラインでのタイは決着されない。

主要大会、WC、WSC、OWG では、フィニッシュラインでのタイム差が 0.00 秒の場合、フィニッシュラインを最初に通過した部位で判定する。(写真フィニッシュ)

写真フィニッシュで決定できない場合は、予選順位の悪いチームが次のラウンドに進む。スモールファイナルとビッグファイナルでは、同点は解消されない。

7604.1.3

コンチネンタルカップでは、参加する競技者は大会が開催されている地域のコンチネンタルカップスタンディングリスト、もしくはFISポイントリストから順位付けされて並び替えられる。シーズン初戦のコンチネンタルカップでは、前年度の最終的なコンチネンタルカップ総合順位

を使用する。

もし競技者同士が同点の場合、コンチネンタルカップスタンディングが上位のものを優位とする。もしそれでも同位の場合は、FISポイントリストで上位のものを優位とする。それでも同位の場合、彼らのポジションは抽選（ドロウ）によって決める。

2024/2025シーズンのヨーロピアンカップシリーズには特別ルールが適用される。EC4.2.3を参照。

7610.3.3 電子ボイスオーバーコマンドが電子スタートゲートに組み込まれている場合のボイスオーバーコマンドスタート手順。スターターまたはスタートレフリーは、ボイスオーバー始動コマンドを電子的に開始する；

・ "Enter the start gate"、電子スタート装置が 15 秒のカウントダウンを開始する（スキーヤーはこの 15 秒以内にスタートゲートに入る）。

・ "Skiers Ready " 15 秒経過後、ナレーションが "Skiers Ready "を告げる（スキーヤーは 5 秒以内に最終調整を行う）。

"Attention " ナレーションが最後のコマンド "Attention "を発し、スタートが間近に迫っていることを知らせ、電子スタートゲートが 1~4 秒間のスタートシーケンスでランダムにリリースされる。

ナレーションコマンドは、ICR7610.1.1 に従ってタイムドランでも使用することができる。

ワールドカップ規則

2.3.3 ワールドカップのクォータ配分

開催国クォータ：女子 3／男子 5

個人に対する割当クォータ：

~~—BA種目における先シーズンのワールドカップ優勝者はスロープスタイル種目とビッグエア種目で女子 4／男子 4とする。~~

~~—SS種目における先シーズンのワールドカップ優勝者はスロープスタイル種目とビッグエア種目で女子 4／男子 4とする。~~

—世界ジュニア選手権大会* 女子 1／男子 1

—コンチネンタルカップ（コンチネンタルカップごとに；HP とSS／BA）女子 1／男子 1**

国のクォータ割当：

—BA種目における先シーズンのワールドカップ優勝者はスロープスタイル種目とビッグエア種目で女子 1／男子 1とする。

—SS種目における先シーズンのワールドカップ優勝者はスロープスタイル種目とビッグエア種目で女子 1／男子 1とする。

~~3.3.6 エアリアルシェイパー~~

~~宿泊、朝食、夕食と移動の手立てを「エアリアルのジャンプシェイパー」（最高5名）に無料で提供しなければならない。~~

~~大会主催者が宿泊は無料で提供するが、食事をつけない場合、シェイパーは食事の補助として45スイスフランを受け取る。~~

3.9.2 ワールドカップファイナルの招待状

FISフリースタイルスキーのワールドカップファイナルのための招待状はFISフリースタイルスキーのワールドカップの順位に基づく。モーグル種目、デュアルモーグル種目とエアリアル種目における、コンチネンタルカップの優勝者と、現在またはその前の競技会年から、もっとも最近のFISフリースタイルスキーのジュニア世界選手権大会の優勝者もまた招待する。開催国はモーグル種目、デュアルモーグル種目、エアリアル種目において、男女各1名のクォータが認められる。

3.11 FISグランプリ エアリアル

~~（賞金支払いの義務付けは2024/25まで先送りにする）~~

ワールドカップ規則は、以下を除き、グランプリシリーズに適用する：

3.11.1 個人戦大会の賞金：

~~上位3名の競技者で6,000スイスフランを分配する。~~

賞金の設定は大会主催者の裁量にゆだねるものとする。賞金を提供される場合、大会の招待状にその旨、明記すること。

3.11.2 男女混合団体戦競技会：

~~上位3組で12,000スイスフランを分配する。~~

賞金の設定は大会主催者の裁量にゆだねるものとする。

3.11.3 シングル競技会の賞金の分配：

賞金が設定される場合、配布される総額を以下の割合で分配し支払うこと：順位によるスイスフランの総額に対する割合

1位 ~~3000~~50.00パーセント

2位 ~~2000~~33.33パーセント

3位 ~~1000~~16.66パーセント

3.11.4 男女混合団体戦競技会の賞金の分配：

賞金が設定される場合、配布される総額を以下の割合で分配し支払うこと：順位によるスイスフランの総額に対する割合

1位 ~~6000~~50.00パーセント

2位 ~~4000~~33.33パーセント

3位 ~~2000~~16.66パーセント

3.11.5 ~~クォータと~~最低FISポイント

競技に参加するために最低限必要なFISポイントは必要としない。しかし、すべての競技者は、現行のFISライセンスの保有者でなければならない。競技するためには、最低FISポイント50が必要である。すべての競技者は、現行のFISライセンスの保有者でなければならない。

3.11.6 競技者と選手役員のための宿泊、食事、移動手段

会場における宿泊と移動手段について規則はない。

3.11.7 ~~トレーニング~~練習日

主催者はフリーの練習日を提供する必要はない。そして、競技者は競技会日前に会場でトレーニングする必要はない。

3.11.8 トロフィー

グランプリの上位3名の競技者は、FISが提供するFISグランプリのトロフィーを受賞する。FIS

グランプリトロフィーを表彰するためには、グランプリエアリアル競技会は少なくとも3大会、完了しなければならない。FISグランプリトロフィーを授与するためには最低3大会、完了しなければならない。

- 4.3.1.1 スキークロスのワールドカップ主催者は、現行のSXのワールドカップ順位に基づき、上位5名の男子／女子に（FISレート）を免除する。そのワールドカップに参加する競技者の順位は、その前のワールドカップ大会の結果に基づいて考慮する。もしくは先シーズンの最終ワールドカップ順位に基づく。同位の場合、その前のワールドカップのレースにおいて、より良い結果の競技者が、主催者によって免除される。上位5名の男子／女子は会場／種目（シングルまたはダブルレース）ごとに同じ者とし、その競技会の公式到着日に決定する。

4.8 前走者

主催者は、前走者ふさわしい者（FISポイントを有する競技者）を以下の人数準備する。

一スキークロス種目とスノーボードクロス種目：各種目4名

4.8.1 スノーボードクロス種目 前走者の人数と特別な手順：

予選前のトレーニング：前走者ははじめに出走しなければならない。主催者が十分な人数の前走者を用意することができない場合、選出されたスノーシートの競技者がはじめに出走しなければならない。

決勝前のトレーニング：前走者8名。主催者が条件を満たす前走者を十分な人数用意することができない場合、決勝進出の資格のない先頭、男子4名、女子4名が前走することができ、トレーニングのはじめに出走する。必要な前走者の人数に達するまで、予選の男子33位と女子17位までを昇順に選出する（RCP）。

コンチネンタルカップルール

2.2 タイトル

各大陸で以下のCoCタイトル（SAC/AC/ANC/NAC/EC）が授与される。

- パラレル（PSL+PGS+GS+SL）
- HP（スキー）
- HP（スノーボード）
- SX
- SBX
- BA（スキー）
- SS（スキー）
- RE（スキー）
- BA/SS（スキー）
- BA/SS（スノーボード）
- BA（スノーボード）
- SS（スノーボード）
- RE（スノーボード）
- AE
- MO
- DM
- モーグル総合

タイトルを獲得するためには、ECおよびNACは最低3大会、SAC、ACおよびANCはカテゴリーおよび性別ごとに最低2大会を開催しなければならない。シリーズタイトルのトロフィーおよび賞は、シーズンの最終戦で授与

される。

EC 1.2 輸送、リフト券、優先権

OCは、公式トレーニングおよび公式競技会開催期間中、すべてのチームスタッフ（チームオフィシャルの許容比率に従う - EC 競技の項を参照のこと）およびオフィシャルに~~無料の~~~~リフト券と、~~競技で使用するリフトに乗車する優先権を提供するものとする。また、競技エリアの近くに予約された駐車場を用意する。

競技者~~およびオフィシャル~~のリフト券の価格は、エントリーフィーとともに各競技セクションで定義される~~後述する。~~

~~チームオフィシャルの人数が多い場合、追加オフィシャルは競技者の規定に従ってリフト券および宿泊施設を得ることができる。~~

EC 2 パーク&パイプセクション

EC 2.1 エントリー費、リフト券

組織委員会は、リフト券を含まず、1大会につき最大50スイスフラン、2大会で最大 80スイスフランのエントリー費を徴収することができる。EC プレミアム大会の場合、組織委員会はリフト券を含まず、1大会につき最大で100スイスフラン、2大会で最大130 スイスフラン、3大会で最大150 スイスフランを徴収することができる。

リフト券の価格は、開催リゾートにおける通常の大人1日券の最大60%とする。

~~彼らが~~OCがエントリー費を徴収する場合は、その金額と支払い方法を公式インビテーションに記載しなければならない。

オフィシャルについて、OC は競技者のリフト券の価格を超えない範囲で、それぞれの競技会の章に定められているリフト券の料金を請求することができる。

EC 2.2.4 レール

レールに関して、クォータおよびFIS/WSPL ポイントの制限事項はない。

EC 2.4 EC トロフィーとメダル

HP、SS、~~およびBA~~およびREについては、ECポイント（ヨーロッパカップおよびプレミアムヨーロッパカップのもの）のベスト4戦のリザルトが採用され、合計されたものでECイベントチャンピオンおよびランキングが決定される。

EC 3 エアリアル／モーグル／デュアルモーグルセクション

EC 3.1 エントリー費

エントリー費は、競技者1名および競技会1日につき 80スイスフラン、公式トレーニング日 1日におよび競技者1名につき40スイスフランを上限として請求される。

OCは、チームオフィシャル比率（EC 1.3）に従い、すべてのスタッフおよびチームオフィシャルに無料でリフト券を提供するものとする。

EC 4 クロスセクション

EC 4.1 エントリー費

競技者1名あたりのエントリー費は、トレーニングおよび全競技日に無料のリフト券を含

め、1大会で110スイスフラン、2大会で180スイスフランを上限とする。

規則 EC 1.3 に定められたチーム比率を超える追加オフィシャルのリフト券は、1日につき30スイスフランとする。

OCは、チームオフィシャル比率（EC 1.3）に従い、すべてのスタッフおよびチームオフィシャルに無料でリフト券を提供するものとする。

EC 4.2.3 スキークロスのみ

ヨーロピアンカップにおいて、競技者は各ヨーロピアンカップのスタンディングリストの順位順でまたはベスト32/16までソートされる。シーズン最初の2大会のヨーロピアンカップにおいては、前シーズンのヨーロピアンカップの最終ランキングが考慮される。

同順位で明日場合、有効なFISポイントリストの上位の順位で決定する。それでも同位の場合は抽選で順位を決定する。

これはヨーロピアンカップリストのベスト32/16の競技者に対して有効である。それ以外の競技者は、有効なFISポイントリストに基づいて順位が決定される。

EC 5 **スノーボードアルペンセクション**

EC 5.1 エントリー費

組織委員会は、公式トレーニングおよび競技会1日につき最大50スイスフランのエントリー費を徴収することができる。

OCは、チームオフィシャル比率（EC 1.3）に従い、全てのスタッフおよびチームオフィシャルにリフト券を無料で提供するものとする。

NAC 4.1 ノーアムイベントチャンピオン

.....

- スキーレールおよびスノーボードレール

- 1種目につき最大で3つのNACベストポイントのリザルトが採用され、それを合計してNACイベントチャンピオンを決定する。

NAC 4.2 **トロフィーとメダル**

129種目（パラレル、スキーハーフパイプ、スノーボードハーフパイプ、スキースロープスタイル/ビッグエア、スノーボードスロープスタイル/ビッグエア、スキーレール、スノーボードレール、スノーボードクロス、スキークロス、モーグル、デュアルモーグル、エアリアル）の各優勝者には北米カップトロフィーが授与される。各種目1位、2位、3位の選手にはメダルが授与される。

AC 3.4 **最低ポイント要件**

アジアカップ大会に参加するための最低条件は以下の通りである：

フリースキー ビッグエア&スロープスタイル、ハーフパイプ、レール：
最低ポイントは設定しない。

スノーボードビッグエア&スロープスタイル、ハーフパイプ、レール：
最低ポイントは設定しない。

6.2 FISポイント

6.2.1 以下の競技については、FIS ポイントが算出される：

- スノーボード アルペン (PAR) : PGS、PSL、GS、SL (複合リスト)
- スノーボード クロス
- スノーボード ハーフパイプ
- スノーボード スロープスタイル
- スノーボード ビッグエア
- スノーボード レール
- モーグル、デュアルモーグル (複合リスト)
- エアリアル
- スキークロス
- フリースキー ハーフパイプ
- フリースキー スロープスタイル
- フリースキー ビッグエア
- フリースキー レール

用具ルール

6. 競技データおよび競技放映

- 6.1 より良いテレビ放映の向上と競技の技術的發展のために、HD 画像や音声を収集するための装置 (例：ワイヤレスカメラ、スキーゴーグルカメラ、オンボードオーディオ) は、テレビ局が提供する場合、競技者が着用しなければならない。使用するシステムは、スノーボードクロス小委員会および競技用具委員会の承認を得なければならない。

11. 競技データおよび競技放映

- 11.1 より良いテレビ放映と競技の技術的な發展のために、デジタルHD 画像や音声を収集するための装置 (例：ワイヤレスカメラ、スキーゴーグルカメラ、オンボードオーディオ) は、テレビ局が提供する場合、競技者が着用しなければならない。使用するシステムは、スノーボードフリースタイルフリースキー委員会スキークロス小委員会またはスノーボードクロス小委員会および競技用具委員会の承認を得なければならない。

- 11.2 主要なフリースタイル、フリースキー、スキークロスの大会 (WC、WSC、OWG) では、パフォーマンスの特定の側面を捉える目的でトランスポンダー (または同様の装置) が使用されることがある。収集されたデータは、ファンの関心と参加を高めるために、情報やTVグラフィックに使用される。トランスポンダーが使用可能な大会では、すべての競技者は、会場にいるデータサービスチームと協議の上、審査委員会の指示に従い、トランスポンダーを使用、装着しなければならない。収集されたデータは、各競技終了後に競技者に提供される。データは、競技に関する決定のためにジュリーやジャッジが利用することはなく、採点目的には使用されない。

新ルール

FISジュニアカップ

ジュニア リージョナルカップの新ルールブックを単独で実施すること。

FISジュニア リージョナルカップ/国別グループ

ヨーロッパ リージョン

アルプス：(AUT, GER, ITA, SUI, FRA) 詳細は未定。

FISジュニア リージョナルカップ

全てのFISスノーボード/フリースタイル/フリースキージュニアリージョナルカップに適用される。

FISジュニア リージョナルカップ

全てのFISスノーボード/フリースタイル/フリースキージュニアリージョナルカップに適用される。

1. 一般

FIS ジュニア リージョナルカップ (JRC) の全ての競技は、国際スキー&スノーボード連盟 (ICR) および各カップシリーズの競技ルールに基づき実施される。 その責任は当該競技グループのFIS小委員会にある。

JRC 競技は、国際スキー&スノーボード連盟(ICR)2013 年版に規定された年齢区分の FIS カテゴリー「ジュニア」競技を含み、必要に応じて第 8 章「競技別ルール」に規定される。

2. リージョンの定義

以下の国は、それぞれのジュニアリージョナルカップのためにグループ分けされる：

2.1 アルプス

AUT、ITA、SUI、FRA

2.2 その他の地域グループ分けの例

- バルカン半島 / 各国スキー連盟 未定
- スカンジナビア / 各国スキー連盟 未定
- 北東ヨーロッパ / 各国スキー連盟 未定
- 東アジア / 各国スキー連盟 未定
- 中央アジア / 各国スキー連盟 未定

3. カレンダーと計画

3.1 各JRCの具体的な定義

北半球は秋季大会、南半球は春季大会までに、次のシーズンの各JRCのガイドラインを定めること。

3.2 最終エントリーの締切り

各国スキー連盟は、遅くとも大会日の 5 日前までに、最終エントリーを OC に通知しなければならない。

4. 招待状とプログラム

4.1 告知

招待状および暫定プログラムは、少なくとも競技会の 6 週間前までに公表され、回覧される。天候や積雪不足のためにプログラムを変更しなければならない場合、OC は FIS 事務局に連絡するものとする。

4.2 参加費

JRC を主催するすべての地域は、それぞれの地域のトレーニング日および競技日ごとに、適切な参加料とリフト券をガイドラインに定める。

5. 表彰および式典

OCは、種目ごとに各年齢層の1位、2位、3位に適切な表彰を行う。各競技の表彰式は、各競技のプロテスト時間の直後、または事前に準備された表彰式で行われる。

6. トロフィーとメダル

6.1 カップトロフィー

男女各ジュニア リージョナルカップの優勝者にはトロフィーが授与される。

7. カップポイントとタイトル

7.1 タイトル

7.1.1 ジュニア リージョナルカップイベントタイトル

各地区で以下のジュニア リージョナルカップが授与される。

- スノーボード・アルペン
- パーク & パイプ (HP、SS、BA、RE)
- スノーボードクロス
- スキークロス
- フリースタイル (MO, AE)

7.1.2 スーパーファイナル

7.2 ポイントブレイクダウン

ポイントの内訳は以下の通りである、得点の内訳は100点満点で、どの種目も100点満点となる。

順位 ポイント

1位	100点
2位	80点
3位	60点
4位	50点
5位	45点
6位	40点
7位	36点
8位	32点
9位	29点
10位	26点
11位	24点
12位	22点

13位	20点
14位	19点
15位	18点
16位	15点
17位	14点
18位	13点
19位	12点
20位	11点
21位	10点
22位	9点
23位	8点
24位	7点
25位	6点
26位	5点
27位	4点
28位	3点
29位	2点
30位	1点

7.3 タイブ레이크

同点の場合、各 JRC の 1 位が多い競技者を 1 位とする。それでも同点の場合は、同じ手順で2位、3位などを検査する。それでも同点の場合は、同点のままとする。

7.4 集計結果の数

7.4.1 JRC アルプス杯スノーボード・アルペン

すべての JRC ポイントの有効な結果が総合タイトルにカウントされる。男女各3大会以上を、少なくとも2つの異なる場所で完走しなければならない。各地域と種目グループによって、カップの構成が決定される。

7.5 ネ이션ズカップ

8. 競技別ルール

8.4 スノーボード アルペン

8.4.1 競技フォーマット

パラレル、デュアル、シングル (PGS/GS/PSL/SL)

8.4.2 年齢カテゴリー

世界ジュニア選手権とICR2013.6.3による。

スポーツくじ



スポーツ振興くじ助成事業